

千葉県地方創生に係るアンケート

結果概要

令和7年3月
千葉県

内容

I 調査概要.....	4
1. 調査の目的.....	4
2. 調査の設計.....	4
3. 調査項目	4
4. 集計方法	4
5. 回答者の属性.....	9
II 調査結果（高校生対象）	13
1. 進路に関する希望について	13
(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望.....	13
(2) 第一志望の学校の所在地	17
2. 将来の就業に関する希望について	22
(1) 就業を希望している業界	22
(2) 勤務する希望地.....	24
(3) 県内に勤務を希望する理由.....	29
(4) 県内での勤務を希望しない理由.....	32
3. 将来の居住地の希望について	35
(1) 就業後の居住地の希望	35
(2) 県内で希望する居住地.....	40
(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由.....	41
(4) 県内を居住地に選ばない理由	45
(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	49
4. 地域の魅力について	53

(1) 住んでいる地域の魅力	53
Ⅲ 調査結果（大学生等対象）	57
1. 将来の就業に際して重視する点	57
2. 将来の就業に関する希望について	61
(1) 就業を希望している業界	61
(2) 希望する勤務地	63
(3) 勤務地の選択にあたって重視する点	66
3. 将来の居住地の希望について	68
(1) 就業後の居住地の希望	68
(2) 居住地を選ぶにあたって重視する点	72
(3) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	75
4. 現在住んでいる地域の魅力について	78
5. 人口減少時代における問題意識について	80

I 調査概要

1. 調査の目的

本県における地方創生の着実な実現のためには、特に若い世代に居住地として選ばれることが重要であり、就職や結婚・出産・子育て、住まい等に関する希望をかなえる環境の整備などを進めることが重要である。

そのため、今後の本県の各種施策をより効果的に実施していくため、県内の高等学校生や、大学生・短期大学生を対象として、意識調査（アンケート）を実施する

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県内の高校 30 校
千葉県内にキャンパスを置く全大学・短期大学（49 校）の学生
- (2) 調査方法 電子アンケートで回答
- (3) 調査期間 令和 6 年 7 月 10 日 ～ 7 月 31 日
令和 6 年 11 月 29 日～令和 7 年 1 月 17 日
- (4) 回答状況 4,247 人（高校 2 年生 3,062 人、大学生・短期大学生 1,185 人）

3. 調査項目

- (1) 進路に関する希望について（高校生のみ）
- (2) 将来の就業に関する希望について
- (3) 将来の居住地の希望について
- (4) 地域の魅力について

4. 集計方法

- (1) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数 n として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100%を超えることがある。

図1 <アンケートを配布した学校名（高校）>

		学校名	種別	学区
県立高等学校	1	千葉	高等学校	第1学区
	2	千葉商業	高等学校	第1学区
	3	千葉南	高等学校	第1学区
	4	船橋	高等学校	第2学区
	5	市川工業	高等学校	第2学区
	6	松戸国際	高等学校	第2学区
	7	東葛飾	高等学校	第3学区
	8	清水	高等学校	第3学区
	9	鎌ヶ谷	高等学校	第3学区
	10	佐倉	高等学校	第4学区
	11	八街	高等学校	第4学区
	12	佐原	高等学校	第5学区
	13	東総工業	高等学校	第5学区
	14	成東	高等学校	第6学区
	15	東金商業	高等学校	第6学区
	16	長生	高等学校	第7学区
	17	一宮商業	高等学校	第7学区
	18	安房拓心	高等学校	第8学区
	19	安房	高等学校	第8学区
	20	君津商業	高等学校	第9学区
	21	木更津	高等学校	第9学区
私立高等学校	22	昭和学院秀英	高等学校	—
	23	市川	高等学校	—
	24	芝浦工業大学柏	高等学校	—
	25	成田	高等学校	—
	26	敬愛大学八日市場	高等学校	—
	27	横芝敬愛	高等学校	—
	28	茂原北陵	高等学校	—
	29	千葉県安房西	高等学校	—
	30	東海大学付属市原望洋	高等学校	—

図3 <アンケートを配布した学校名（大学・短期大学）>

		学校名	種別
大学・短期大学	1	愛国学園大学	大学
	2	植草学園大学	大学
	3	江戸川大学	大学
	4	開智国際大学	大学
	5	亀田医療大学	大学
	6	川村学園女子大学	大学
	7	神田外語大学	大学
	8	敬愛大学	大学
	9	国際医療福祉大学	大学
	10	国際武道大学	大学
	11	三育学院大学	大学
	12	秀明大学	大学
	13	淑徳大学	大学
	14	順天堂大学	大学
	15	城西国際大学	大学
	16	聖徳大学	大学
	17	清和大学	大学
	18	千葉科学大学	大学
	19	千葉経済大学	大学
	20	千葉県立保健医療大学	大学
	21	千葉工業大学	大学
	22	千葉商科大学	大学
	23	千葉大学	大学
	24	中央学院大学	大学
	25	帝京平成大学	大学

26	東京医科歯科大学（教養部）	大学
27	東京医療保健大学	大学
28	東京基督教大学	大学
29	東京情報大学	大学
30	東京理科大学	大学
31	東都大学	大学
32	東邦大学	大学
33	二松学舎大学	大学
34	日本大学	大学
35	放送大学	大学
36	明海大学	大学
37	流通経済大学	大学
38	SBC 東京医療大学	大学
39	麗澤大学	大学
40	和洋女子大学	大学
41	植草学園短期大学	短期大学
42	昭和学院短期大学	短期大学
43	聖徳大学短期大学部	短期大学
44	清和大学短期大学部	短期大学
45	敬愛短期大学	短期大学
46	千葉経済大学短期大学部	短期大学
47	千葉明德短期大学	短期大学
48	東京経営短期大学	短期大学
49	日本大学短期大学部	短期大学

5. 回答者の属性

(1) 性別

図 3-1 <性別：高校生>

	回答数	構成比
男性	1,608	52.5%
女性	1,379	45.0%
答えたくない	75	2.4%
合計	3,062	

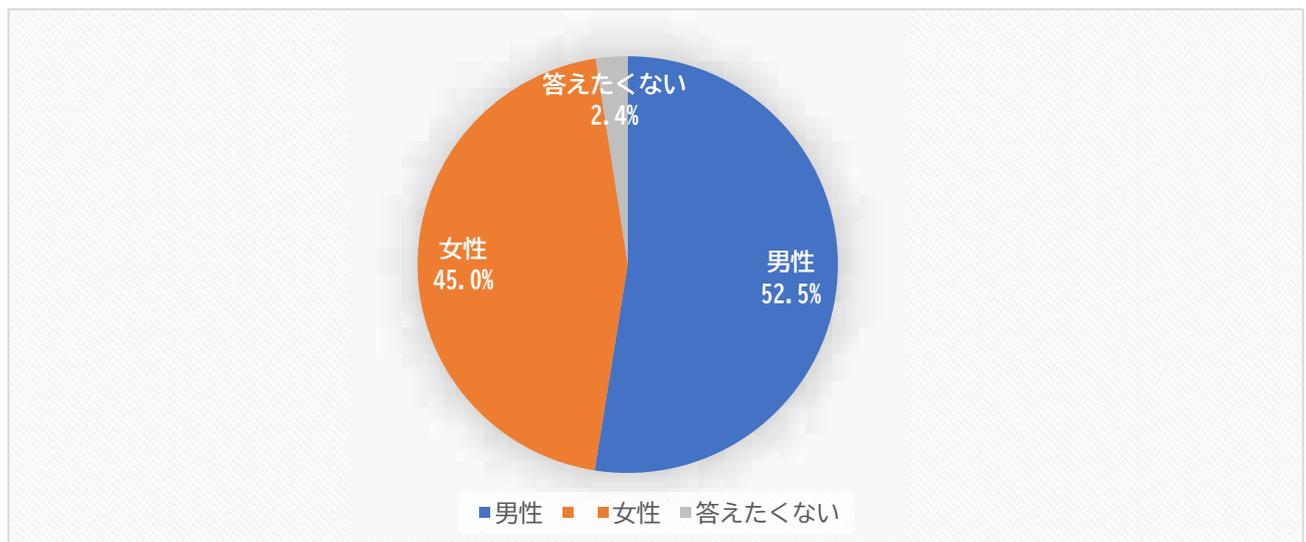
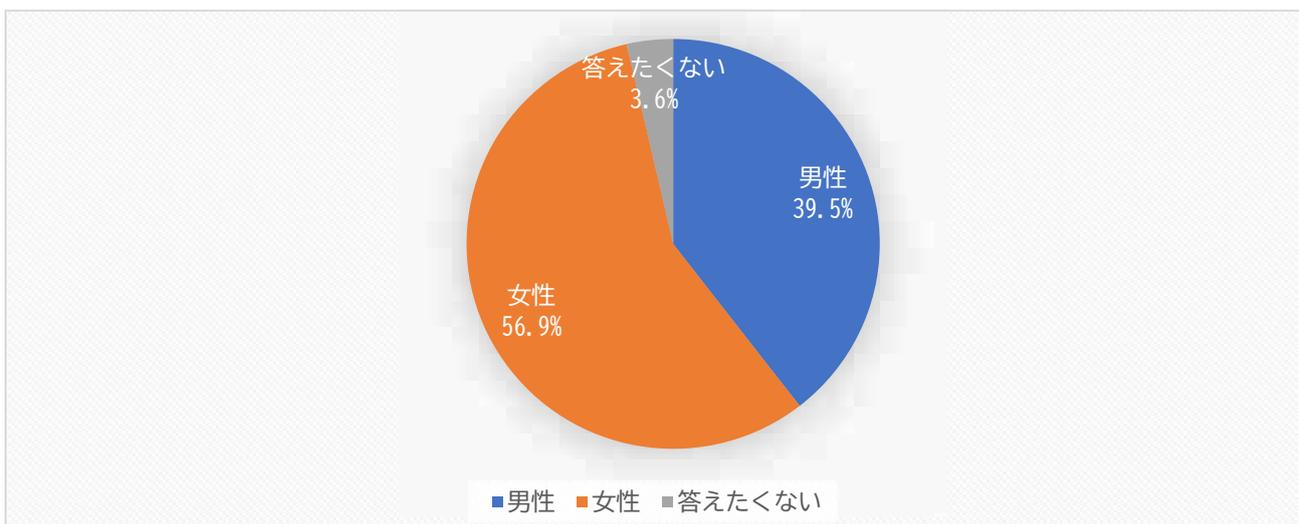


図 3-2 <性別：大学生等>

	回答数	構成比
男性	468	39.5%
女性	674	56.9%
答えたくない	43	3.6%
合計	1,185	



(2) 出身地

图 4-1 <出身地：高校生>

	回答数	構成比
県内	2,795	91.3%
県外	267	8.7%
合計	3,062	

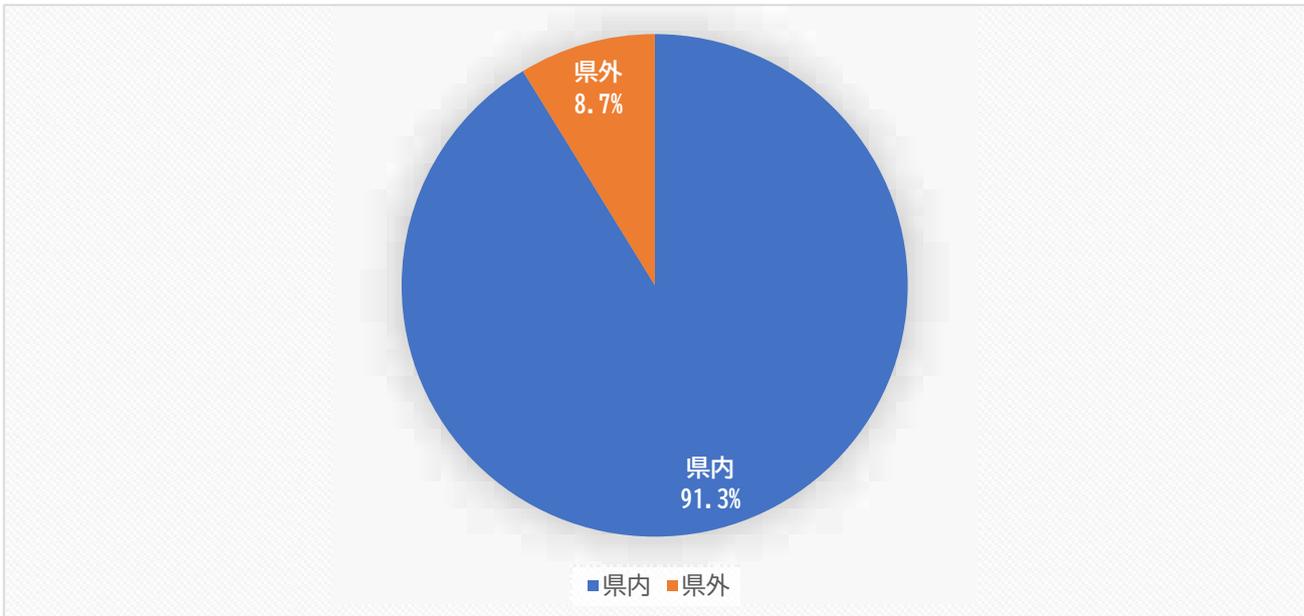
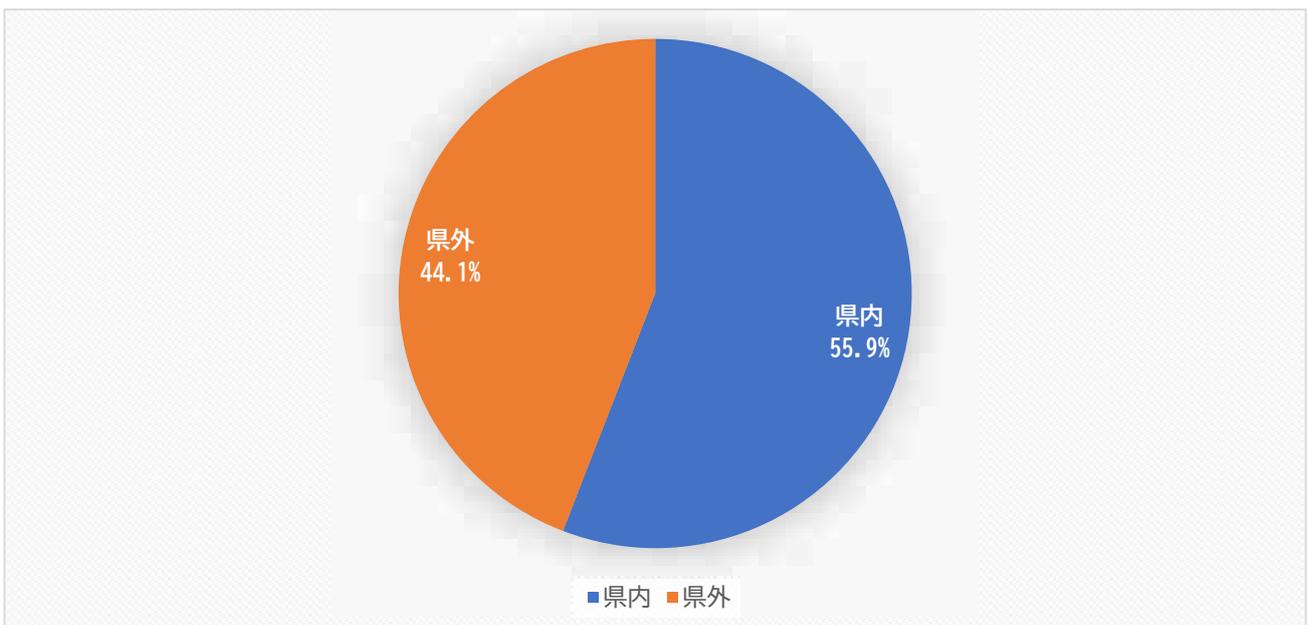


图 4-2 <出身地：大学生等>

	回答数	構成比
県内	662	55.9%
県外	523	44.1%
合計	1,185	



(3) 現在の居住地

図 5-1 <現在の居住地：高校生 (n=3,062)>

千葉市	444	14.5%
市原市	184	6.0%
船橋市	159	5.2%
館山市	133	4.3%
松戸市	128	4.2%
木更津市	119	3.9%
南房総市	94	3.1%
東金市	94	3.1%
市川市	93	3.0%
旭市	85	2.8%
八街市	84	2.7%
柏市	84	2.7%
山武市	79	2.6%
君津市	78	2.5%
匝瑳市	77	2.5%
野田市	74	2.4%
茂原市	74	2.4%
富津市	69	2.3%
大網白里市	64	2.1%
鴨川市	58	1.9%
香取市	52	1.7%
佐倉市	50	1.6%
成田市	45	1.5%
袖ヶ浦市	43	1.4%
四街道市	42	1.4%
習志野市	40	1.3%
鎌ヶ谷市	37	1.2%
鎌ヶ谷市	37	1.2%
八千代市	36	1.2%
横芝光町	34	1.1%
印西市	34	1.1%
流山市	31	1.0%
浦安市	31	1.0%
白井市	25	0.8%
銚子市	25	0.8%
いすみ市	25	0.8%
一宮町	23	0.8%
長生村	17	0.6%
白子町	15	0.5%
鋸南町	13	0.4%
我孫子市	13	0.4%
東庄町	11	0.4%
九十九里町	11	0.4%
多古町	9	0.3%
睦沢町	8	0.3%
富里市	6	0.2%
芝山町	6	0.2%
勝浦市	5	0.2%
長柄町	4	0.1%
長南町	3	0.1%
酒々井町	2	0.1%
御宿町	2	0.1%
栄町	2	0.1%
神崎町	1	0.0%
大多喜町	0	0.0%
東京都(23区内)	37	1.2%
東京都(その他)・神奈川	10	0.3%

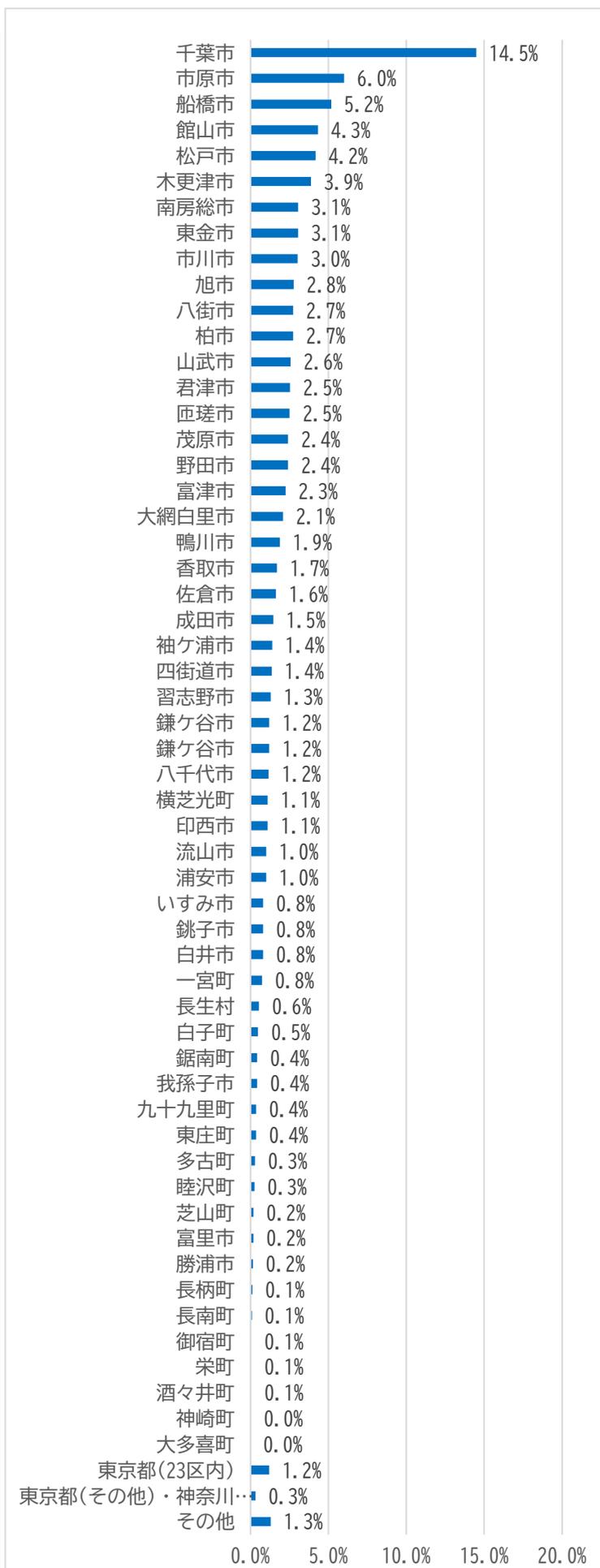


図 5-2 <現在の居住地：大学生等 (n=1,185) >

千葉市	254	21.4%
船橋市	101	8.5%
習志野市	58	4.9%
八千代市	57	4.8%
松戸市	49	4.1%
成田市	47	4.0%
市原市	41	3.5%
東金市	35	3.0%
柏市	32	2.7%
佐倉市	32	2.7%
木更津市	32	2.7%
印西市	25	2.1%
市川市	23	1.9%
浦安市	20	1.7%
四街道市	20	1.7%
酒々井町	17	1.4%
鴨川市	14	1.2%
君津市	13	1.1%
流山市	11	0.9%
香取市	11	0.9%
鎌ヶ谷市	10	0.8%
旭市	10	0.8%
山武市	9	0.8%
銚子市	8	0.7%
白井市	7	0.6%
匝瑳市	7	0.6%
茂原市	7	0.6%
南房総市	7	0.6%
袖ヶ浦市	7	0.6%
我孫子市	6	0.5%
八街市	6	0.5%
大網白里市	6	0.5%
富里市	5	0.4%
野田市	4	0.3%
横芝光町	3	0.3%
いすみ市	3	0.3%
富津市	4	0.3%
一宮町	2	0.2%
勝浦市	2	0.2%
館山市	2	0.2%
栄町	1	0.1%
東庄町	1	0.1%
睦沢町	1	0.1%
長生村	1	0.1%
白子町	1	0.1%
鋸南町	1	0.1%
神崎町	0	0.0%
多古町	0	0.0%
九十九里町	0	0.0%
芝山町	0	0.0%
長柄町	0	0.0%
長南町	0	0.0%
大多喜町	0	0.0%
御宿町	0	0.0%
東京都(23区内)	74	6.2%
東京都(その他)・神奈川県・埼玉県	56	4.7%
その他	42	3.5%

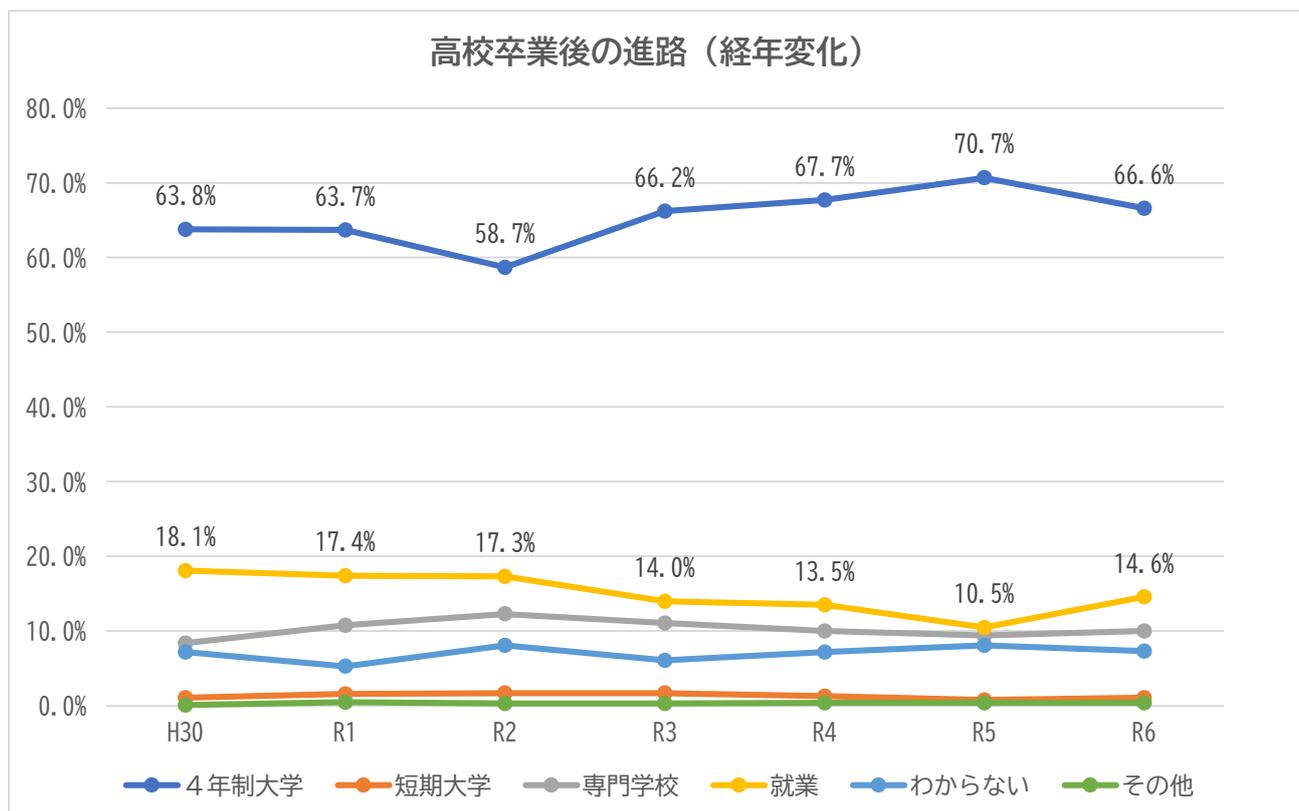
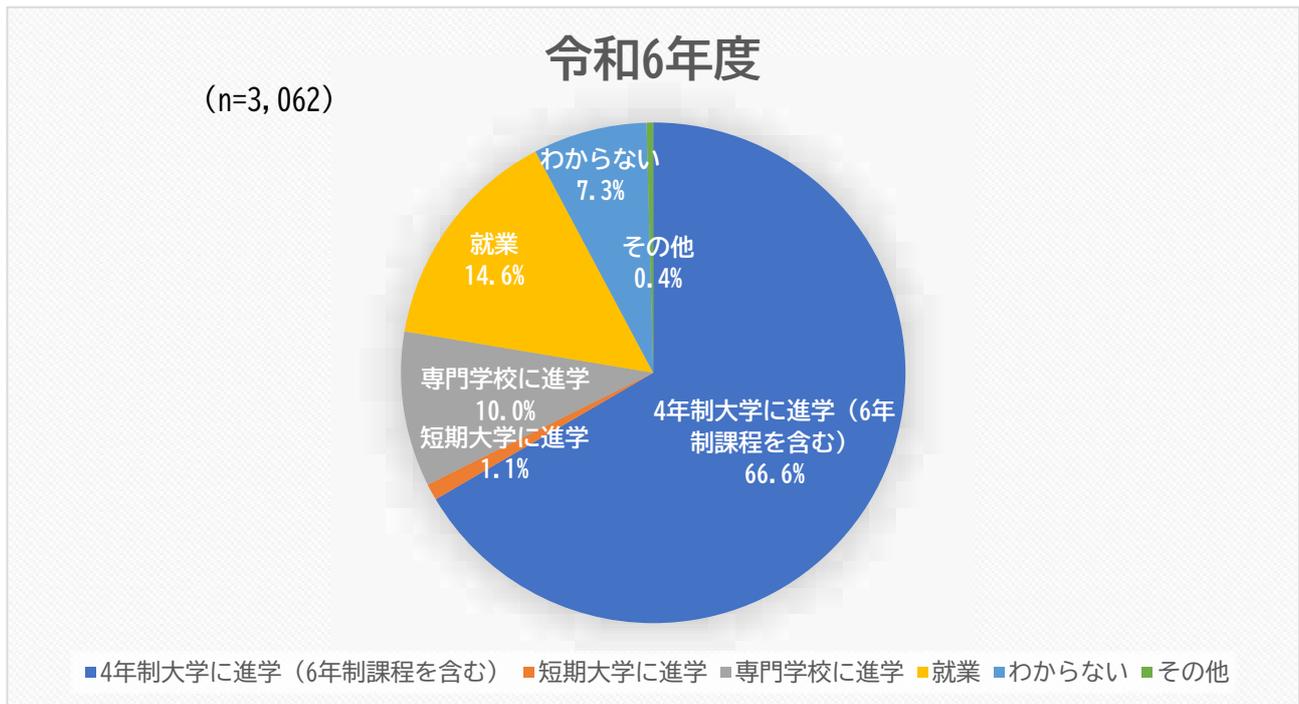


II 調査結果（高校生対象）

1. 進路に関する希望について

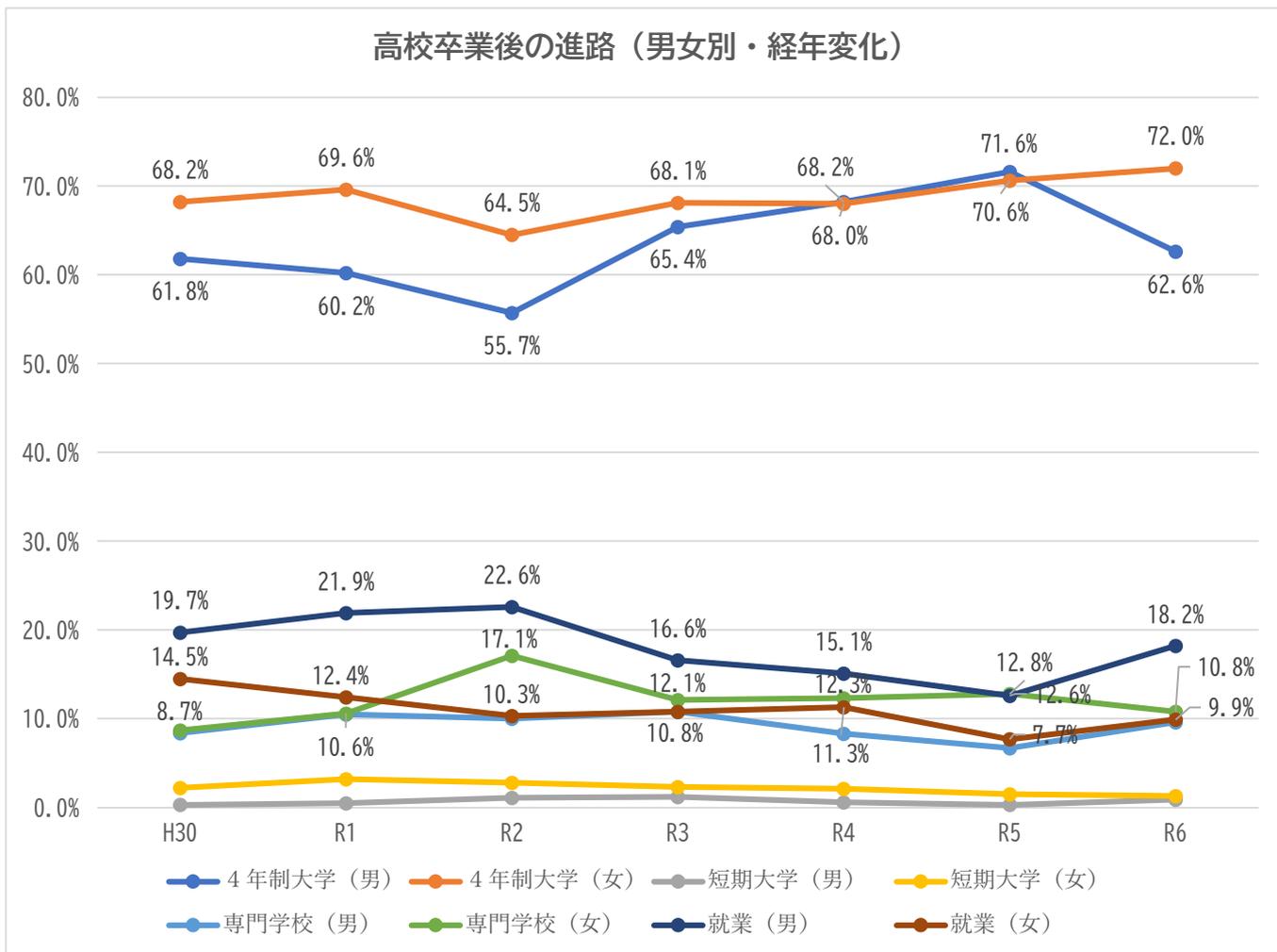
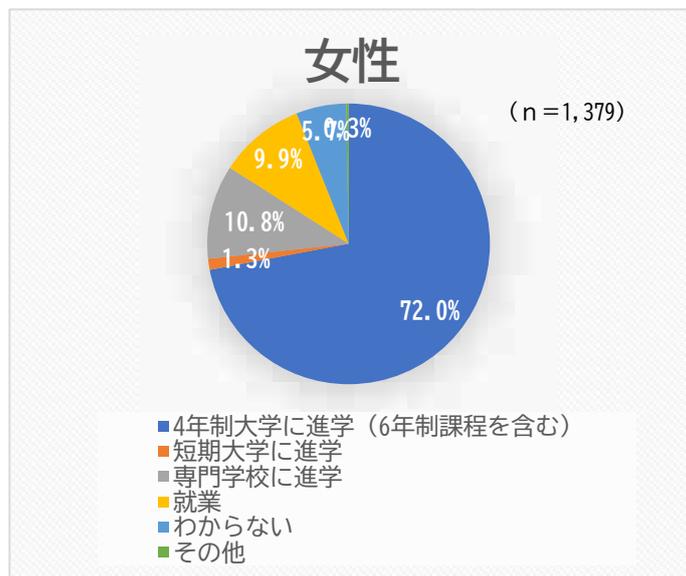
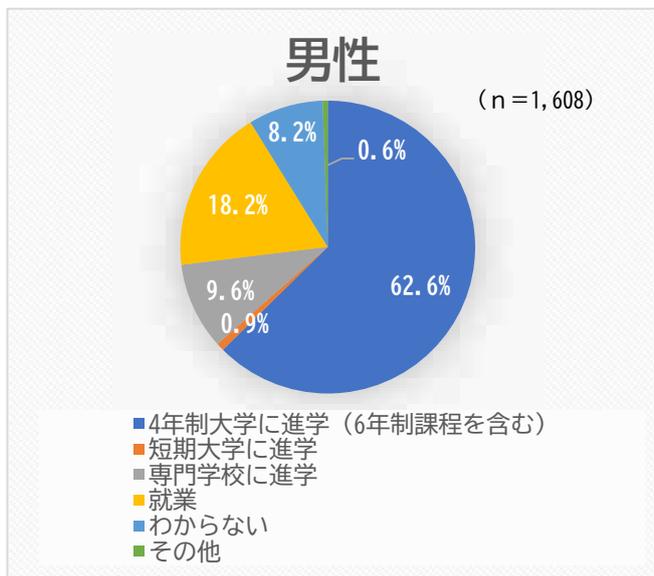
（1）高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校卒業後の進路は、4年制大学が66.6%と最も高くなっており、昨年度と比較し、4ポイントほど低下している。一方で、就業は昨年度よりも4ポイントほど増加、14.6%となっており、昨年度までの低下傾向から変化し、増加している。

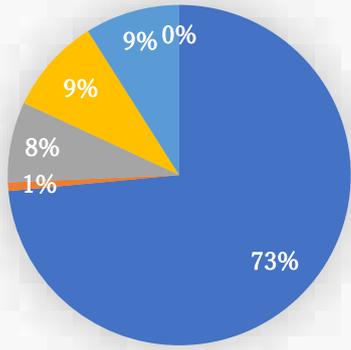


男女別に見ると、男女共に「4年制大学」が最も回答が多いが、男性において、前年度の回答と比べ8ポイント減少している。一方、男性において、就業を希望する人は前年度と比べ6ポイント増加している。また、女性では「4年制大学」を回答している人が引き続き増加し、「就業」も2ポイントほど増えている。

居住地域別に見ると、全体的な傾向として、東京に近い千葉北西部に行くほど4年制大学の割合が高く、東京に遠い地方は就業、専門学校が多い。

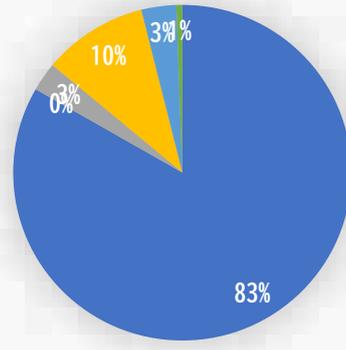


千葉 (n=627)



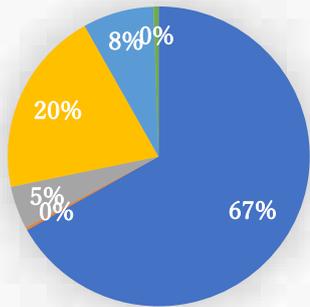
- 四年制大学に進学 (六年制課程を含む)
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

葛南 (n=359)



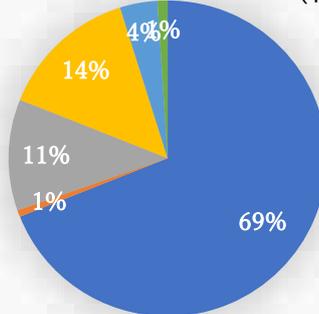
- 四年制大学に進学 (六年制課程を含む)
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

東葛飾 (n=368)



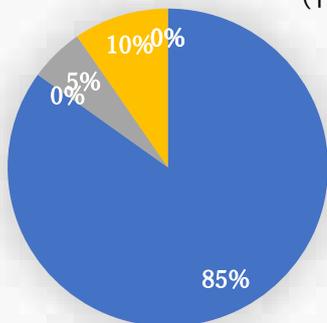
- 四年制大学に進学 (六年制課程を含む)
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

印旛 (n=290)



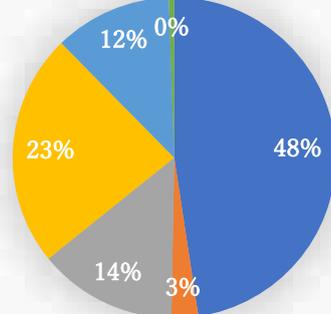
- 四年制大学に進学 (六年制課程を含む)
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

香取 (n=73)



- 四年制大学に進学 (六年制課程を含む)
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

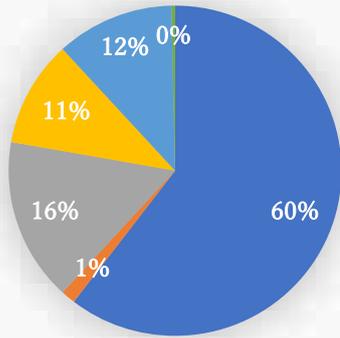
海匝 (n=187)



- 四年制大学に進学 (六年制課程を含む)
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

山武

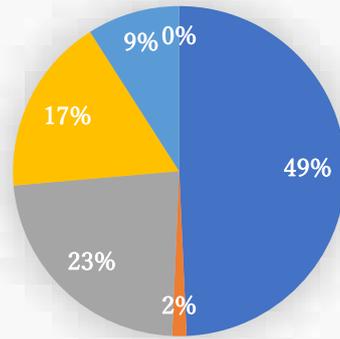
(n=288)



- 四年制大学に進学（六年制課程を含む）
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

長生

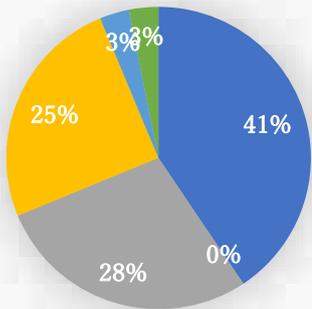
(n=144)



- 四年制大学に進学（六年制課程を含む）
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

夷隅

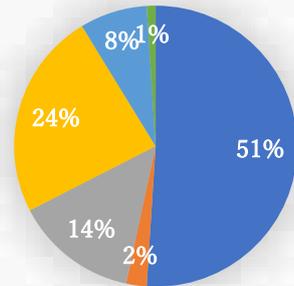
(n=32)



- 四年制大学に進学（六年制課程を含む）
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

安房

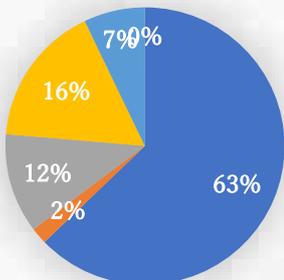
(n=298)



- 四年制大学に進学（六年制課程を含む）
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

君津

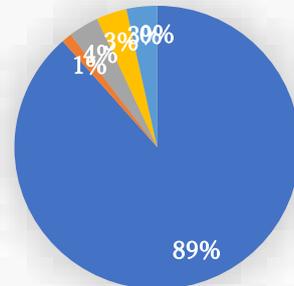
(n=309)



- 四年制大学に進学（六年制課程を含む）
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

県外等地域

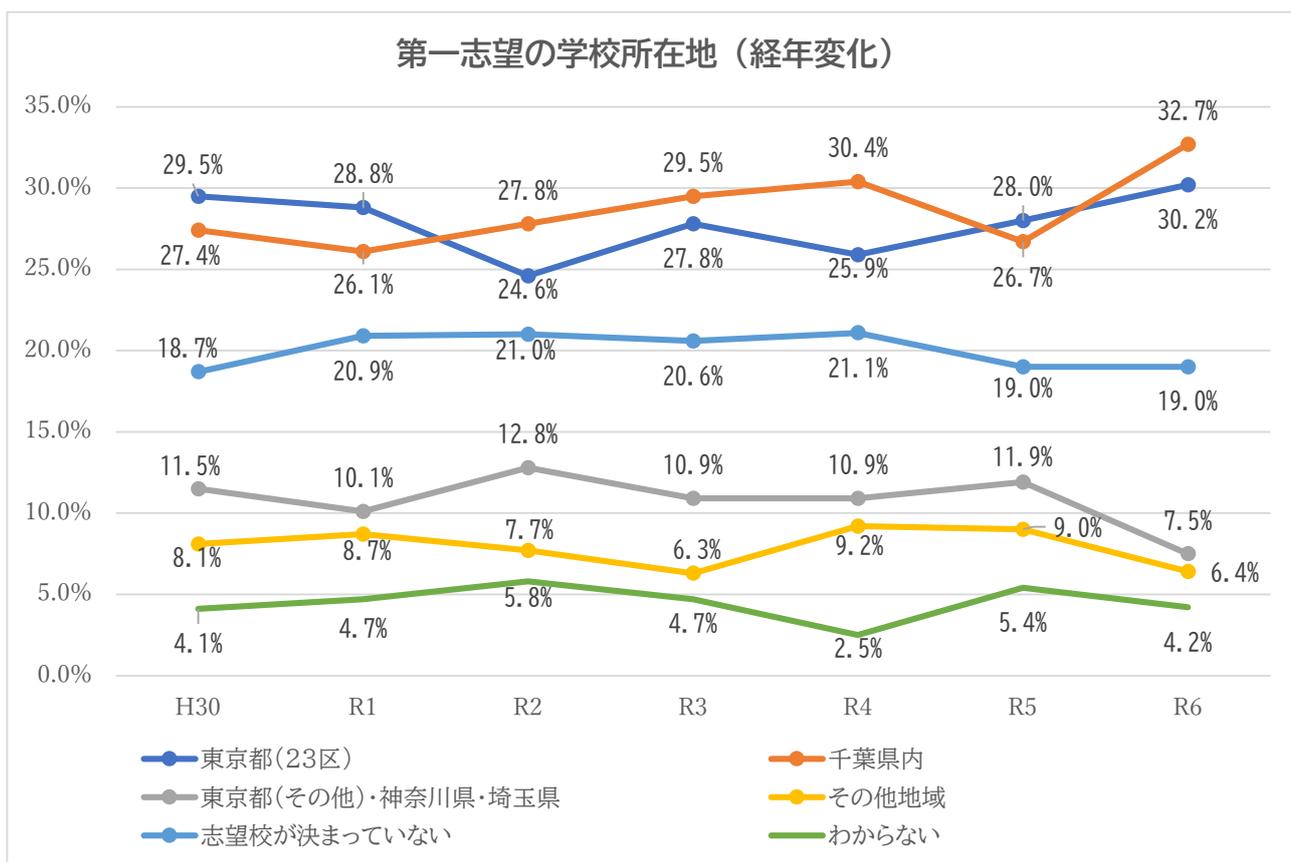
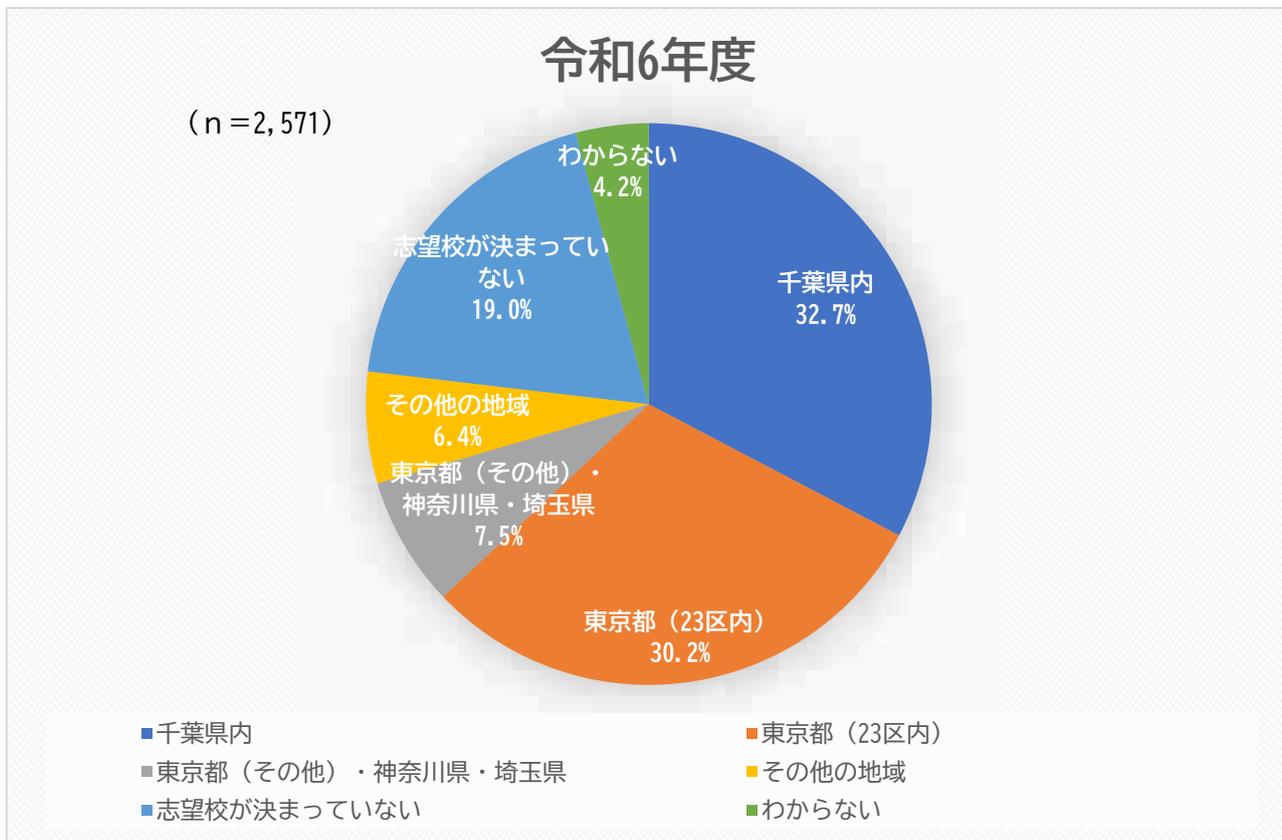
(n=87)



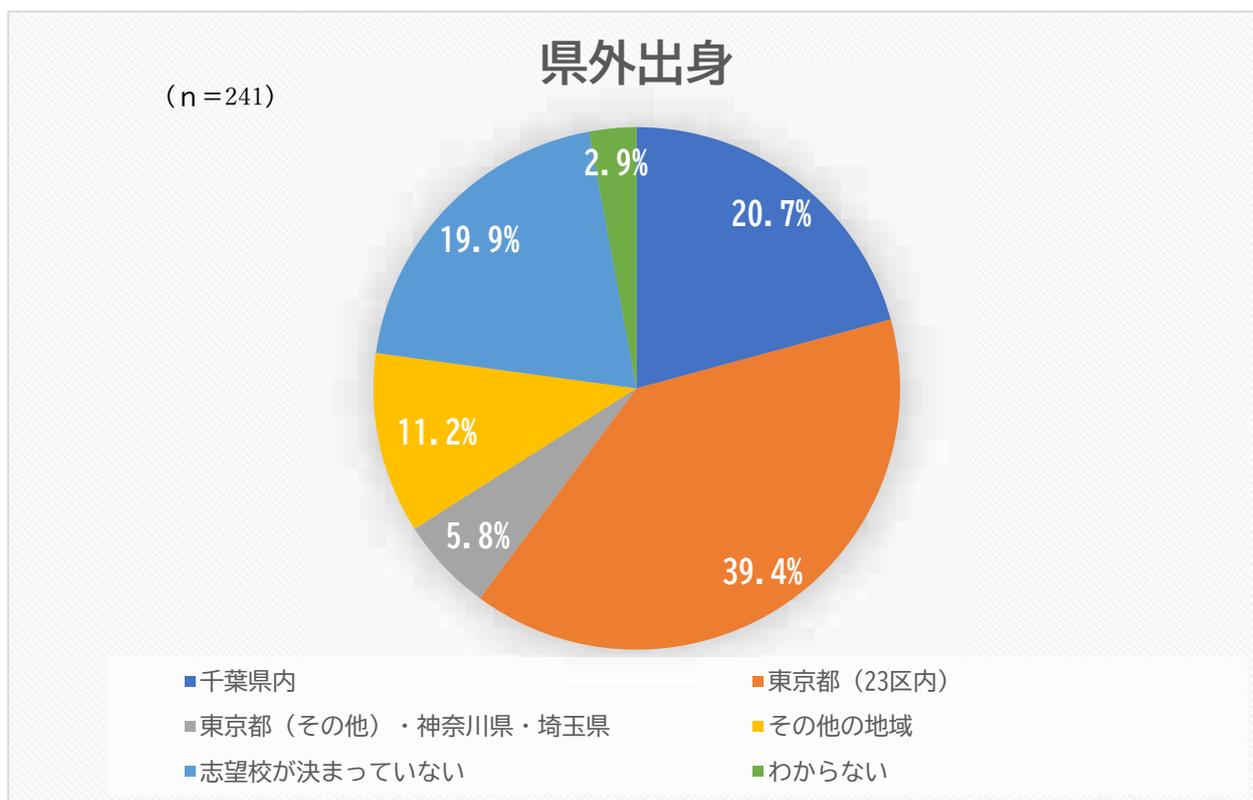
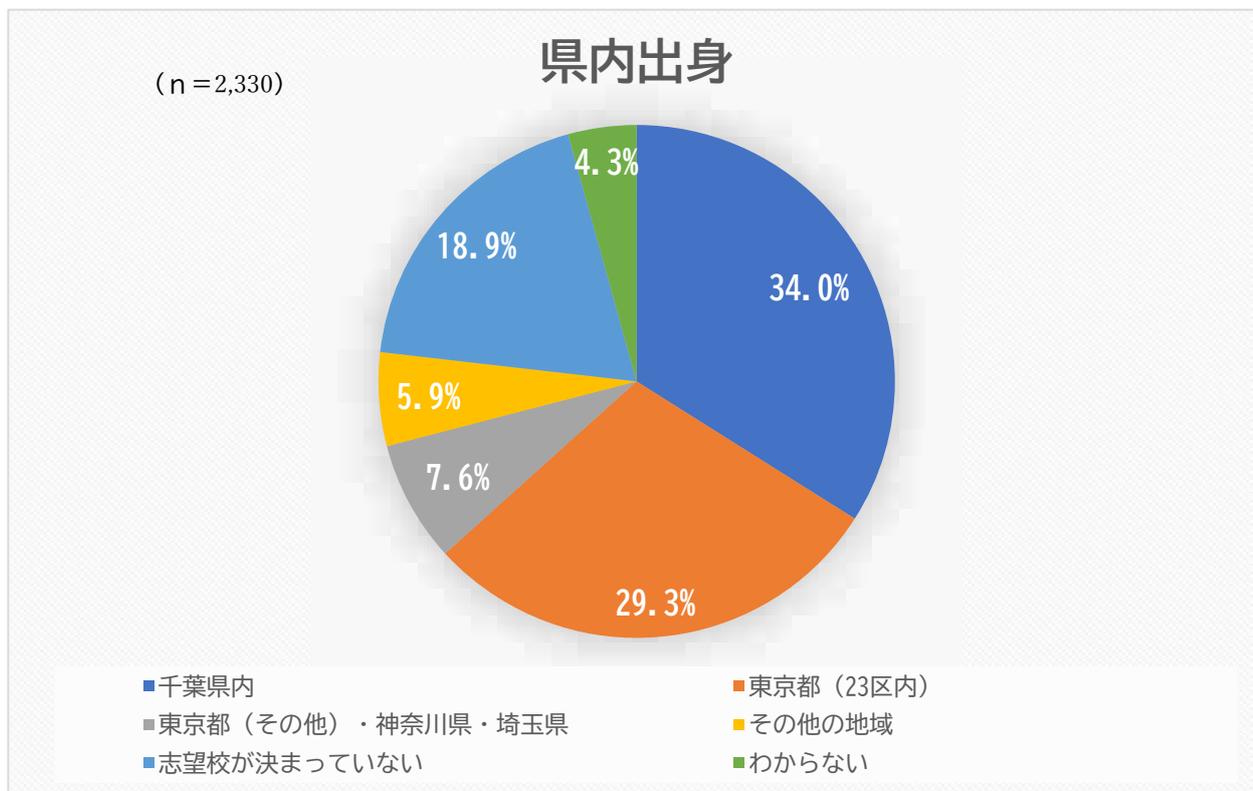
- 四年制大学に進学（六年制課程を含む）
- 短期大学に進学
- 専門学校に進学
- 就業
- わからない
- その他

(2) 第一志望の学校の所在地

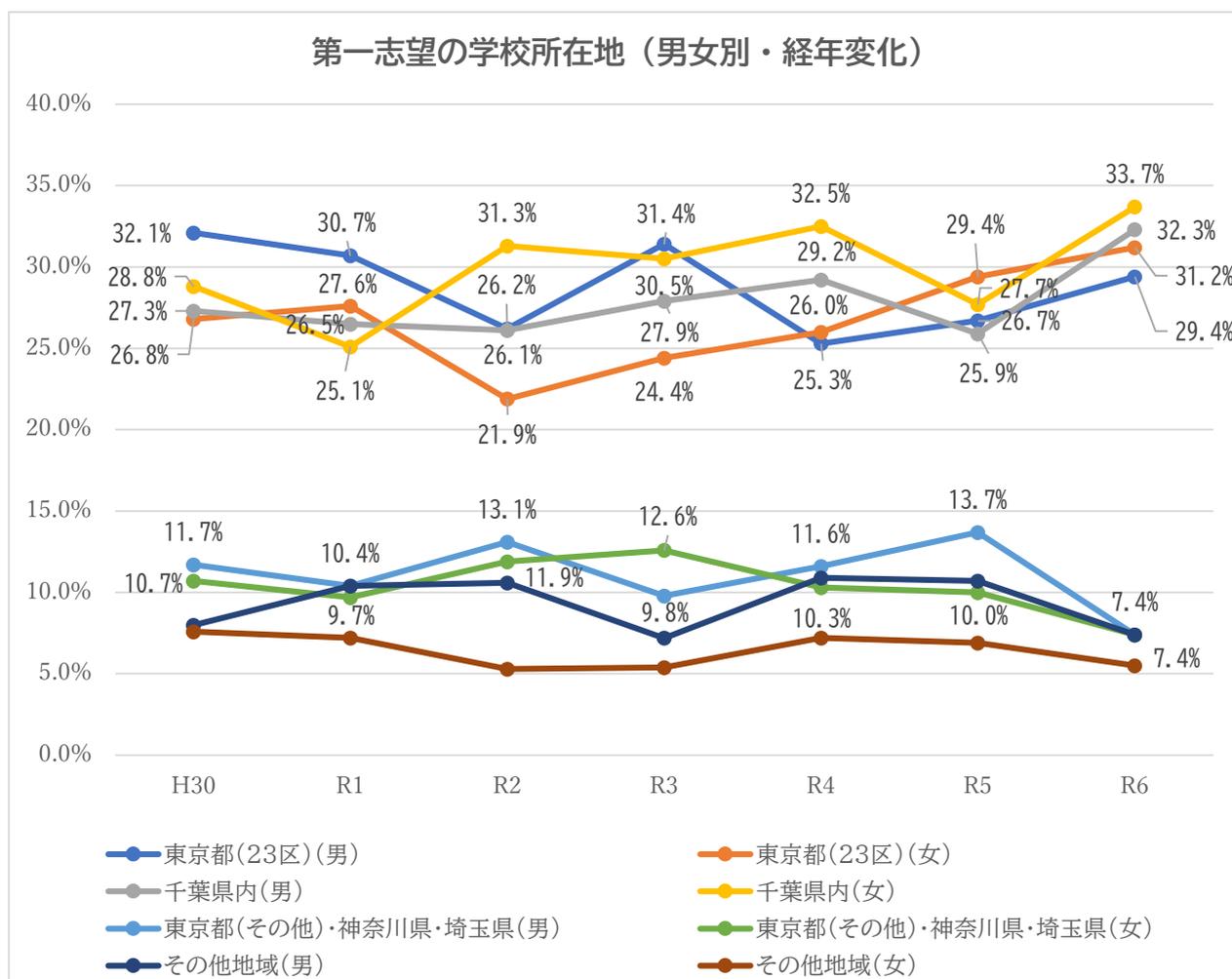
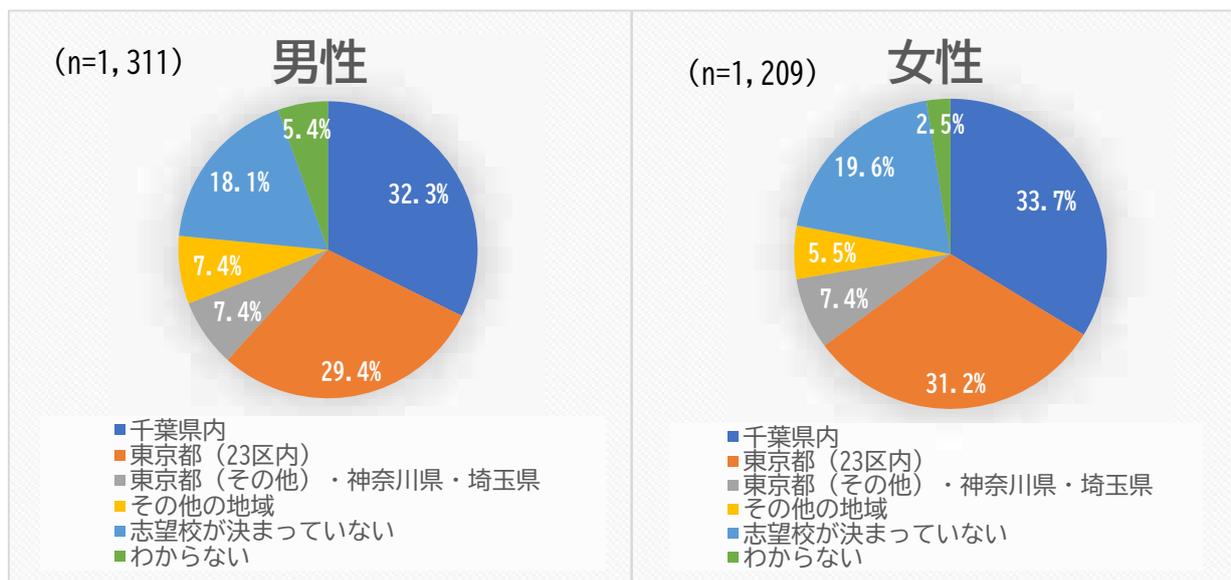
第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が昨年度よりも6ポイント上がり、32.7%と1位となった。一方で、昨年度1位だった「東京都(23区内)」は昨年度よりも2.2ポイント増の30.2%であるものの、2位となっている。



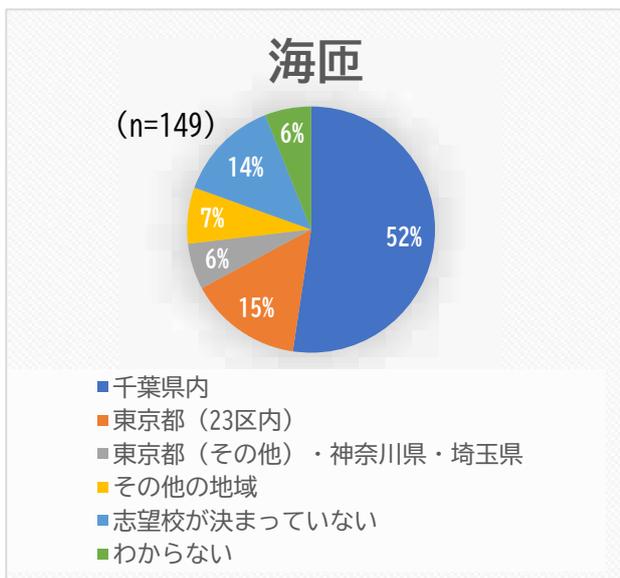
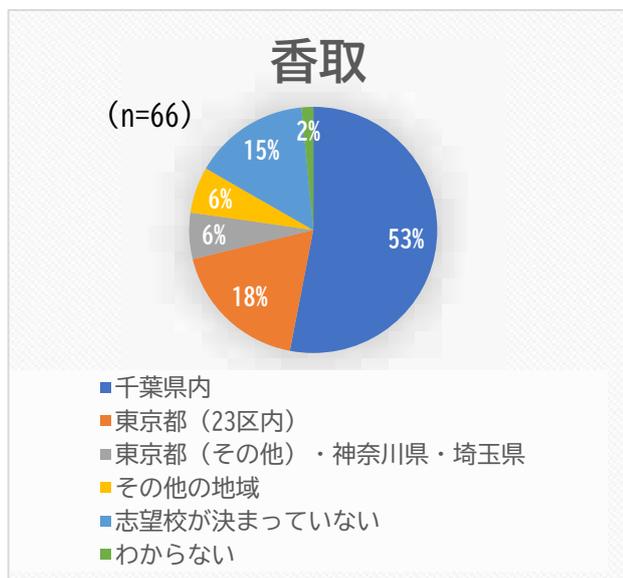
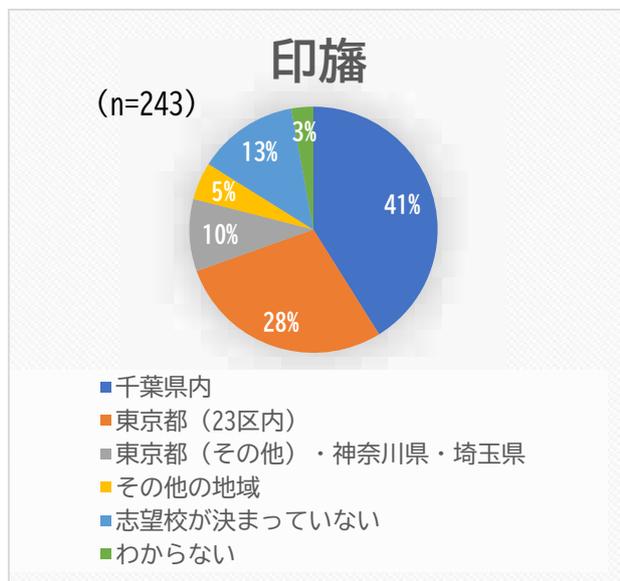
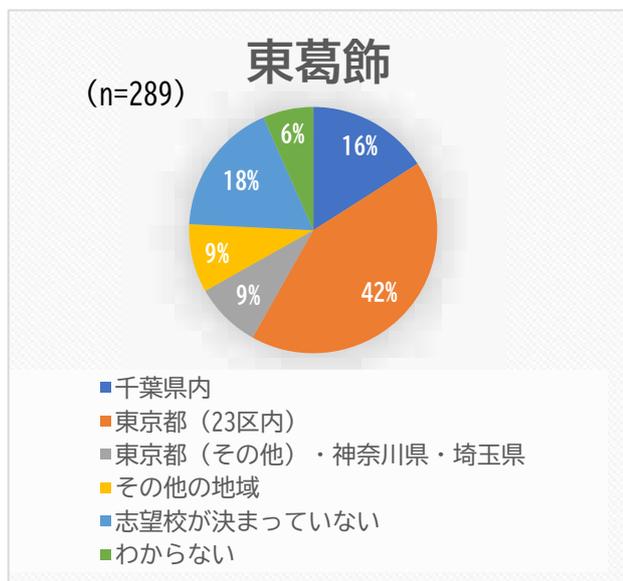
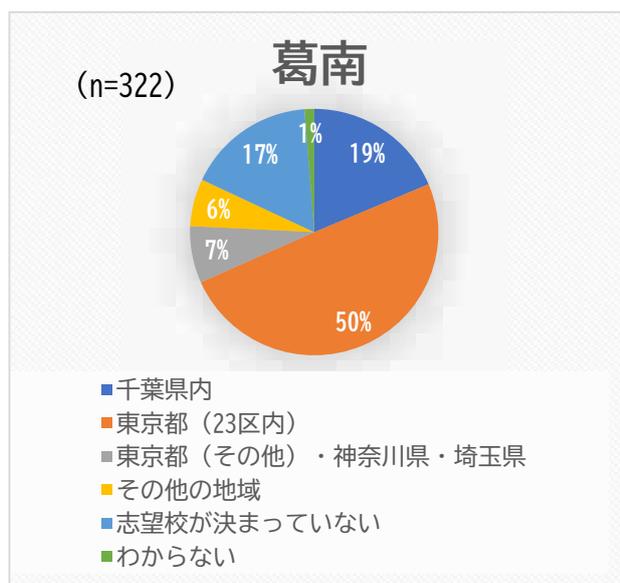
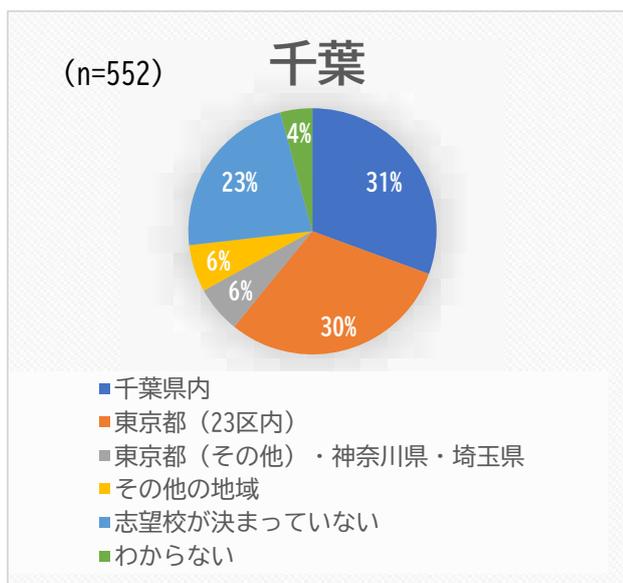
出身地別の傾向を見ると、県外出身者は「千葉県内」を志望校とする人の割合が低くなっている一方、「志望校が決まっていない」や「その他地域」の割合が高くなっている。



男女別に見ると、大まかな回答傾向は一緒であることが分かる。また、経年変化を見ると、昨年度と比較して、男女ともに「千葉県内」を選択している者の割合が平成 30 年度以降最も多いことが分かる。さらに、「東京都（23 区内）」の割合が増える一方、「東京都（その他）、神奈川県、埼玉県」の割合が減っている。

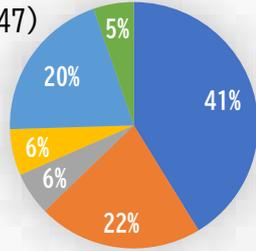


居住地域別に見ると、東京に近い地域ほど「東京都 23 区内」を選択する割合が多くなる一方、遠い地域は千葉県内（安房地域を除く）が多くなっている。



山武

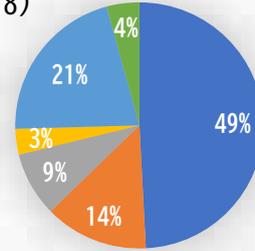
(n=247)



- 千葉県内
- 東京都 (23区内)
- 東京都 (その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

長生

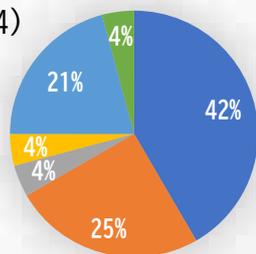
(n=118)



- 千葉県内
- 東京都 (23区内)
- 東京都 (その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

夷隅

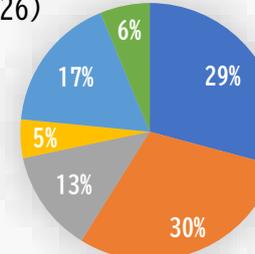
(n=24)



- 千葉県内
- 東京都 (23区内)
- 東京都 (その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

安房

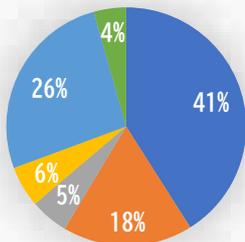
(n=226)



- 千葉県内
- 東京都 (23区内)
- 東京都 (その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

君津

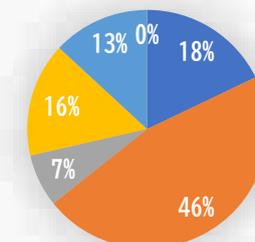
(n=251)



- 千葉県内
- 東京都 (23区内)
- 東京都 (その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

県外等地域

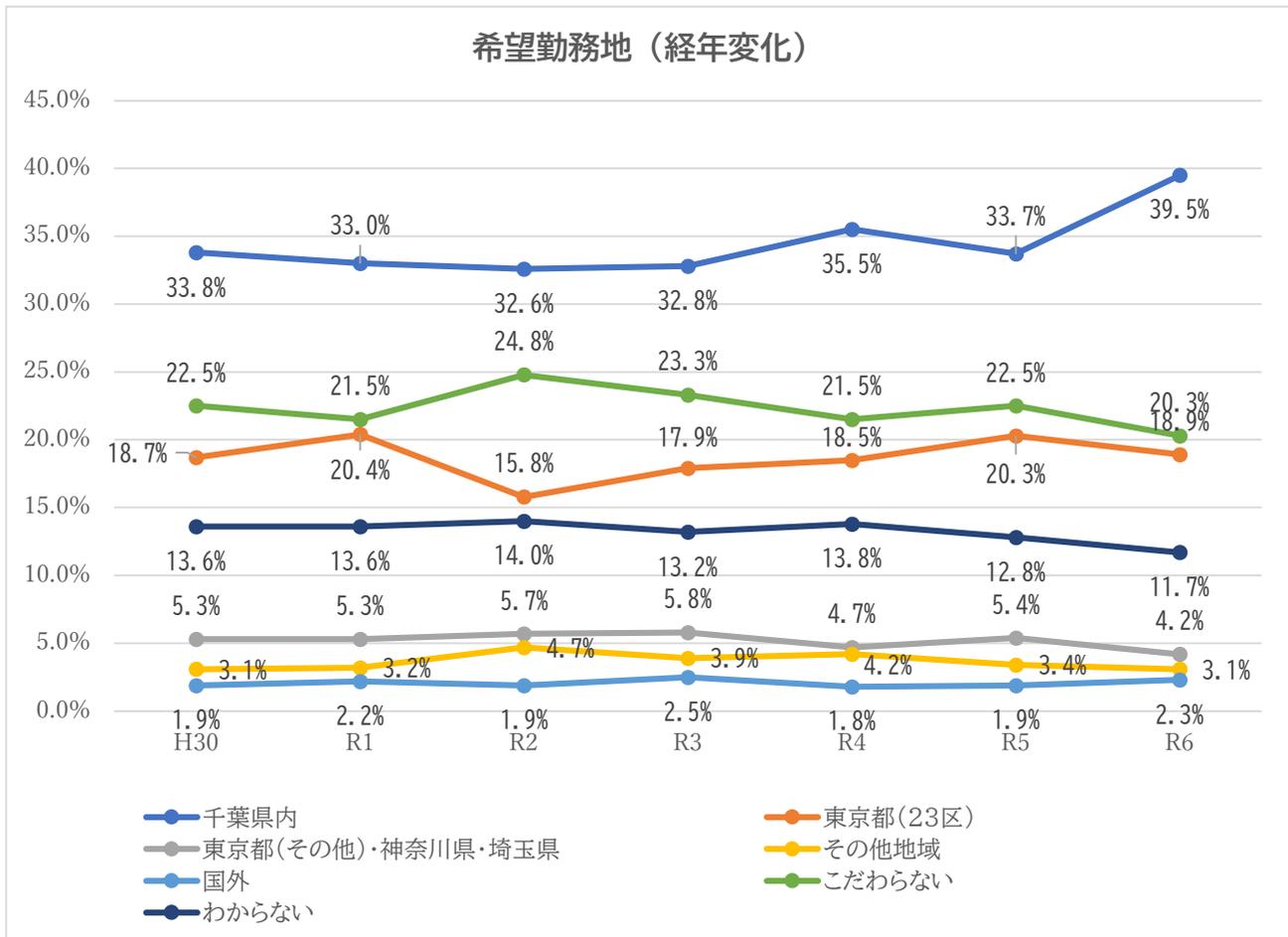
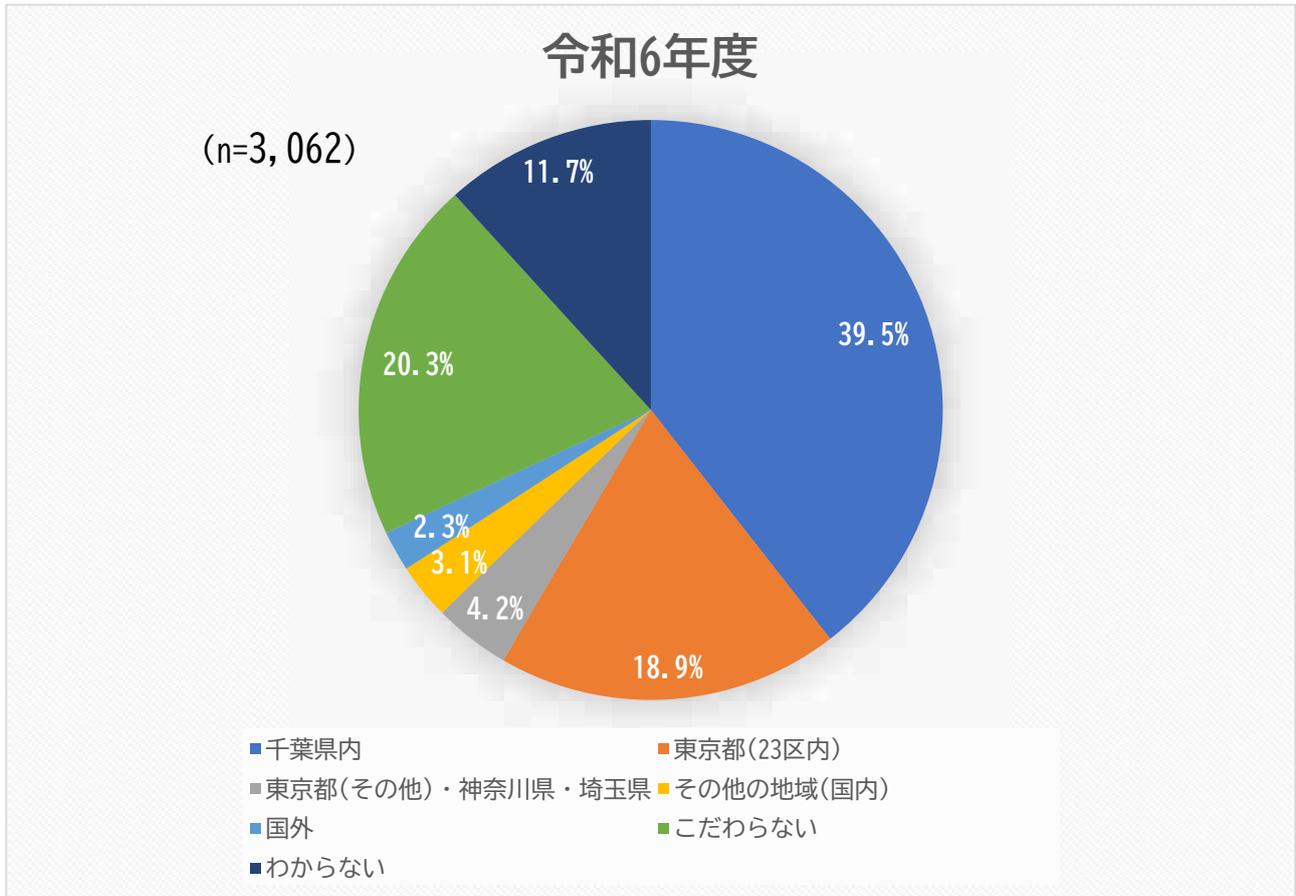
(n=84)



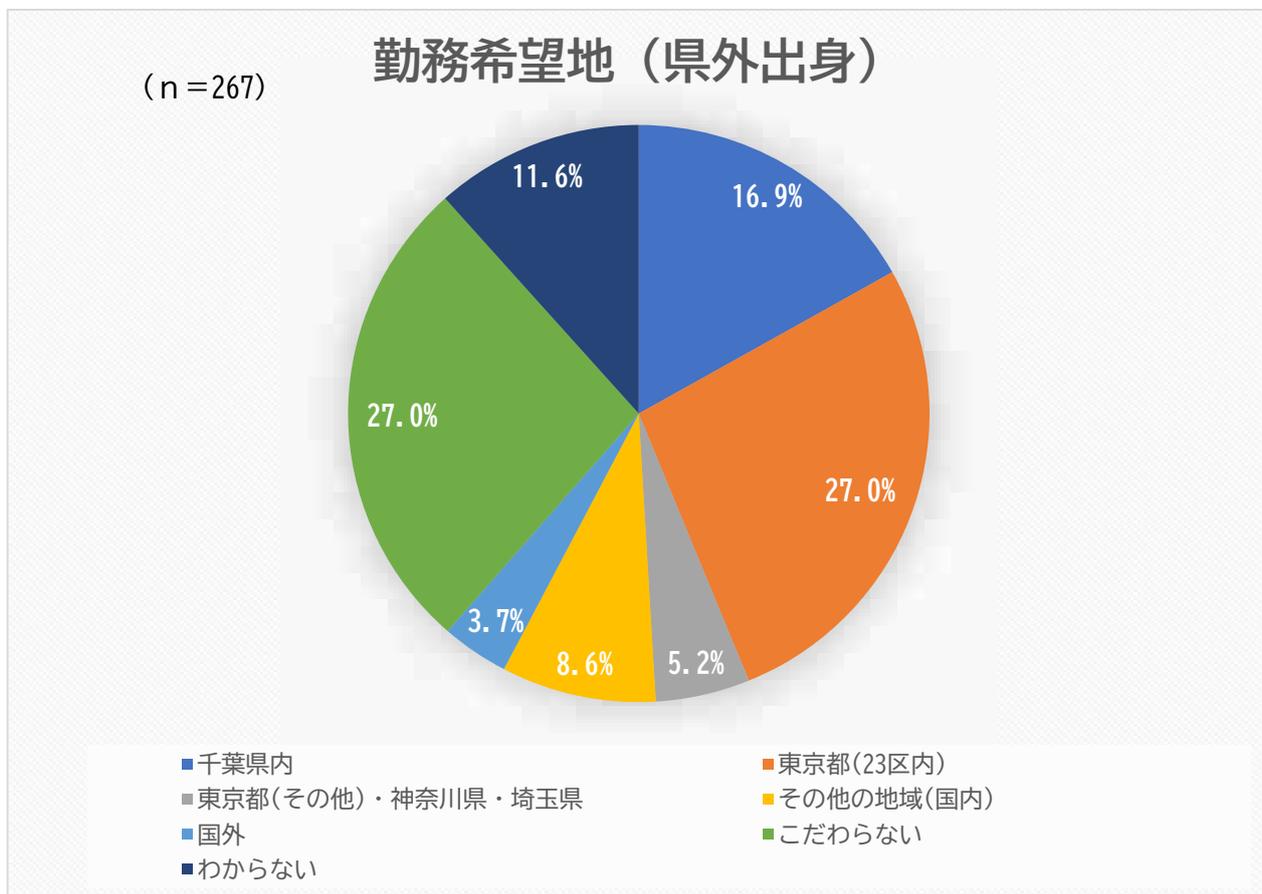
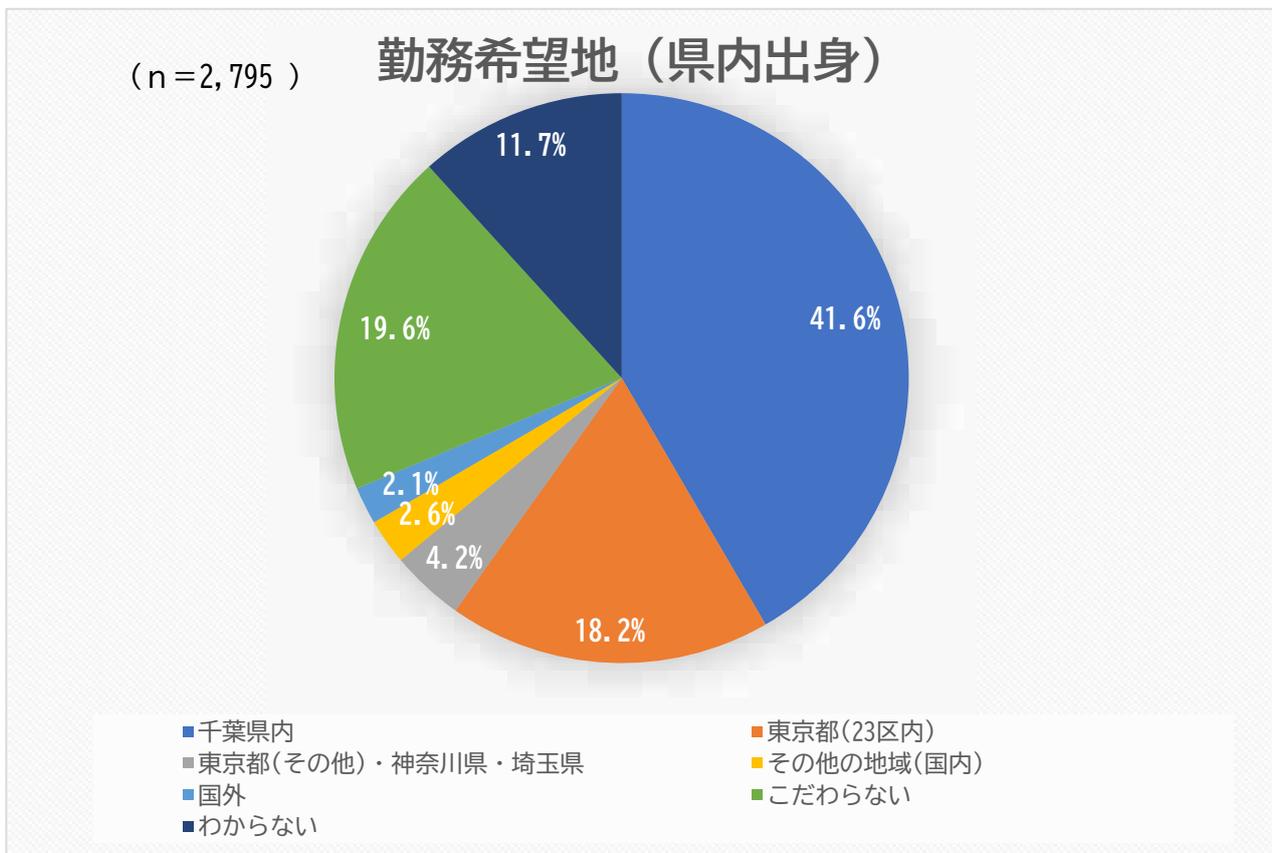
- 千葉県内
- 東京都 (23区内)
- 東京都 (その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

(2) 勤務する希望地

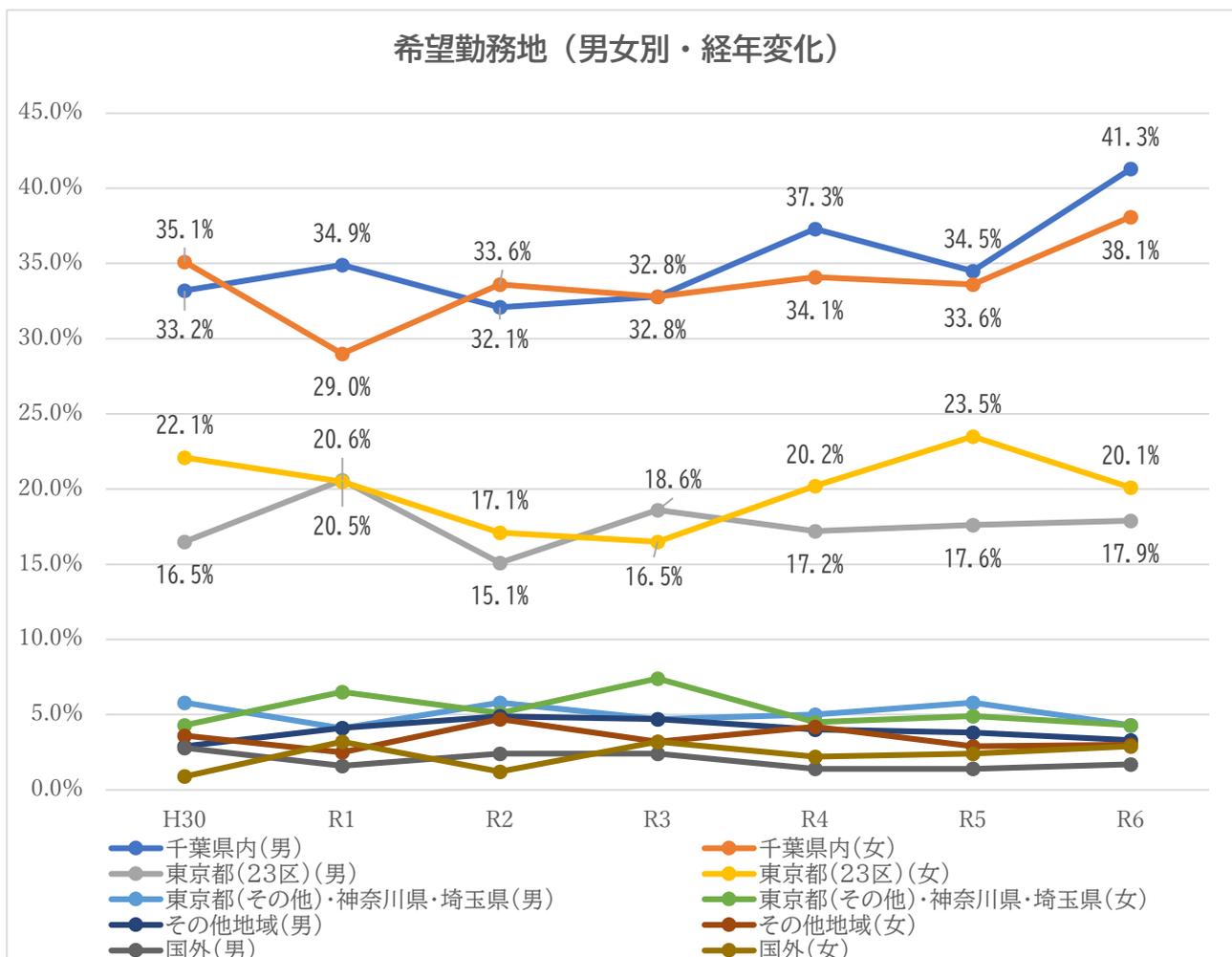
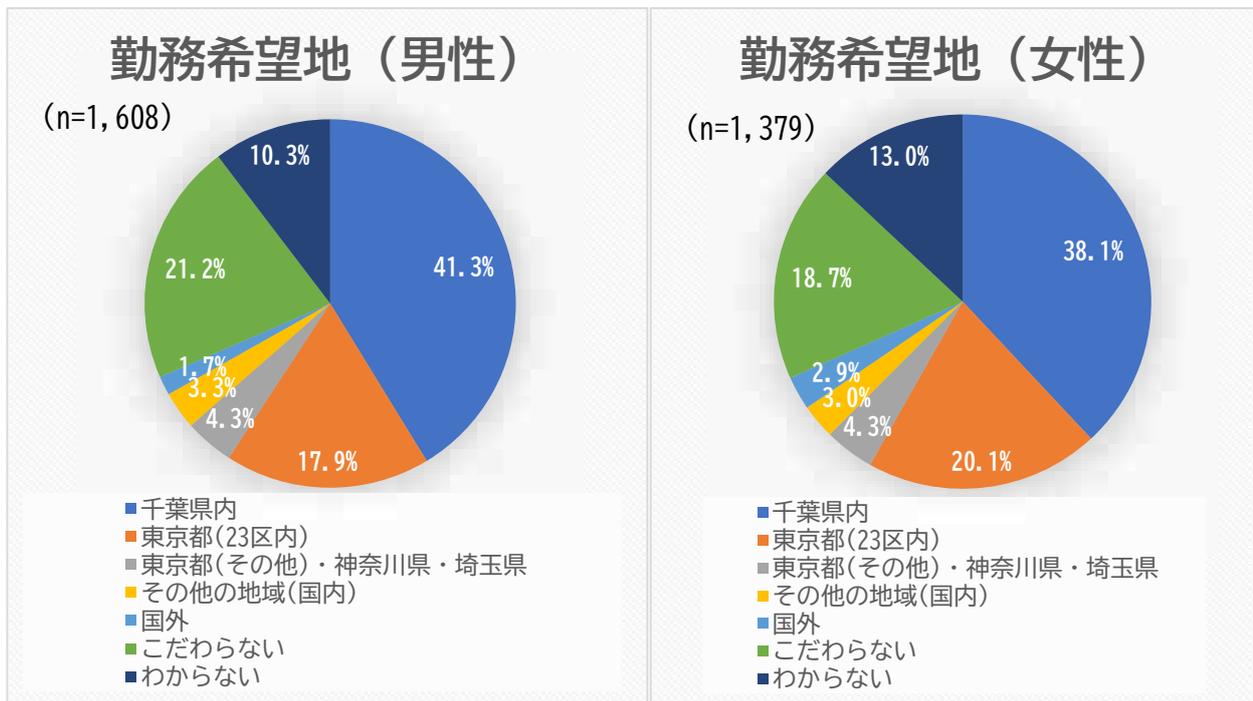
高校生の希望する勤務地は、「千葉県内」が最も多く、昨年度から5.8ポイント増の39.5%となっている。他の項目は、昨年度と比べ大きな変化は見られない。



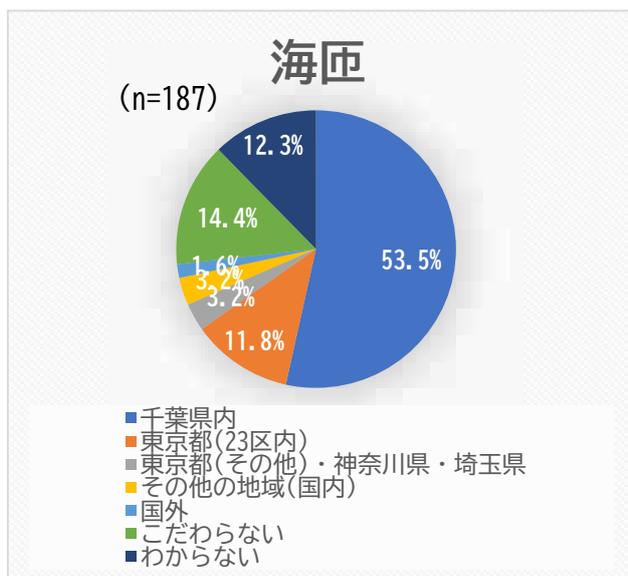
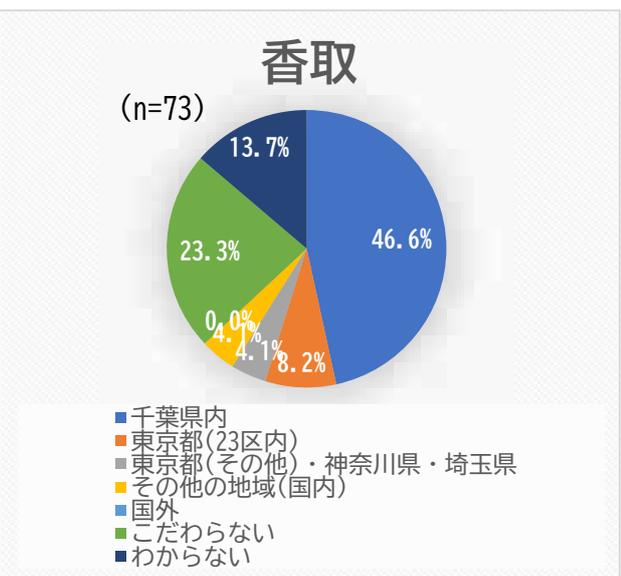
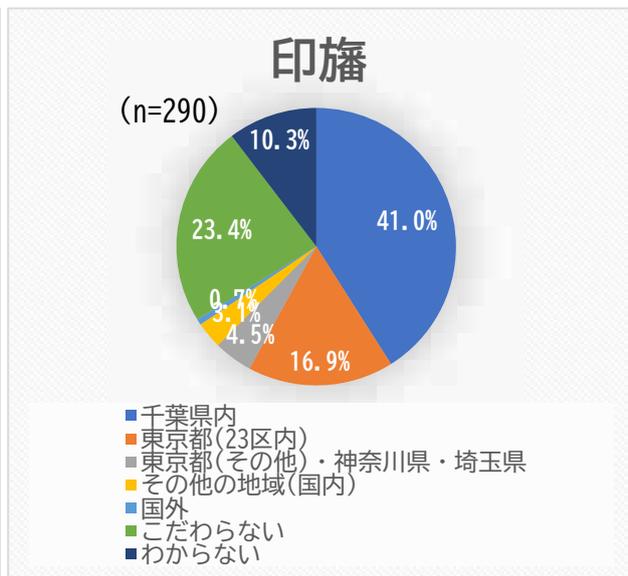
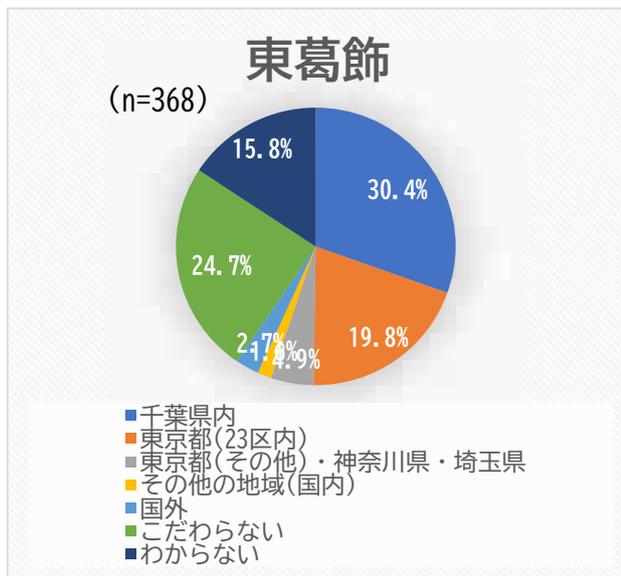
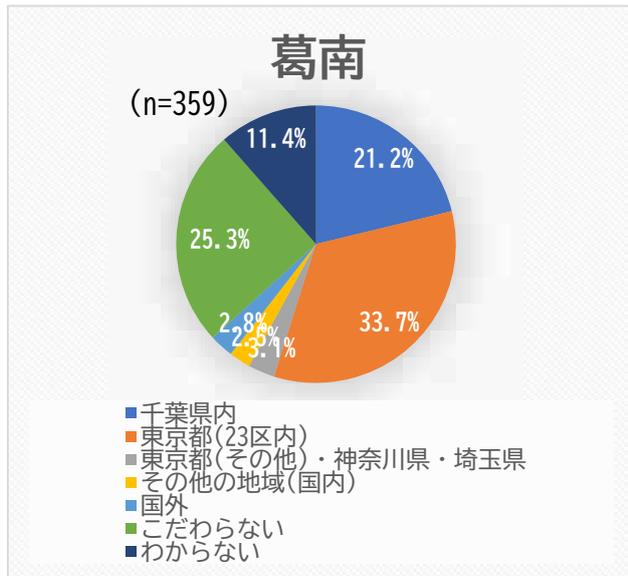
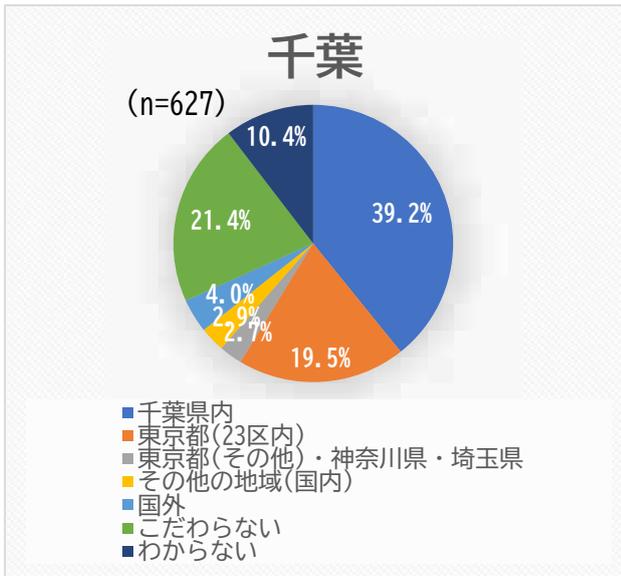
県内出身者と県外出身者を比較すると、県外出身者は県内出身者と比べ「千葉県内」が大きく減少している一方、「こだわらない」と、「東京都（23区内）」が多くなっている。また、「その他の地域（国内）」も多くなっていることが分かる。



男女別にみると、女性は「こだわらない」の割合が低くなっている一方、「東京都（23区）」が多くなっている。また、経年変化を見ると、昨年度と比べ、男女ともに「千葉県内」を回答する割合が多くなっている。また、女性では、昨年度と比べ、「東京都（23区内）」を回答する割合が3.4ポイント減っていることが分かる。

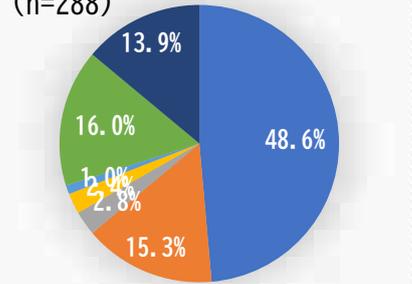


居住地域別に見ると、東京に近い地域ほど「東京都 23 区内」を選択する割合が多くなる一方、遠い地域は千葉県内が多くなっている。



山武

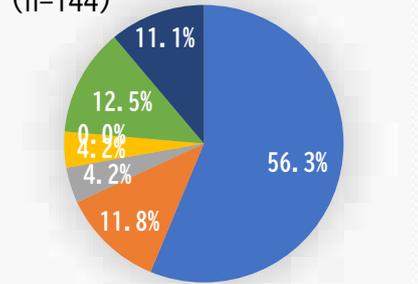
(n=288)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

長生

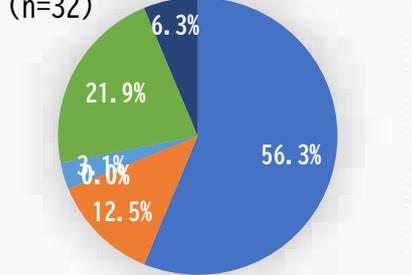
(n=144)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

夷隅

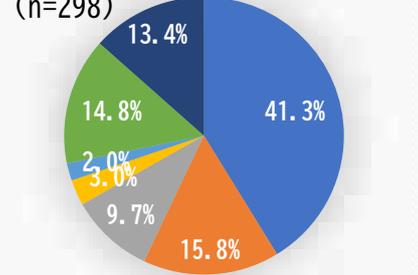
(n=32)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

安房

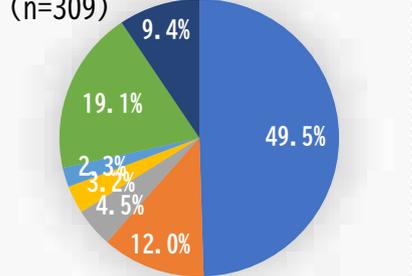
(n=298)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

君津

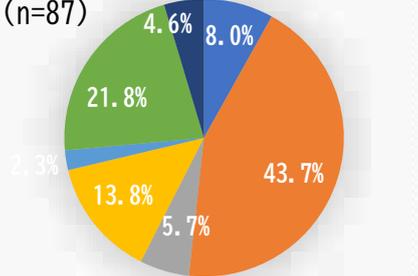
(n=309)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

県外等地域

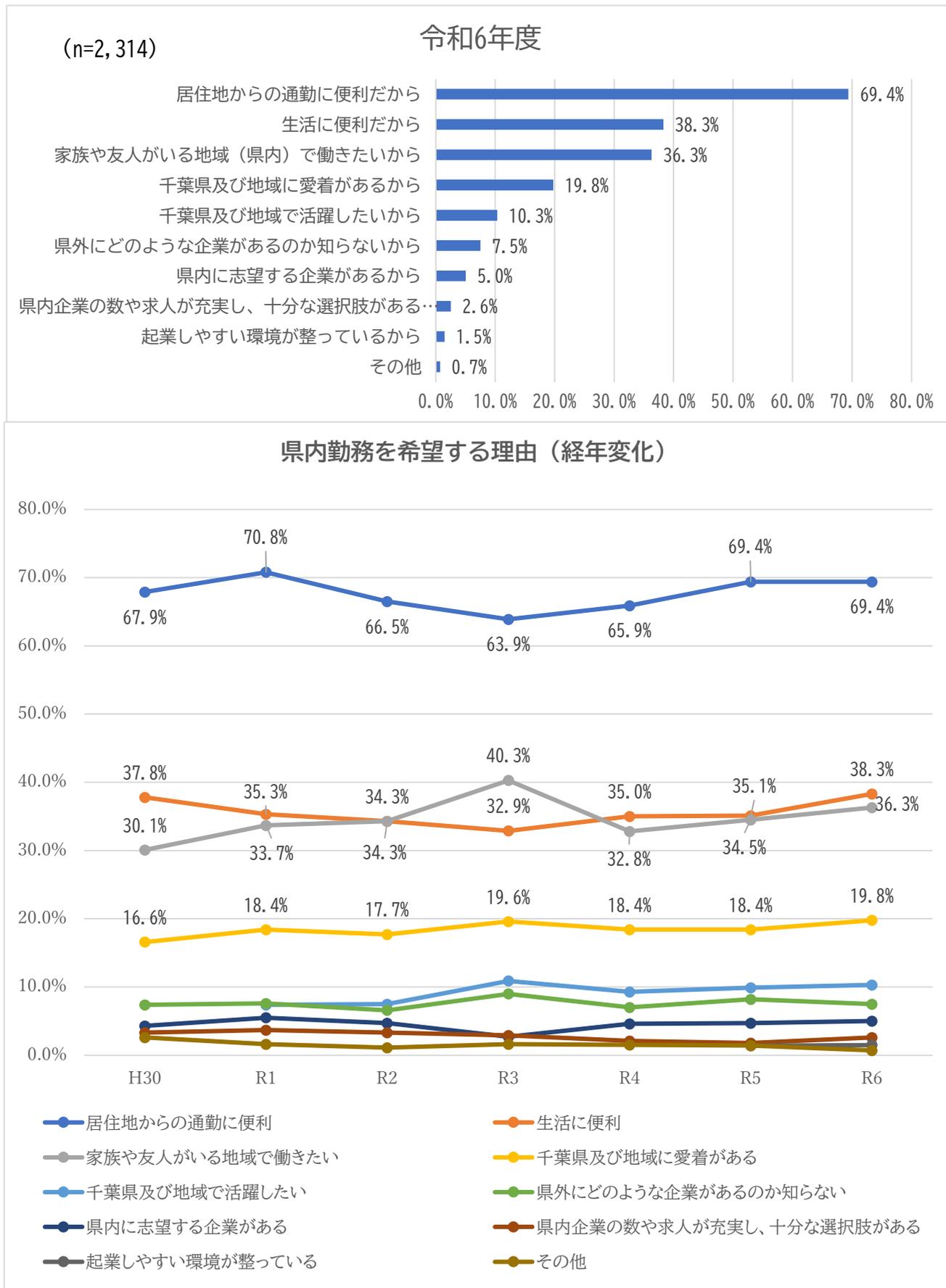
(n=87)



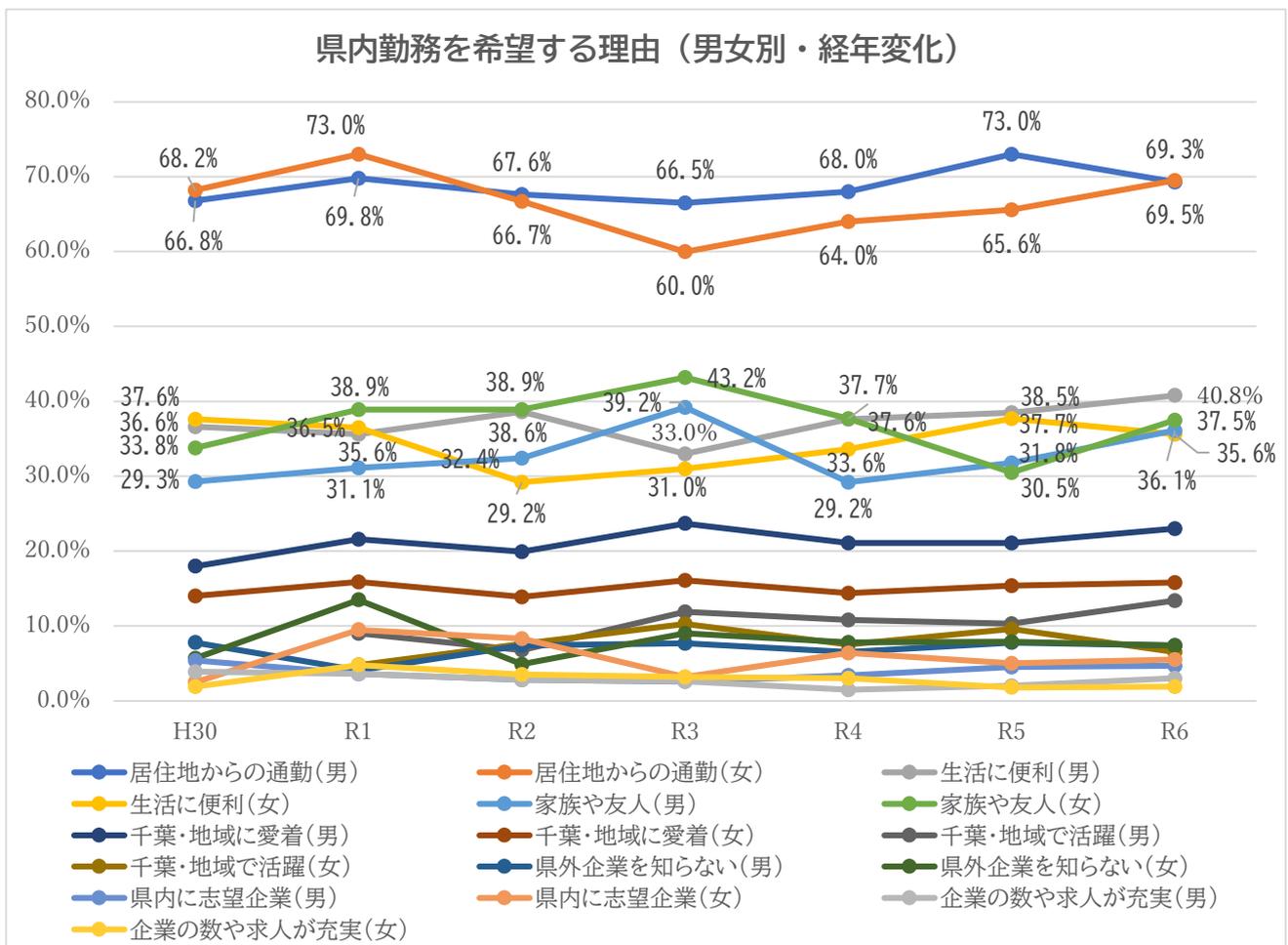
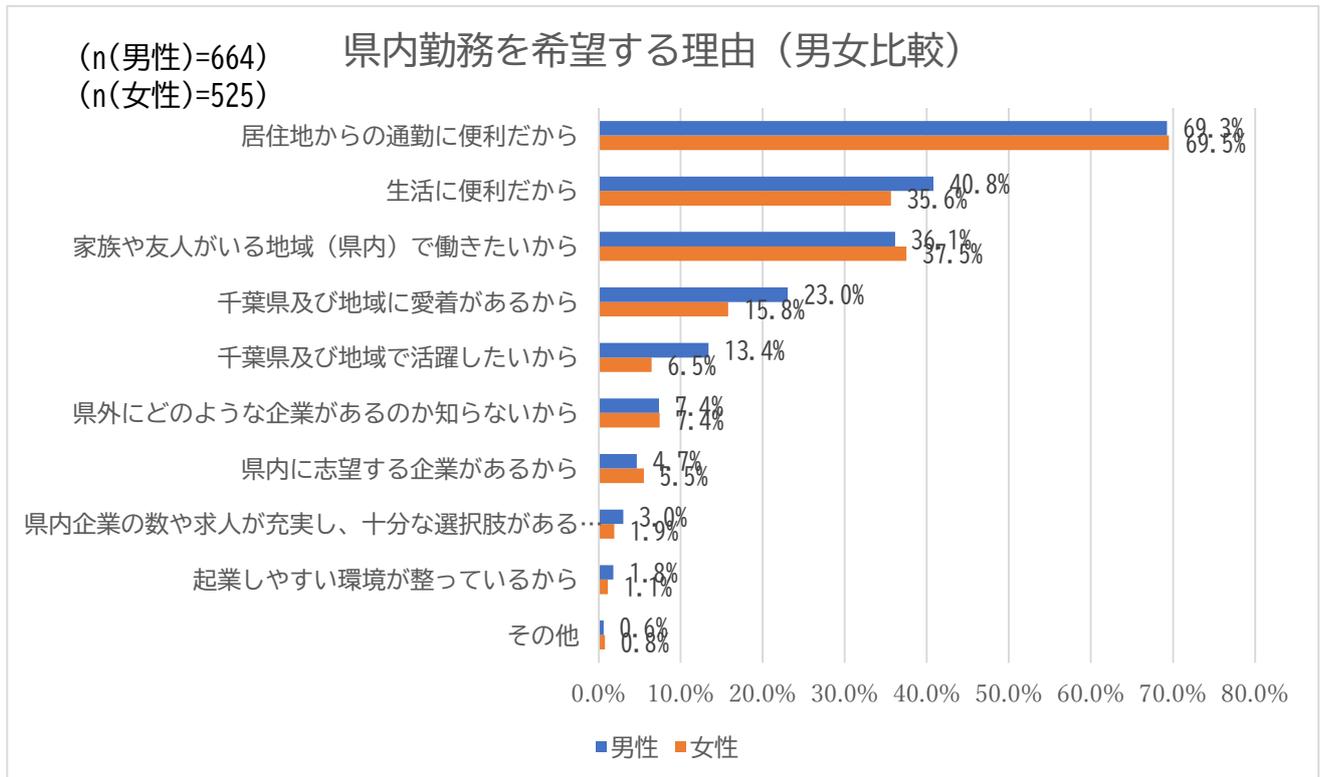
- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

(3) 県内に勤務を希望する理由

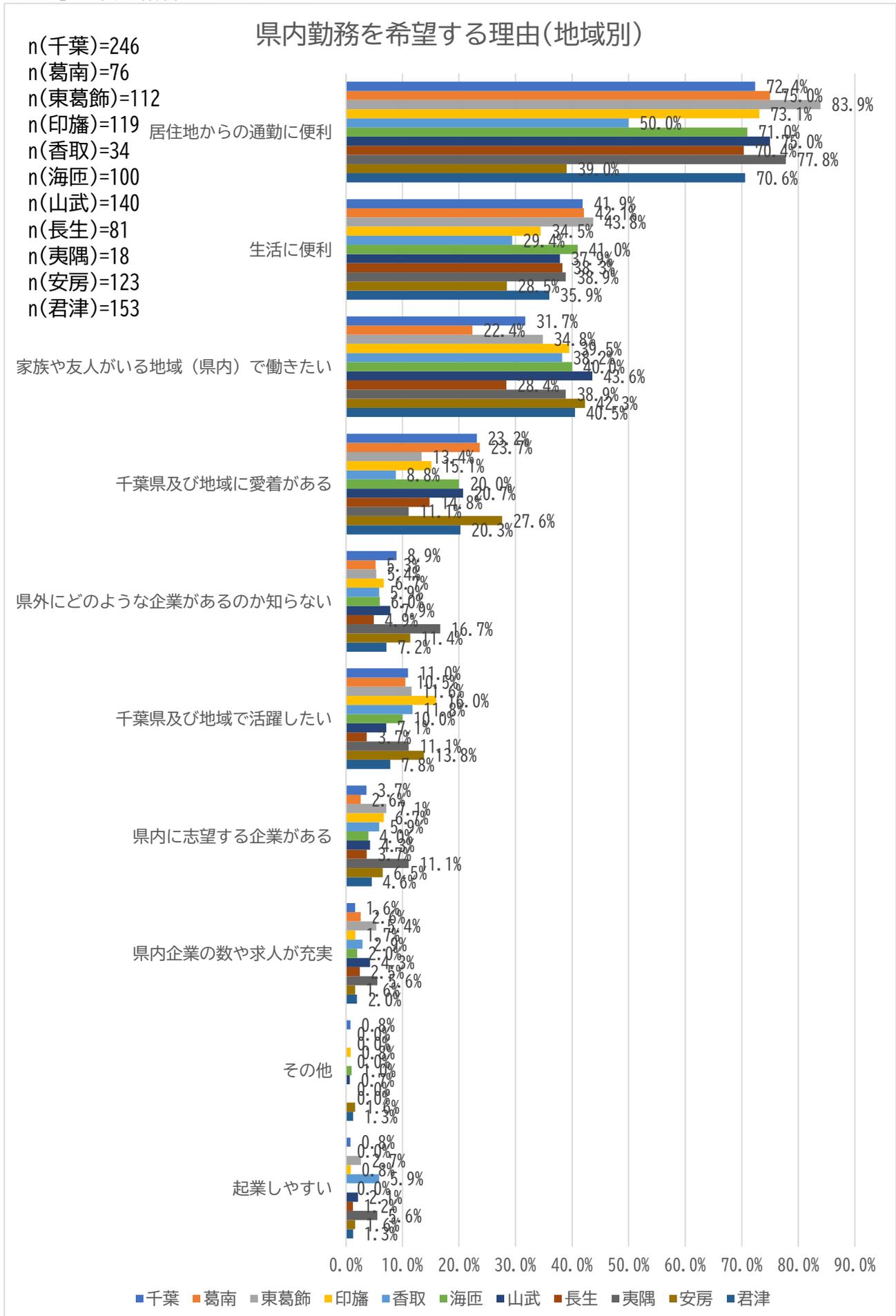
高校生が県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利」、「生活に便利」、「家族や友人がいる地域で働きたい」という順位になっており、長期でみても大きなトレンドの変化は見られない。



男女で比較すると、ほぼ男性と女性でほぼ同じ回答傾向にあるといえる。経年変化をみると、男女ともに「居住地からの通勤に便利だから」が最も回答の割合が多い。

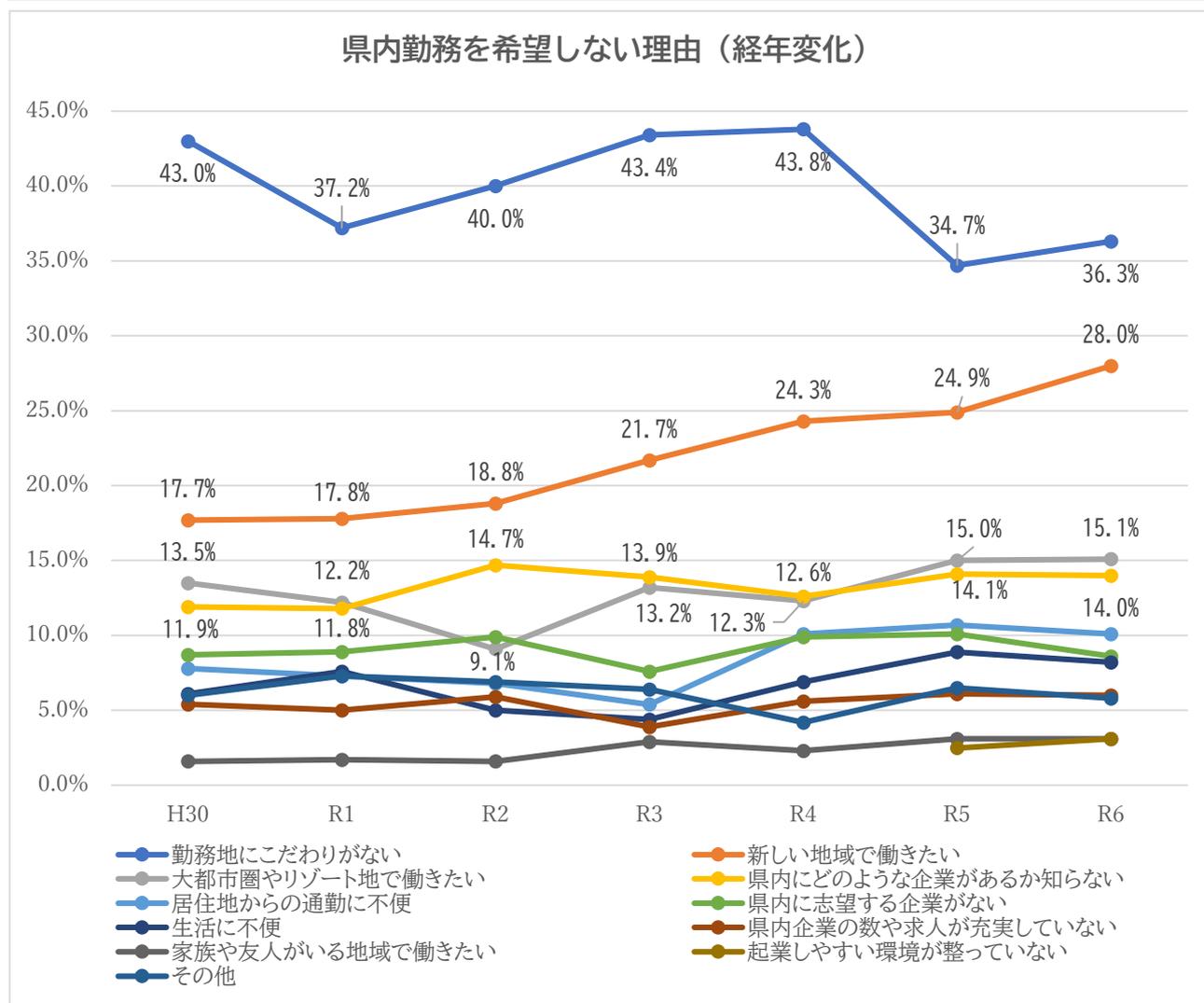
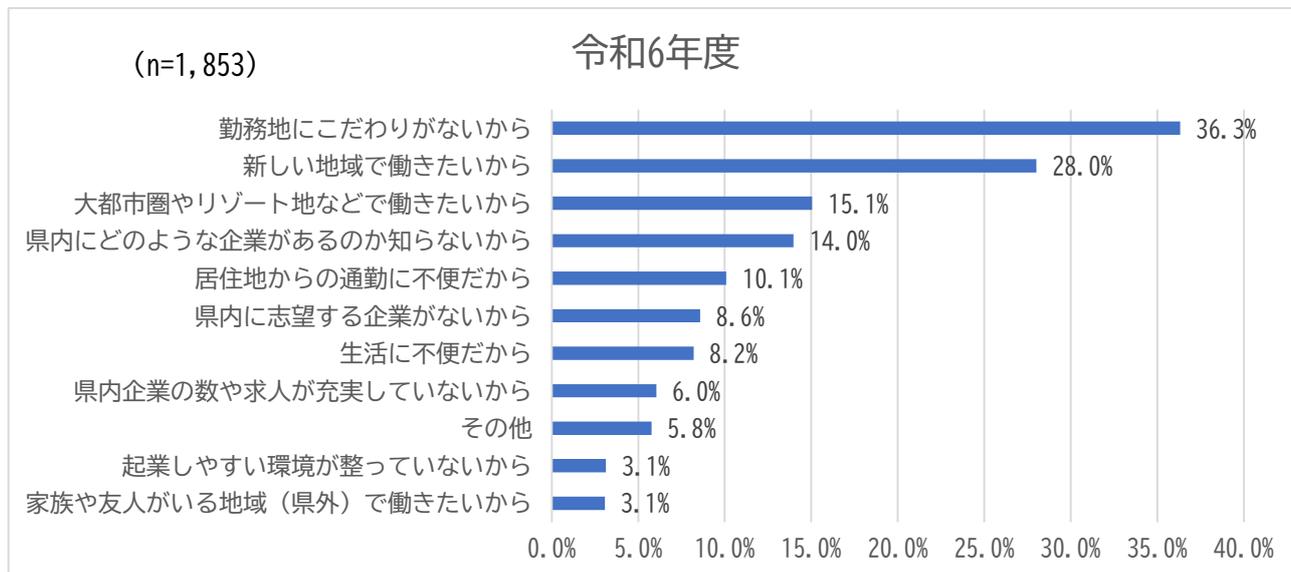


地域別に見ると、「居住地からの通勤に便利」が多く地域で高い割合になっているが、香取や安房地域では、他の地域と比べ低い割合になっている。一方、「家族や友人がいる地域で働きたい」が高い割合となっている。

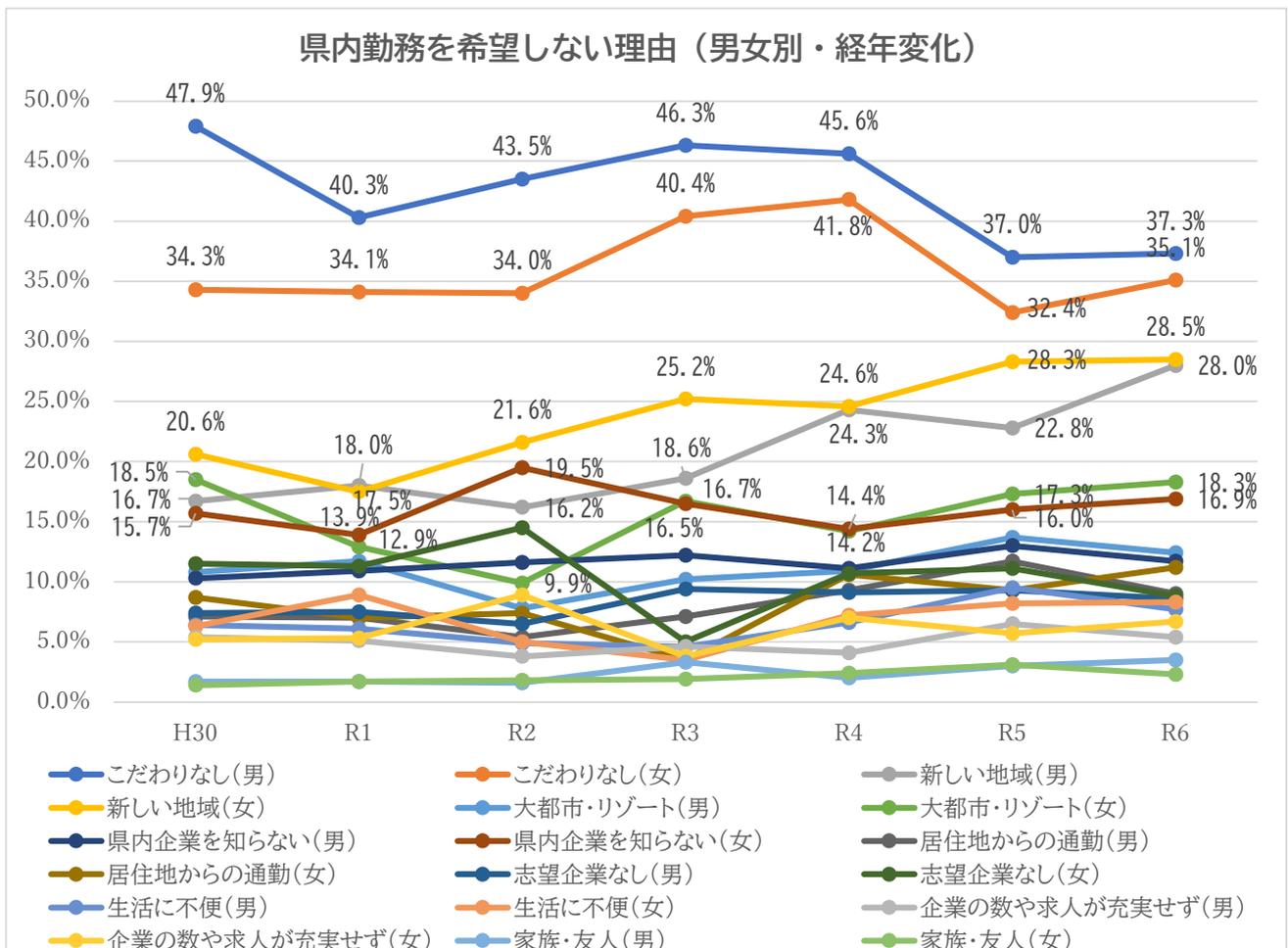
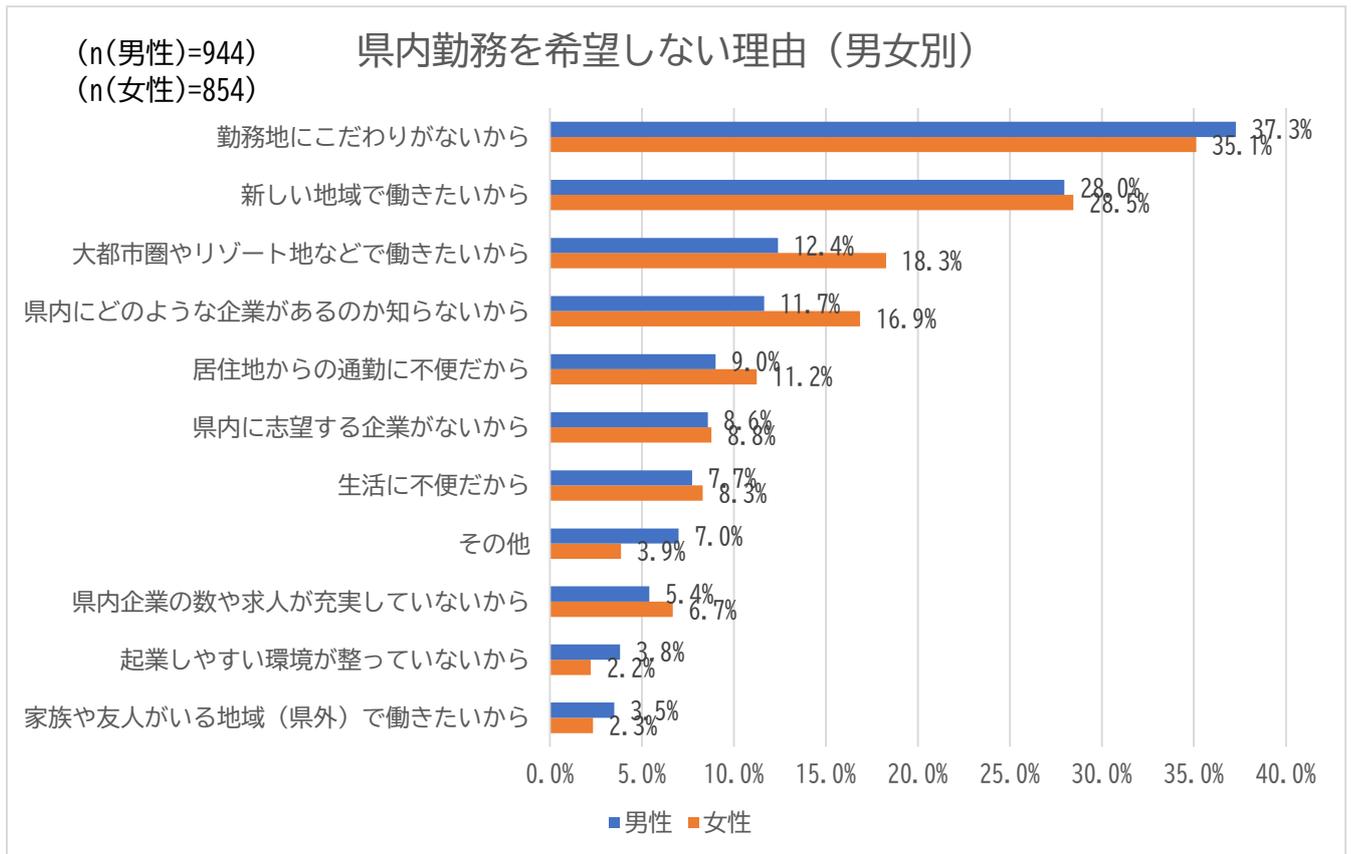


(4) 県内での勤務を希望しない理由

高校生が県内での勤務を希望しない理由としては、「勤務地にこだわりのない」が1位でとなっているが、昨年度から1.6ポイント増の36.3%となっており、大きく増えていない。一方で、「新しい地域で働きたい」が昨年度から3.1ポイント増の28.0%となっており、増加し続けている。



男女別で見たとき、男女に共通して「勤務地にこだわらない」や「新しい地域で働きたい」を回答する割合が大きくなっている。女性の回答をみると、「大都市圏やリゾート地で働きたい」「県内にどのような企業があるのか知らないから」が男性と比較して大きくなっている。



地域別に見ると、葛南・東葛飾地域など東京に近い地域では、「勤務地にこだわりがないから」や「県内に志望する企業がないから」の割合が大きくなっている一方、東京から遠い地域では、「新しい地域で働きたいから」や「居住地からの通勤に不便だから」の割合が大きくなっている。

県内勤務を希望しない理由（地域別）

n(千葉)=381

n(葛南)=283

n(東葛飾)=256

n(印旛)=171 勤務地にこだわりがないから

n(香取)=39

n(海匝)=87

n(山武)=148

n(長生)=63 新しい地域で働きたいから

n(夷隅)=14

n(安房)=175

n(君津)=156

県内にどのような企業があるのか知らないから

大都市圏やリゾート地などで働きたいから

県内に志望する企業がないから

生活に不便だから

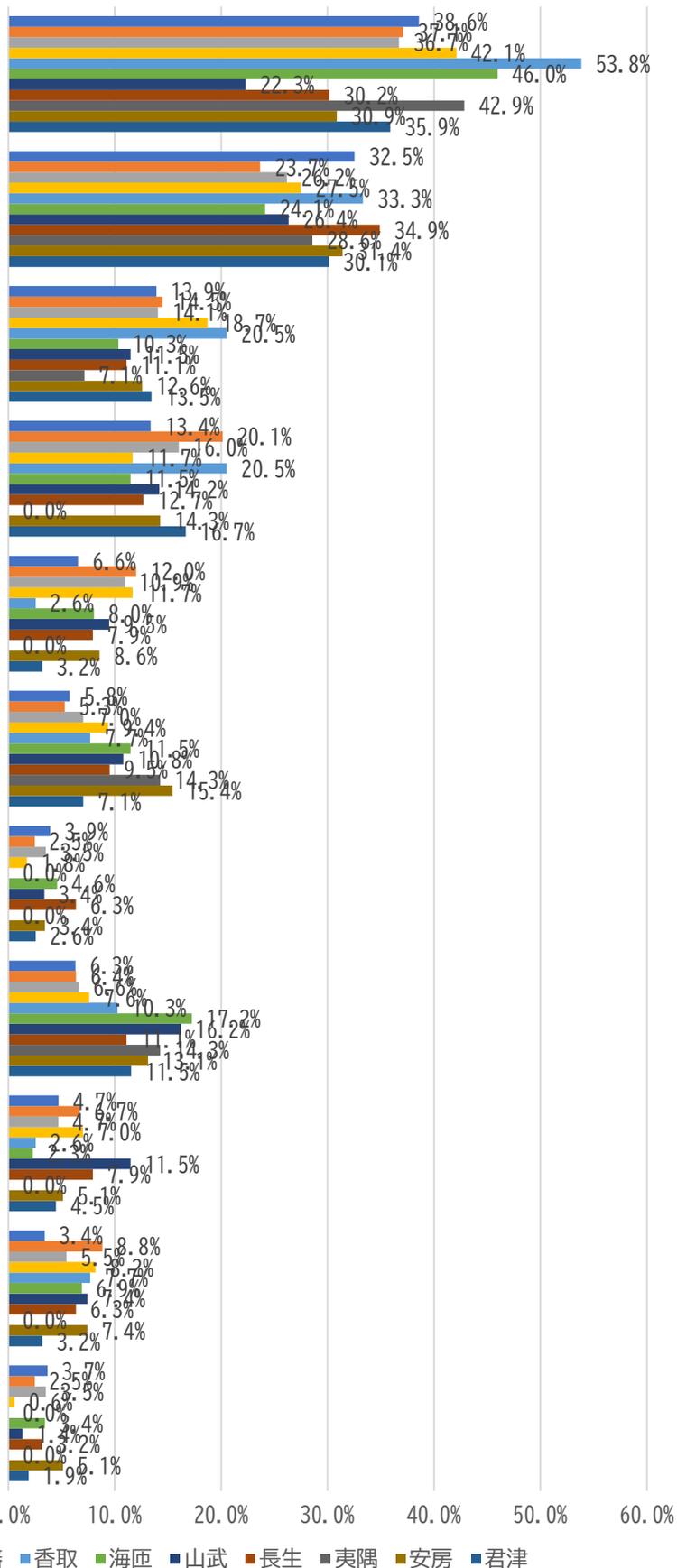
起業しやすい環境が整っていないから

居住地からの通勤に不便だから

その他

県内企業の数や求人が充実していないから

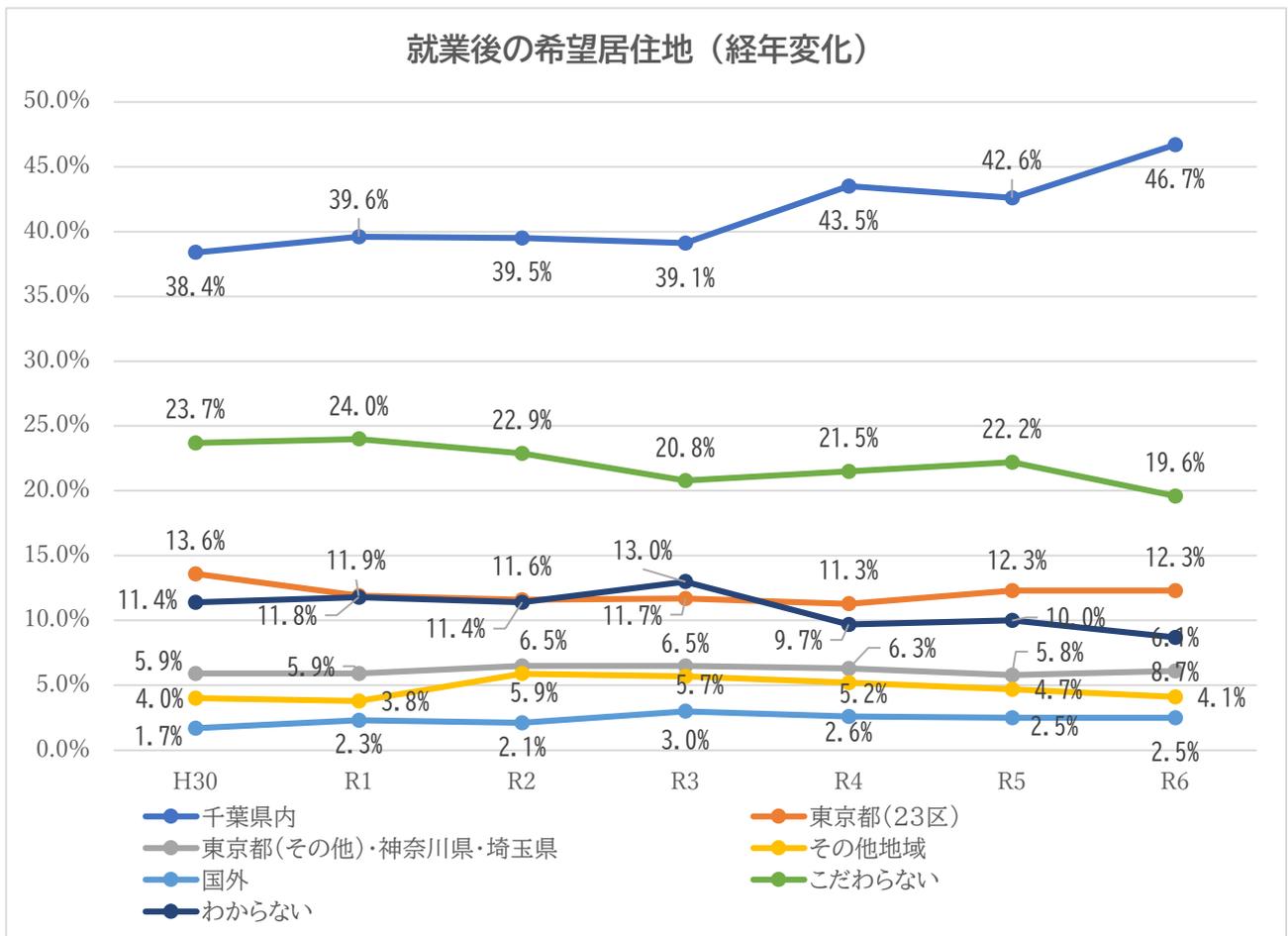
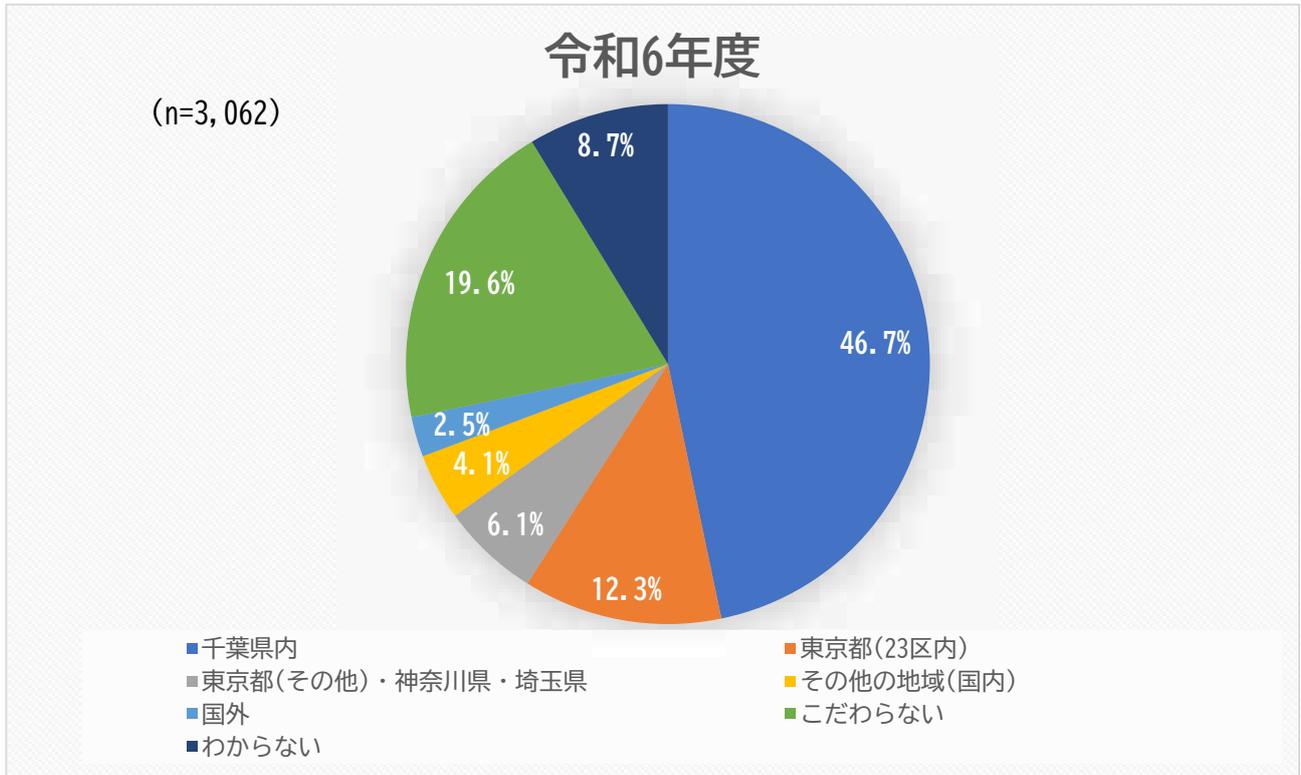
家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから



3. 将来の居住地の希望について

(1) 就業後の居住地の希望

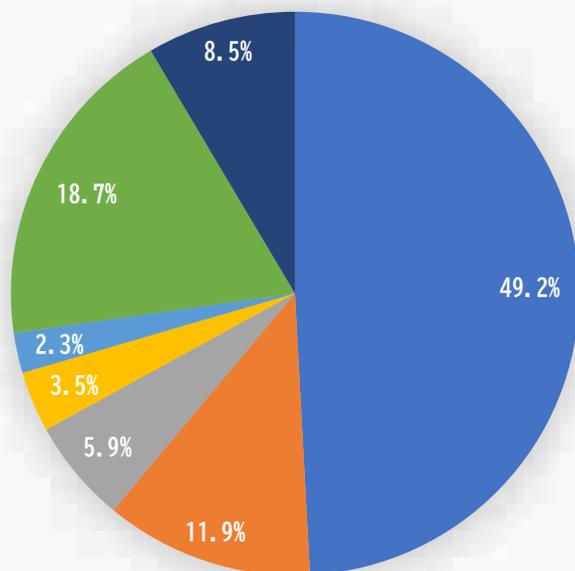
高校生の就業後の居住地については、「千葉県内」が最も多く、昨年度と比べ 4.1 ポイント増加の 46.7%となっている。一方、「こだわらない」と回答している者の割合が昨年度と比べ、2.6 ポイント減少の 19.6%となっている。その他の項目は、概ね横ばいで推移している。



出身地別に見たときには、県内出身者は、49.2%とほぼ半分が千葉県内に住みたいと答えたのに対して、県外出身者は、千葉県内が21.3%と大きく減少する一方、「こだわらない」と答える人が28.5%と大きく増えている。

就業後の居住希望地（県内出身）

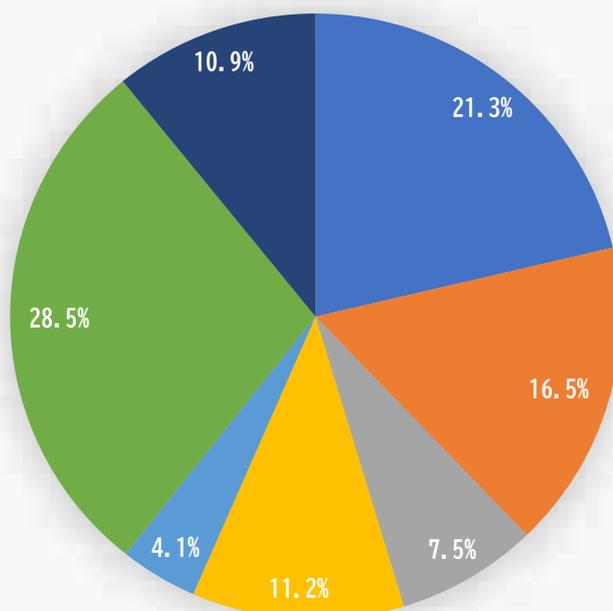
(n=2,795)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

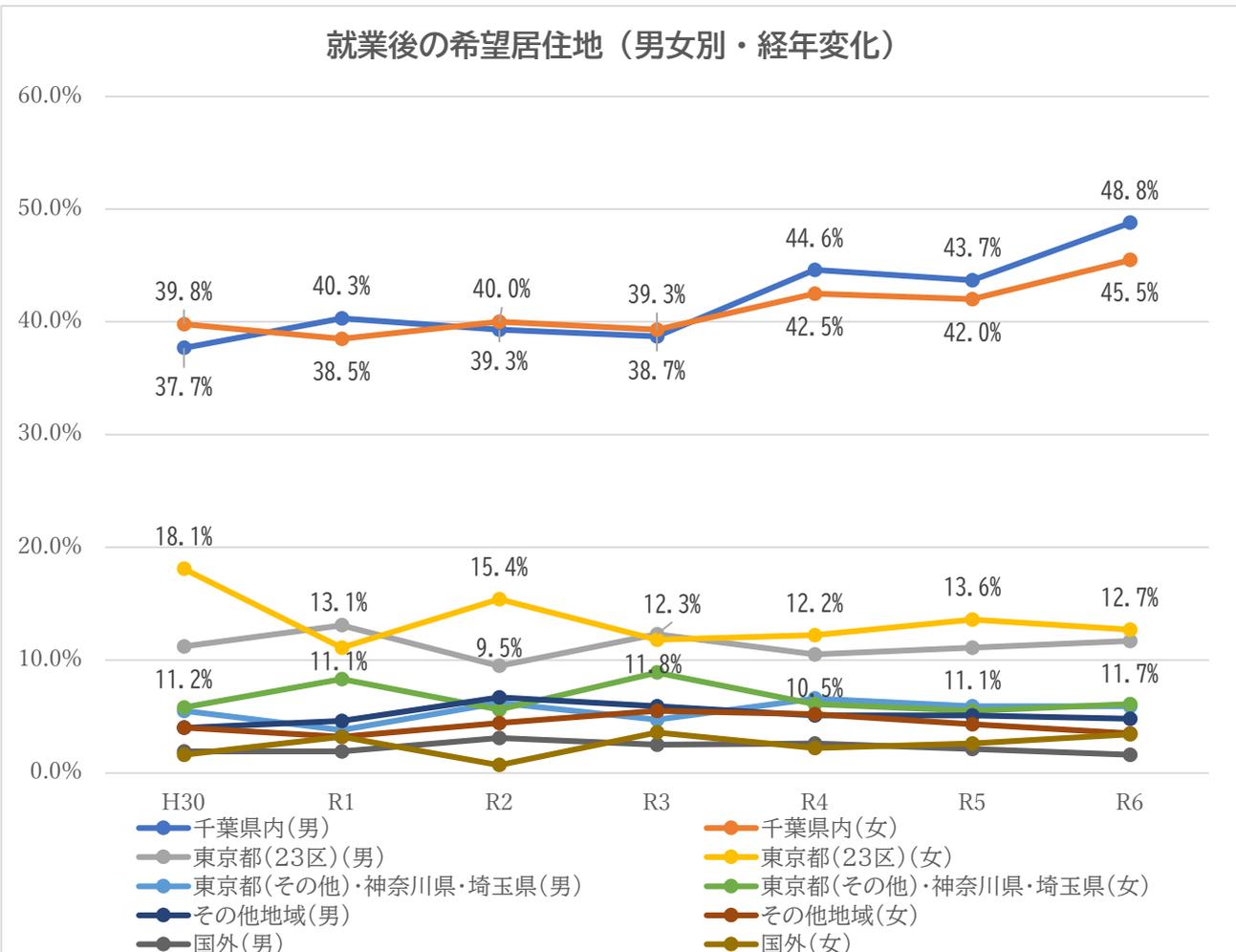
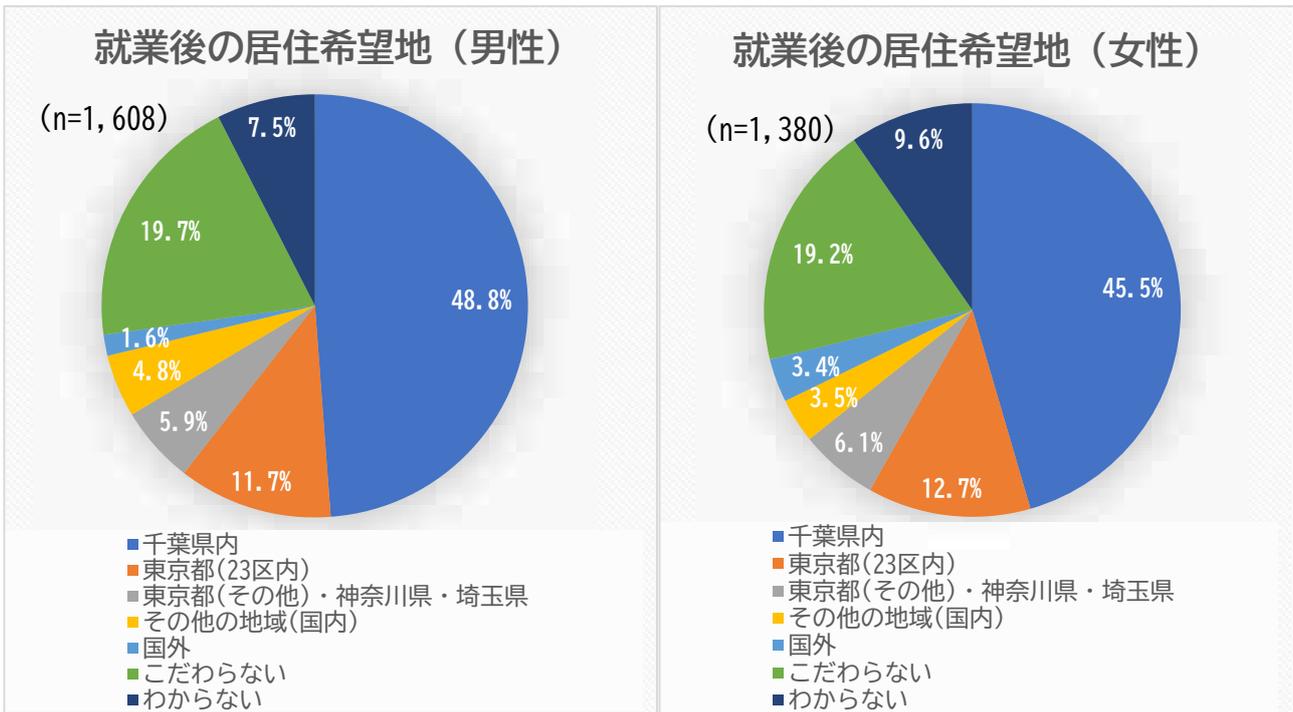
就業後の居住希望地（県外出身）

(n=262)

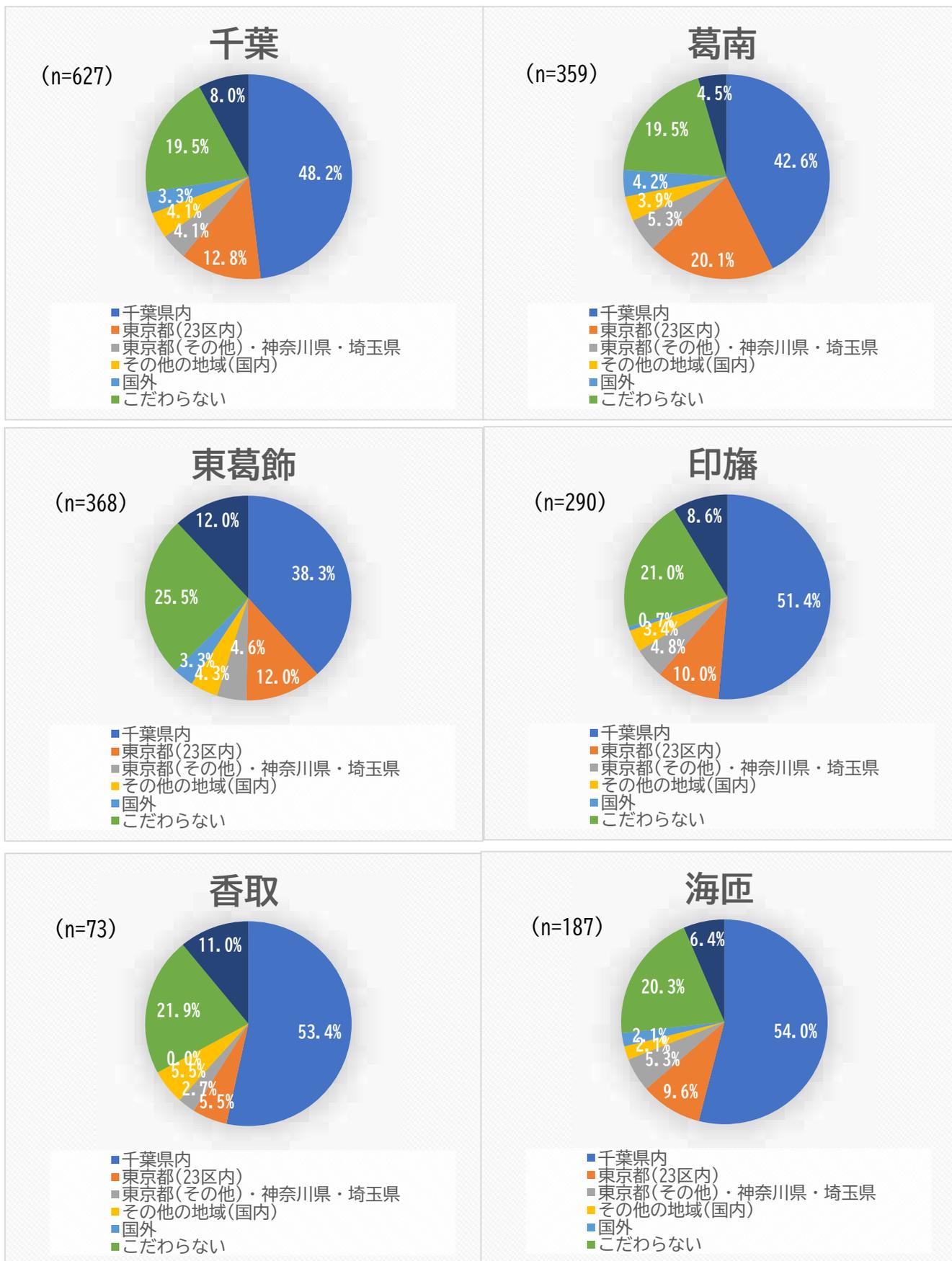


- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない
- わからない

男女別にみると、男女ともに就職後の希望居住地として、「千葉県内」を回答する割合が大きくなっている。また、経年変化をみても、「千葉県内」を回答する割合が年々増加している。

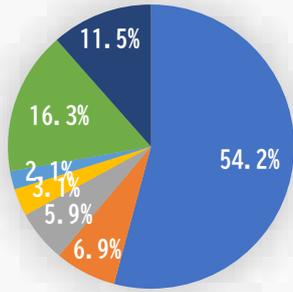


居住地域別に見ると、「千葉県内」を選択した人の割合が40%未満となっている地域は「東葛飾」地域や「県外等地域」となっており、この地域では、「こだわらない」の割合が大きくなっている。



山武

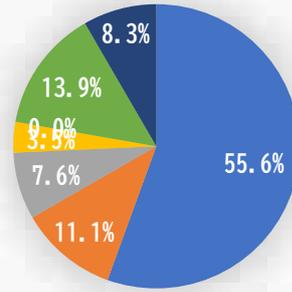
(n=288)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない

長生

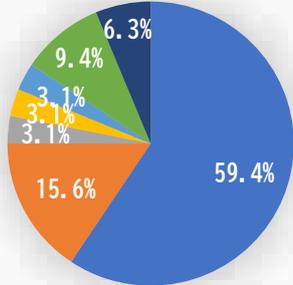
(n=144)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない

夷隅

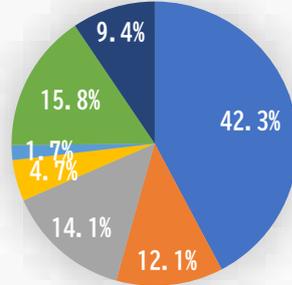
(n=32)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない

安房

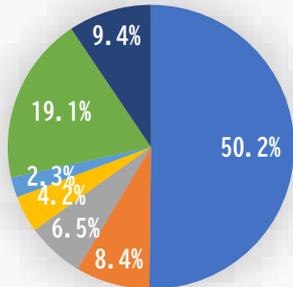
(n=298)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない

君津

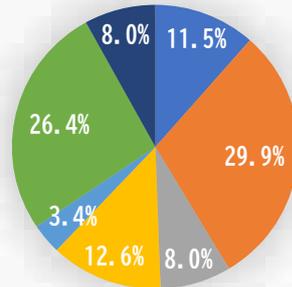
(n=309)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない

県外等地域

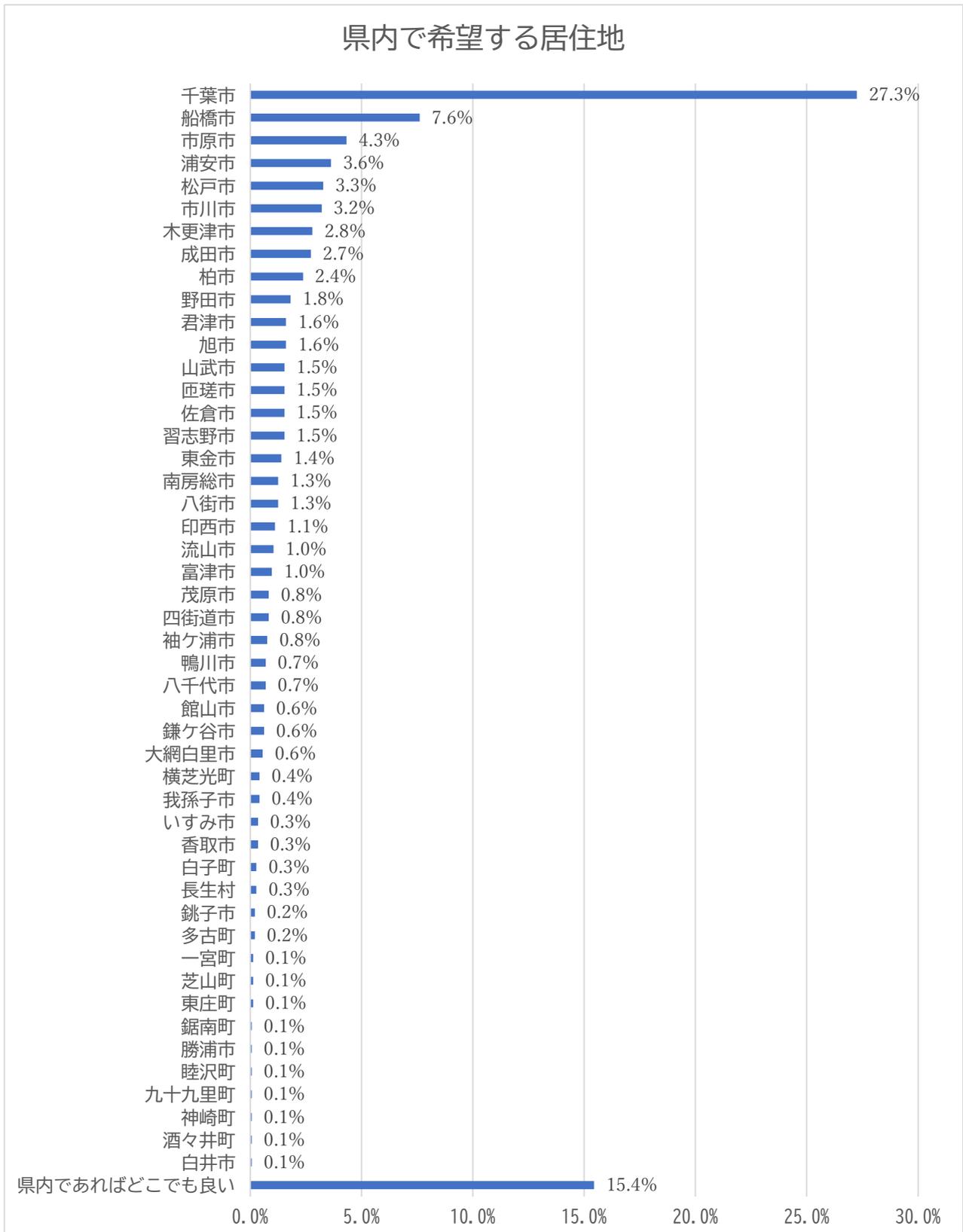
(n=87)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域(国内)
- 国外
- こだわらない

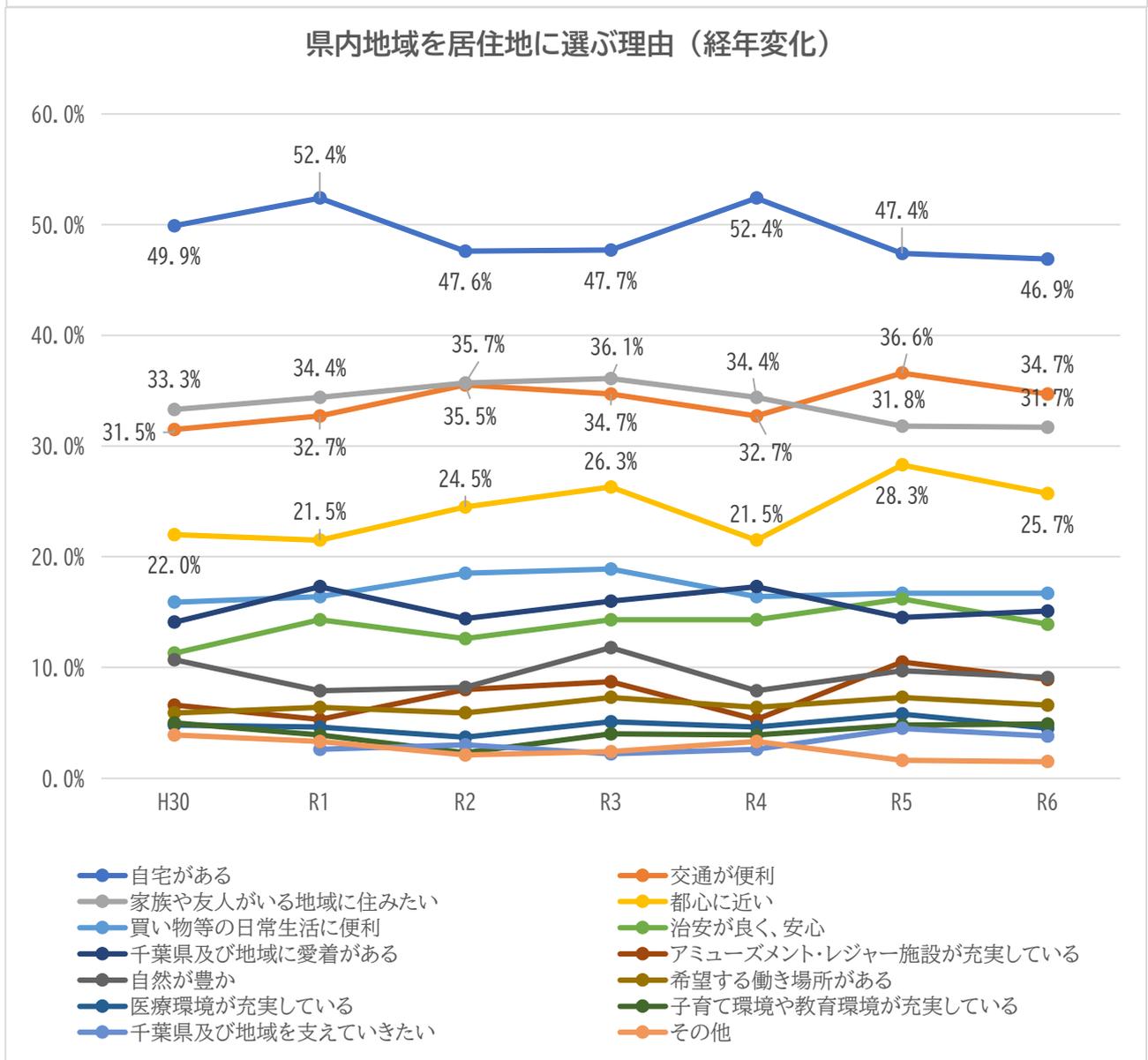
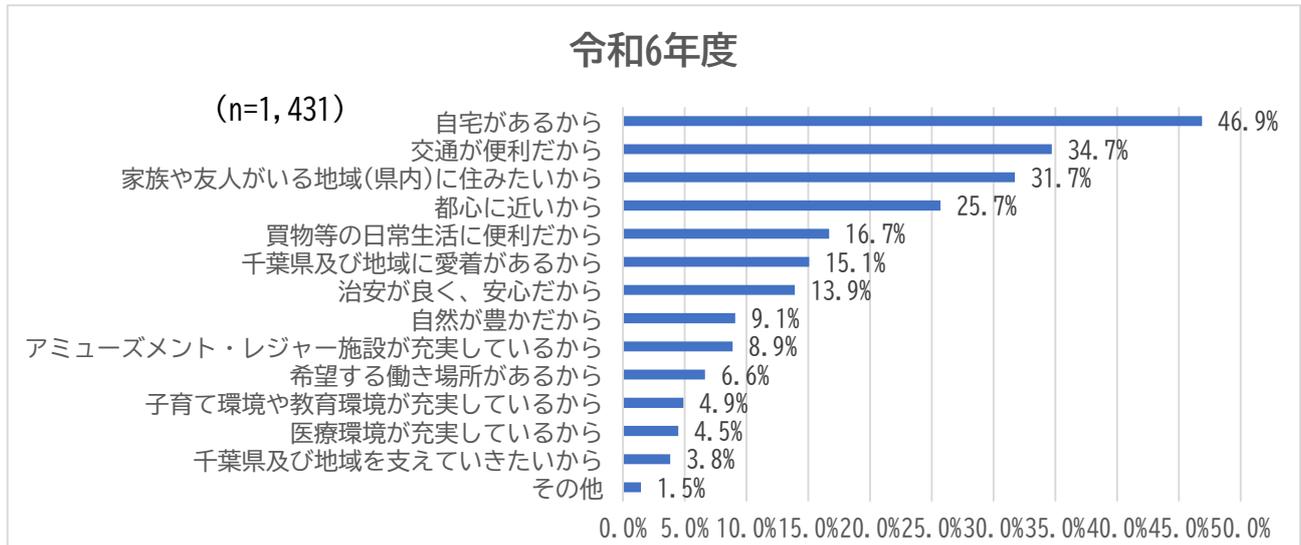
(2) 県内で希望する居住地

就職後の居住地で「千葉県に住みたい」と回答した方について、居住を希望する市町村は「千葉市」、「船橋市」、「市原市」の順になっている。



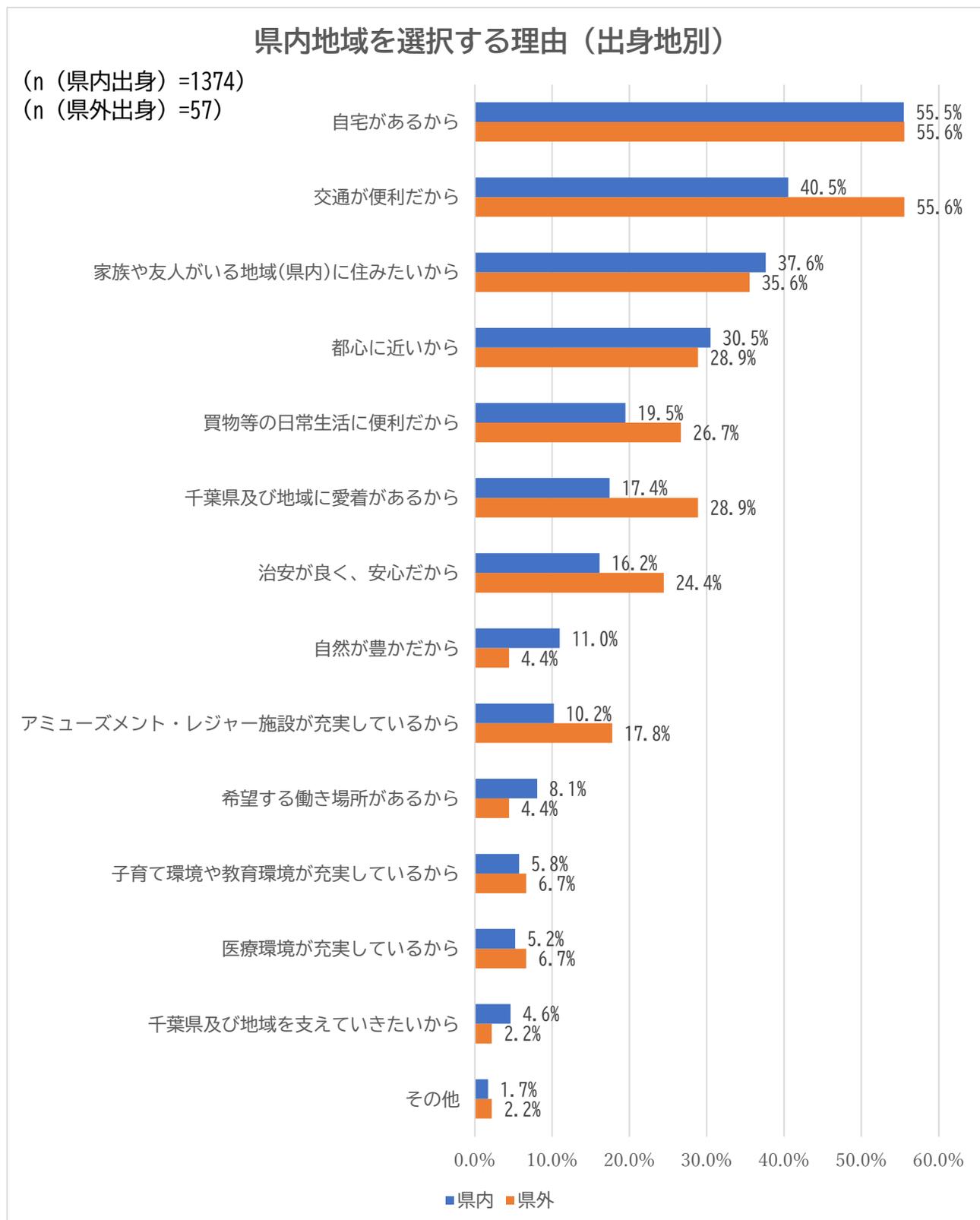
(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由

県内地域を居住地に選ぶ理由については、「自宅がある」昨年度と比べ0.5ポイント減の46.9%となり、昨年度の減少以降、回答傾向が変わっていない。そのほか「交通が便利」、「家族や友人がいる地域に住みたいから」や「都心に近いから」が多く、こちらも昨年度から大きい変化は見られない。

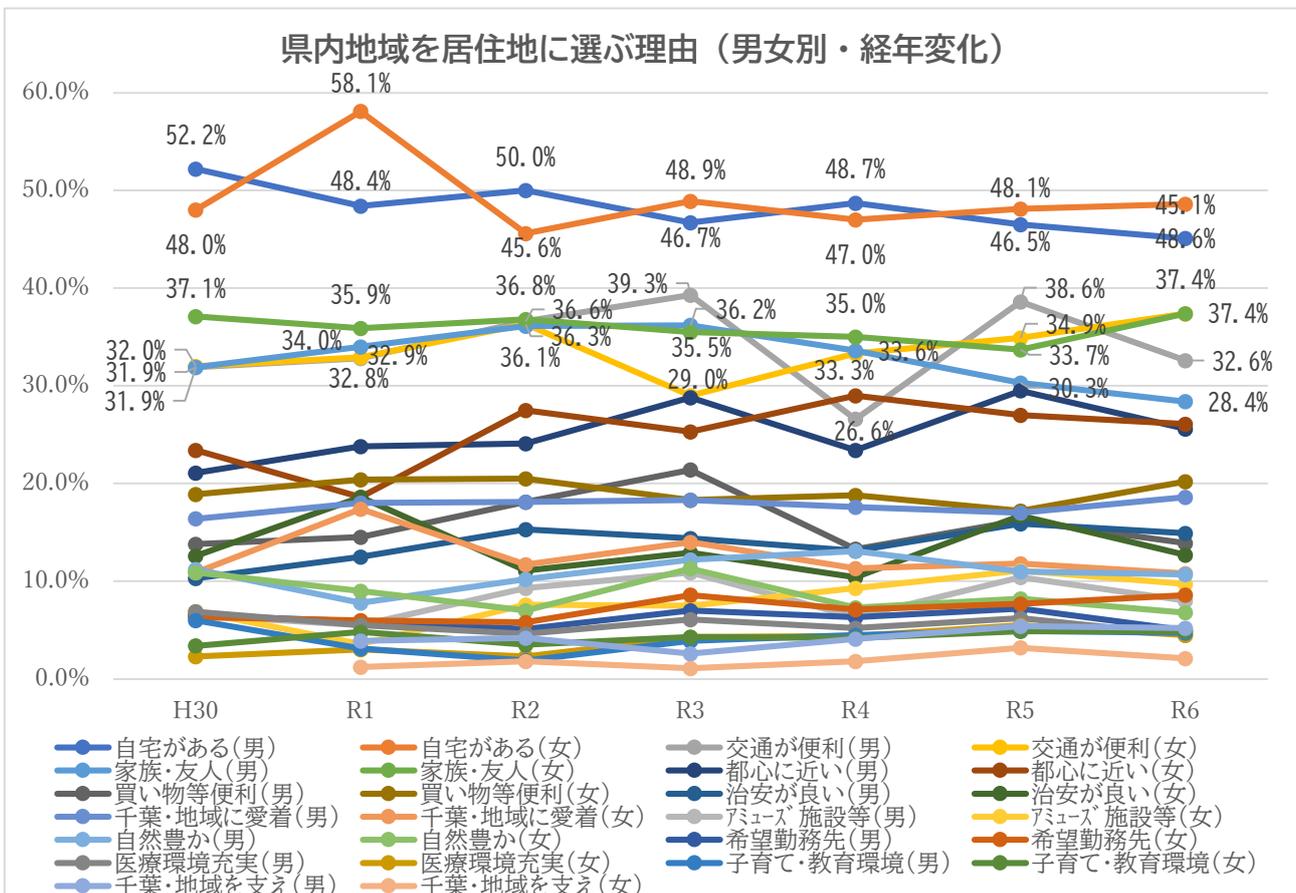
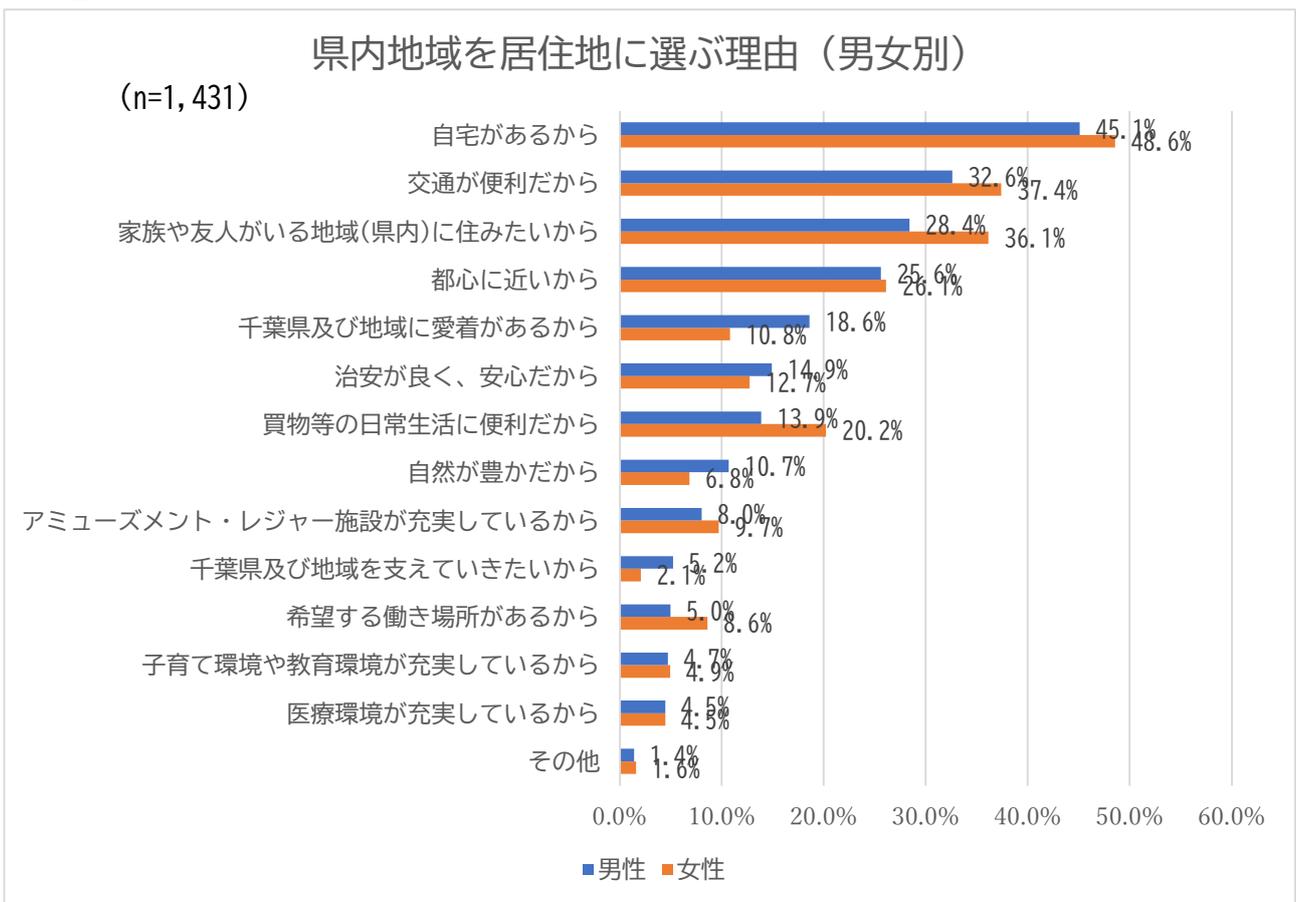


出身地別に見ると、県外出身者では「自宅があるから」や「交通が便利」を回答する者の割合が多くなっている。県内出身者では、「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」、「都心に近いから」を回答している者の割合が多い。

ただし、県外出身者で就業後の居住希望地として「県内地域」を選択している者は 57 人と非常に少ないため注意が必要である。



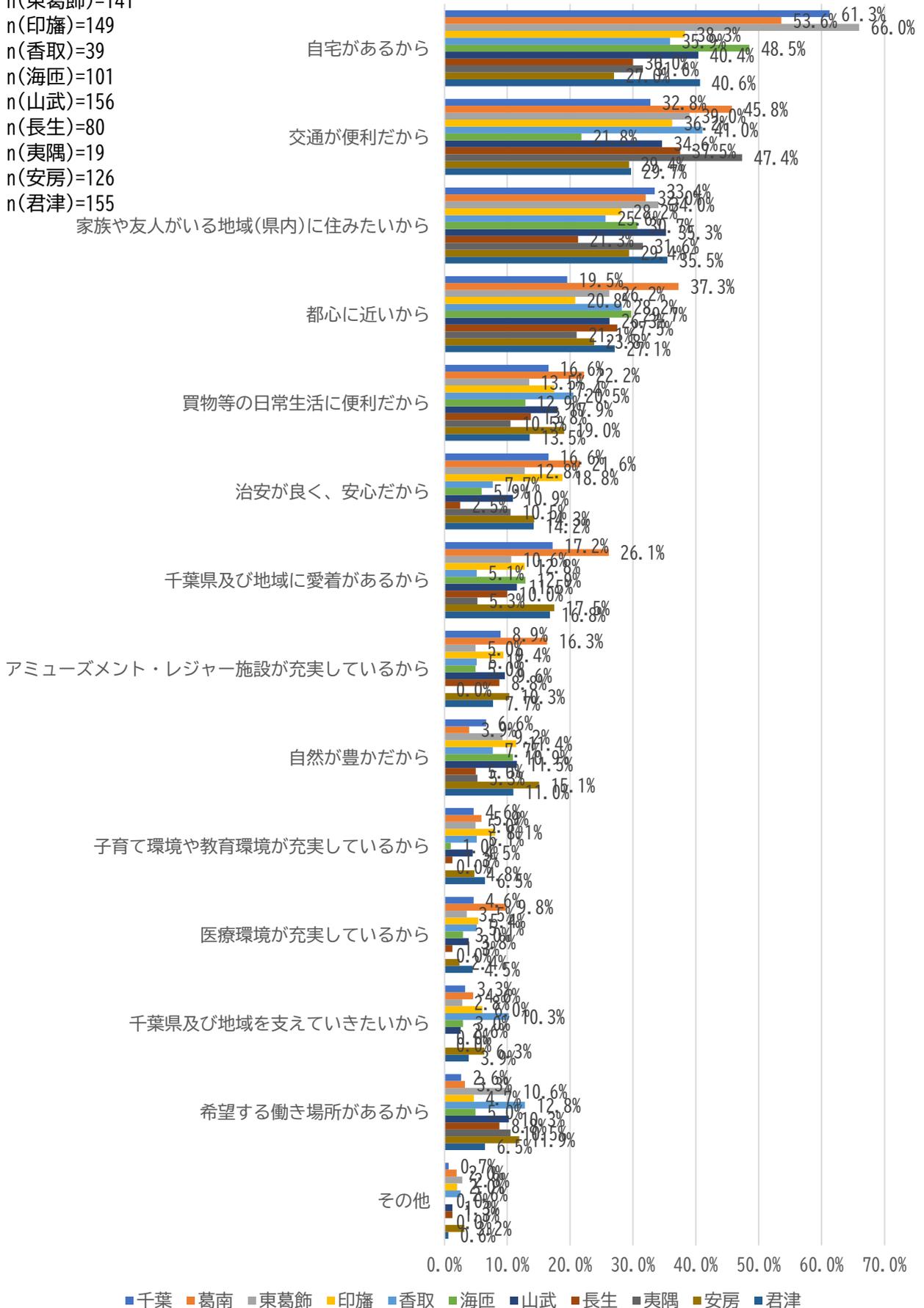
男女別に見たときにも、それほど大きな傾向の違いはない。ただし、昨年度の結果と比較すると、女性では「交通が便利だから」が2.5ポイント増えている一方、男性では6ポイント減っており、差がみられる。



地域別に見ると、「自宅がある」を選択した人の割合が東京に近い地方で多くなっているのに対し、東京から遠い地域では、「家族や友人がいる地域に住みたいから」が多くなっている。

- n(千葉)=302
- n(葛南)=153
- n(東葛飾)=141
- n(印旛)=149
- n(香取)=39
- n(海匝)=101
- n(山武)=156
- n(長生)=80
- n(夷隅)=19
- n(安房)=126
- n(君津)=155

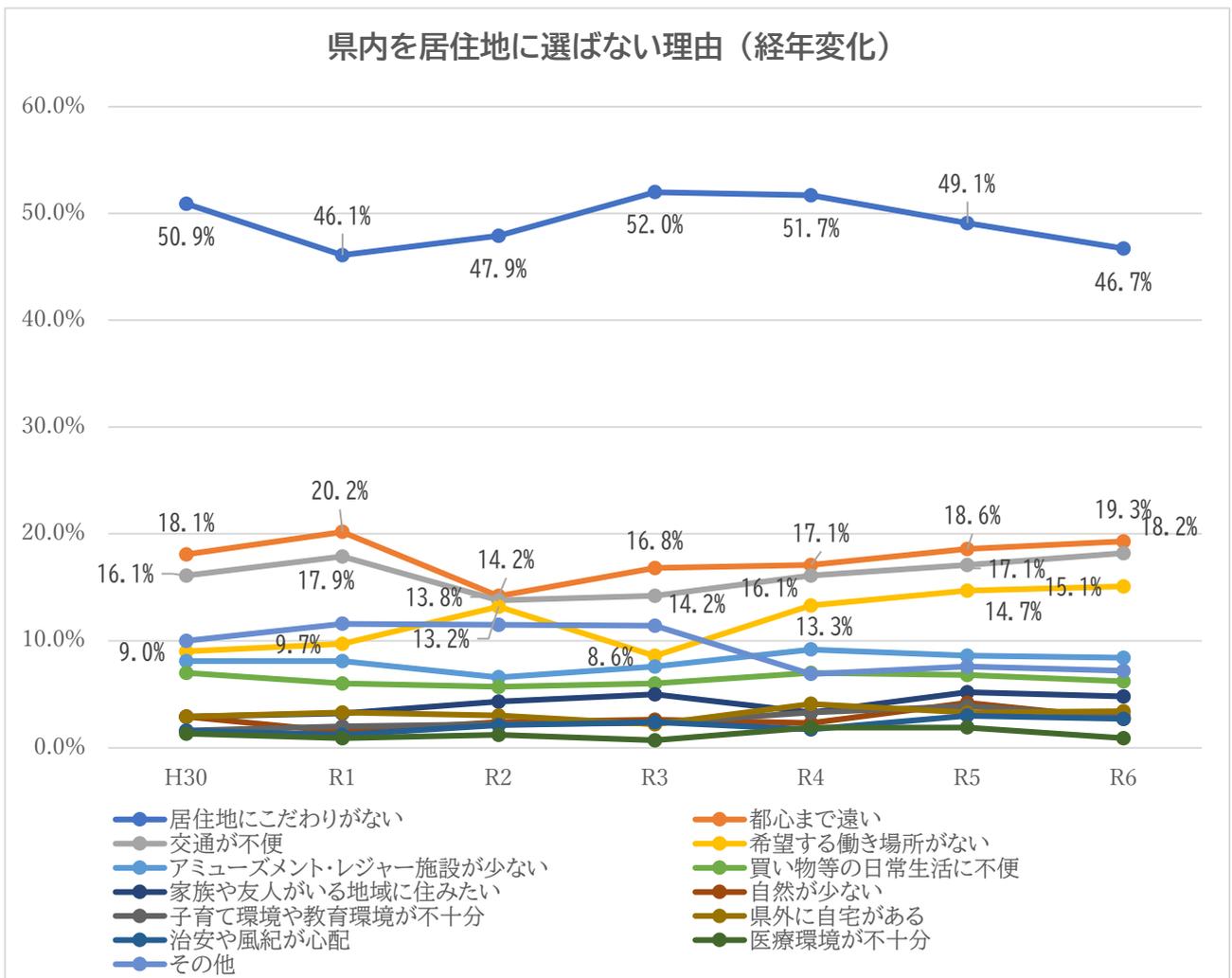
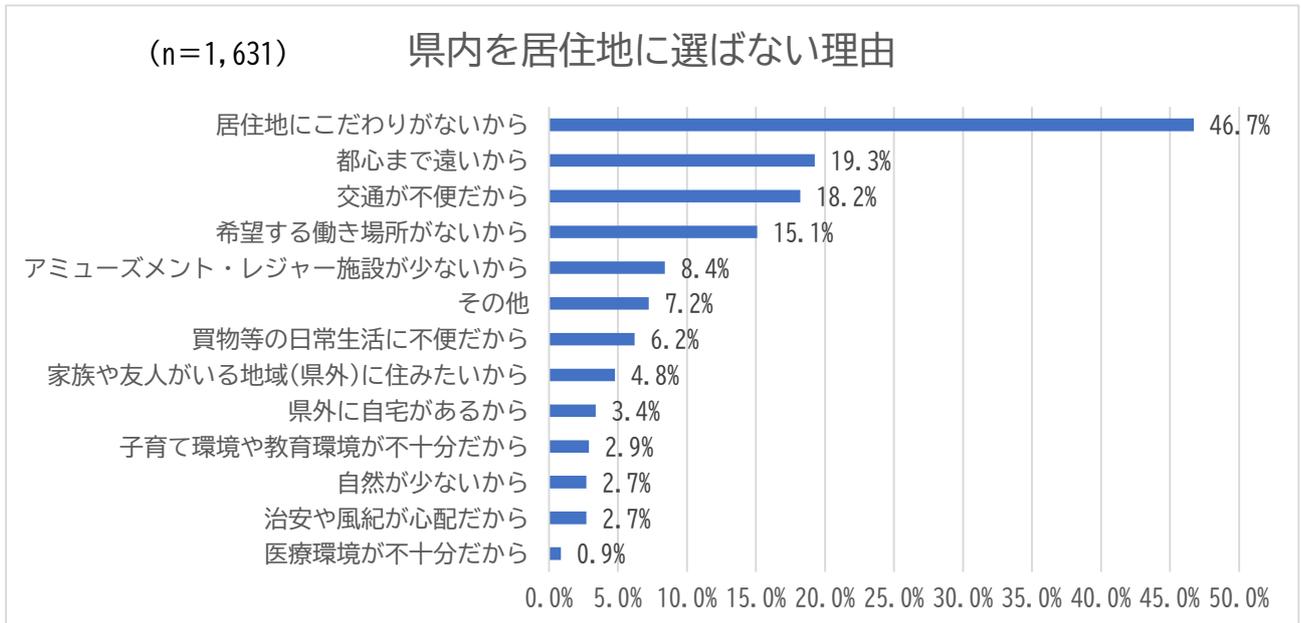
県内地域を居住地に選ぶ理由（居住地域別）



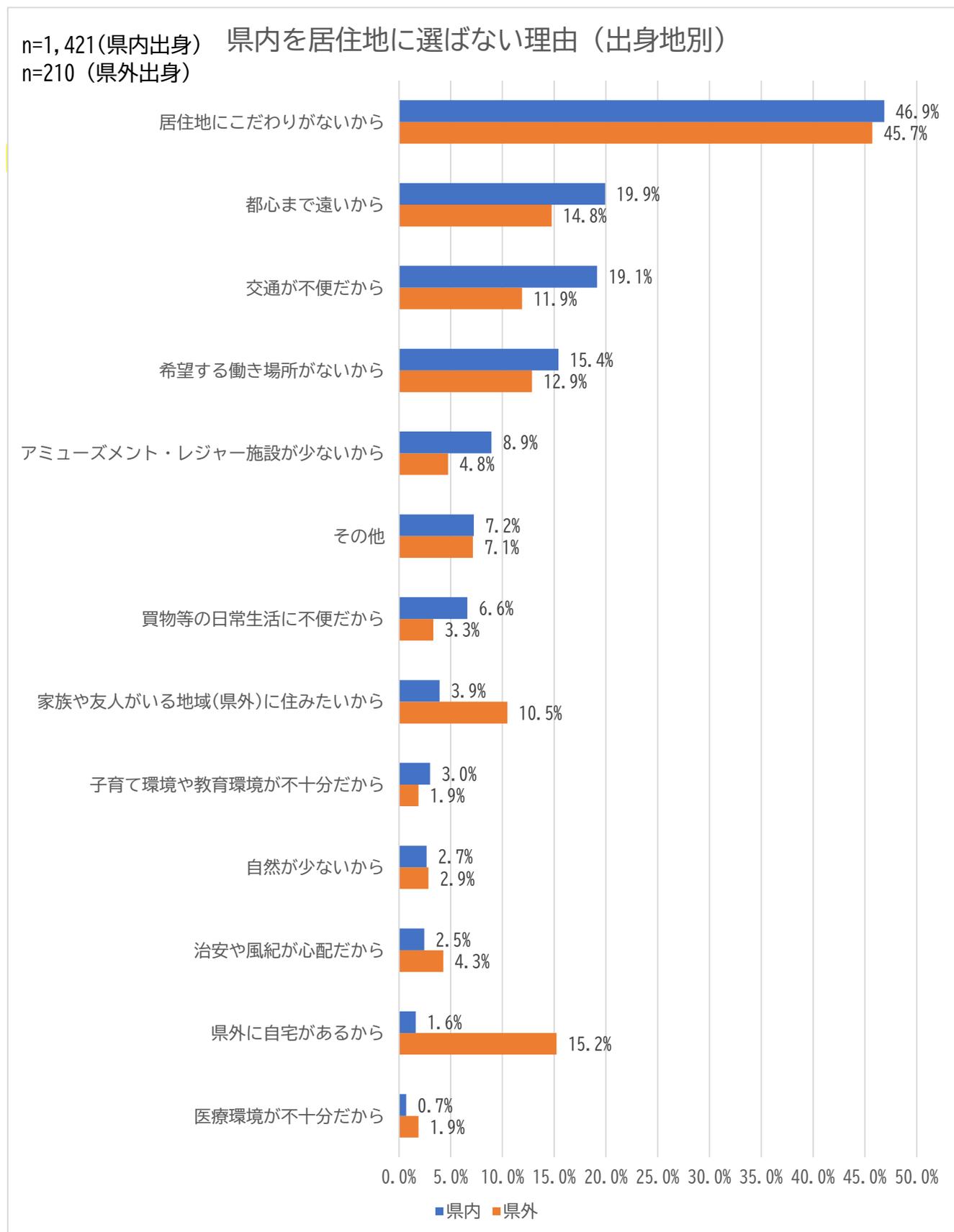
(4) 県内を居住地に選ばない理由

県内を居住地に選ばない理由として、「居住地にこだわりのない」がもっとも多くなっているが、徐々に減少している。

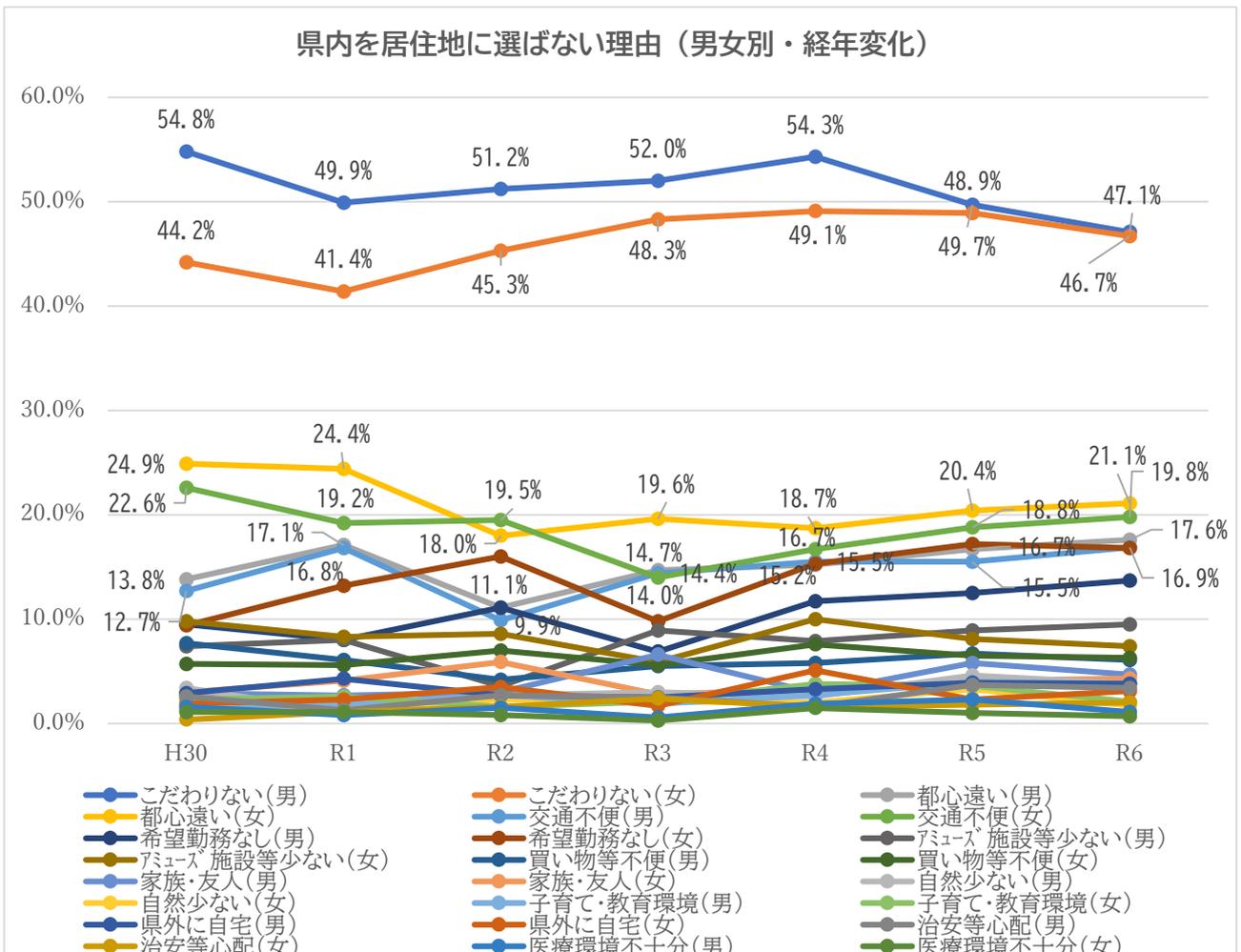
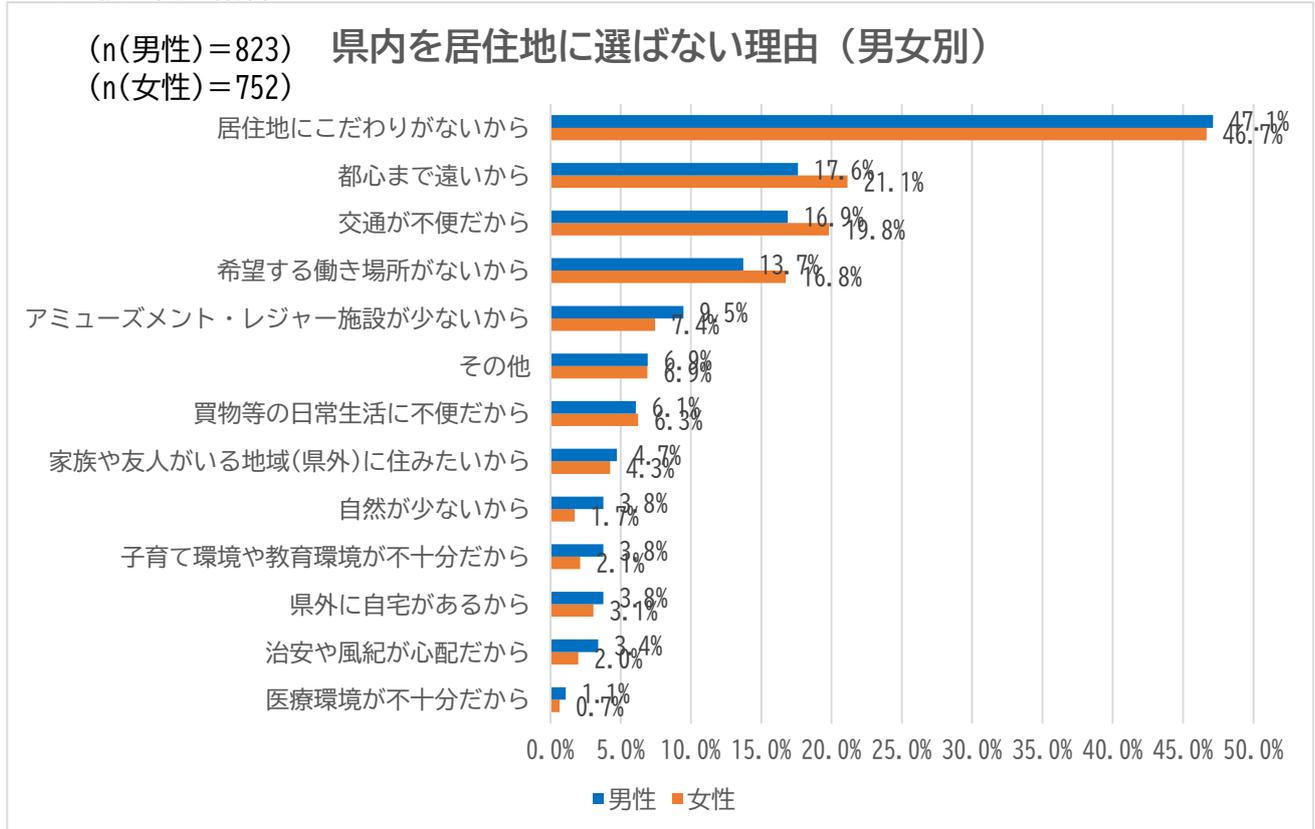
また、近年の推移としては個別の項目の上下はあるものの、大きな傾向は変わらない。



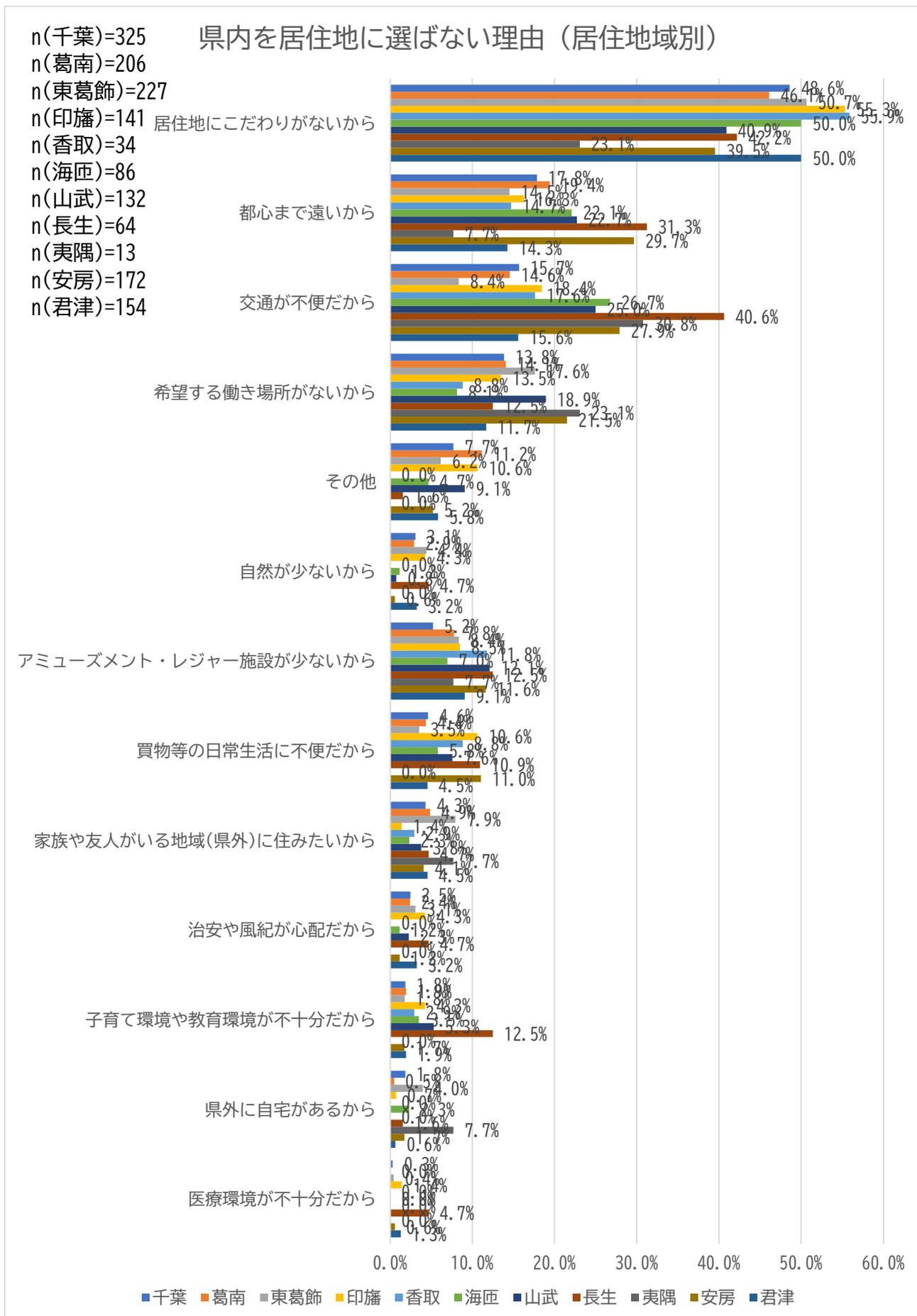
出身地別にみると、県内・県外出身問わず「居住地にこだわりのないから」が最も多い。県外出身者では、「県外に自宅があるから」、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」や「治安や風紀が心配だから」が県内出身者の回答と比べ多くなっている。



男女別で見ると、女性で「都心まで遠い」「交通が不便」「希望する働き場所がない」などを選択する割合が大きくなっている。また、経年変化では、「希望する働き場所がない」や「交通が不便だから」を選択した女性が令和3年に大きく減ったあと、再び増加傾向になっており、昨年度に引き続き高い割合となっている。

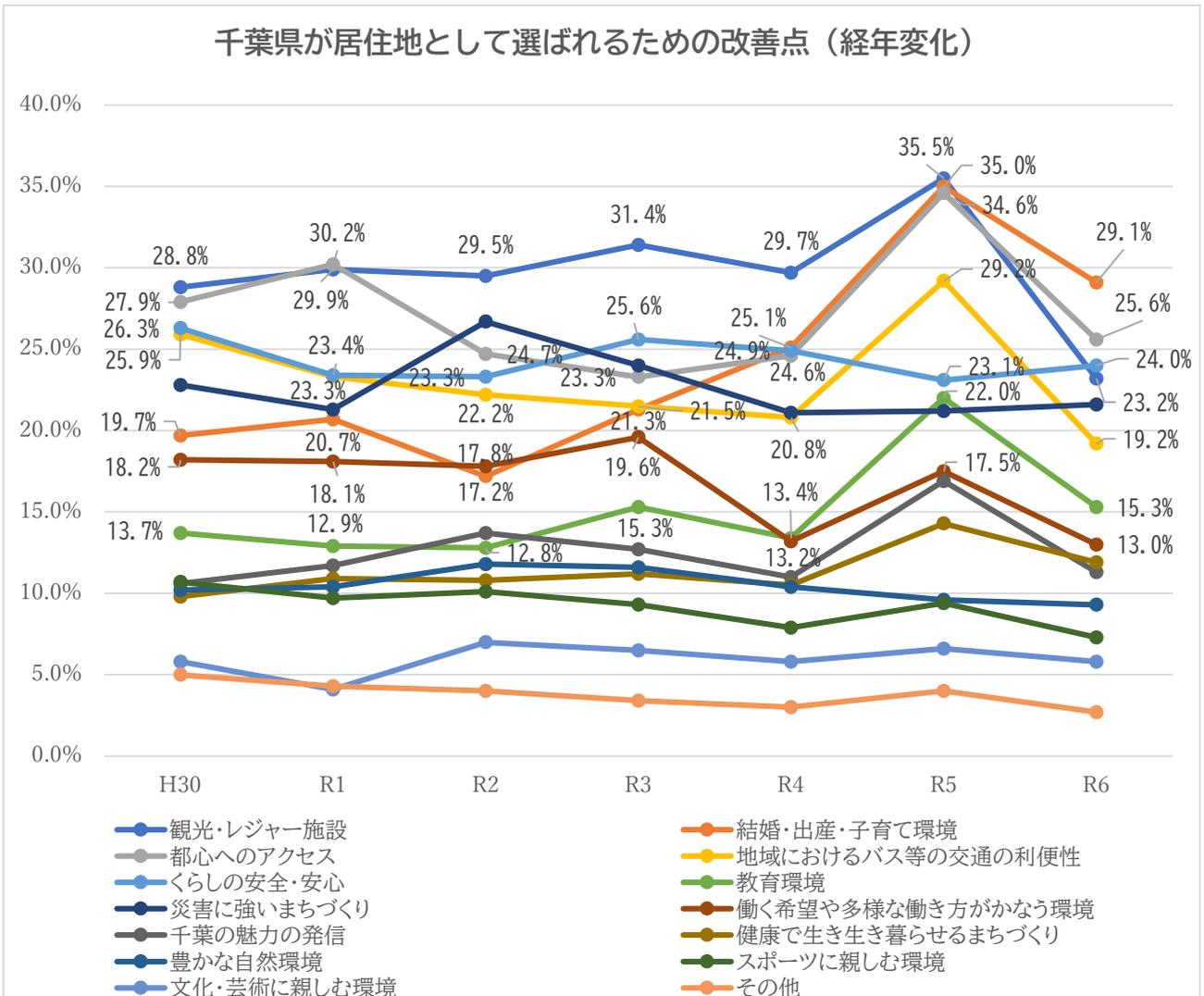
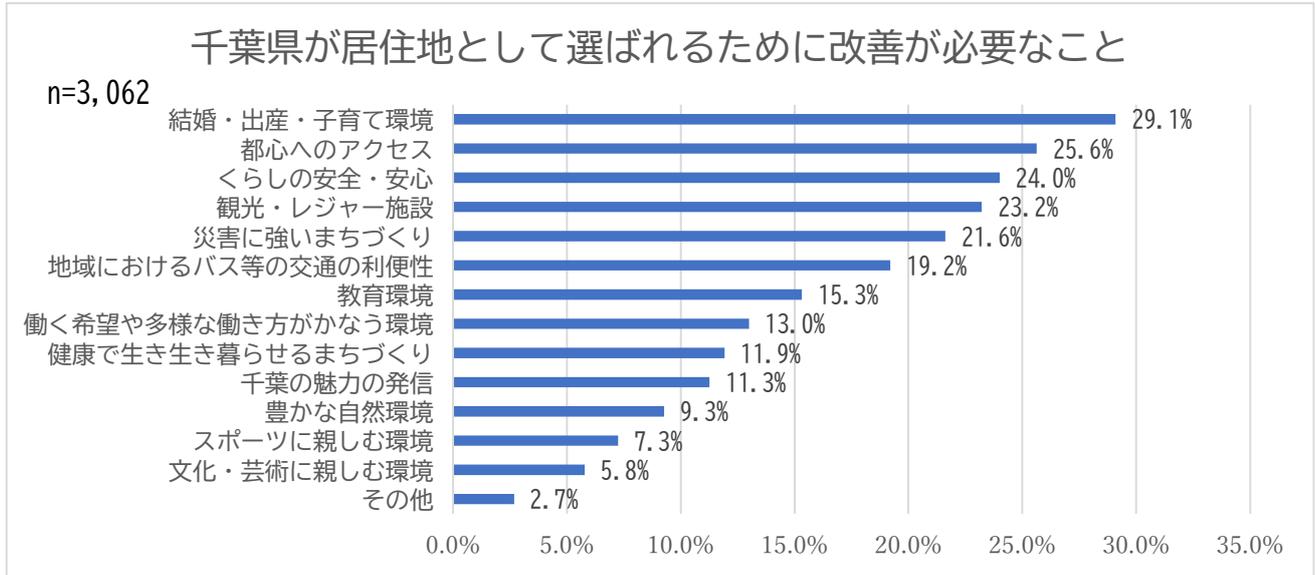


「居住地にこだわりのないから」の割合がほぼ全域で共通して多くなっている。都心から遠い地域では、「都心まで遠いから」、「交通が不便だから」や「希望する働き場所がないから」が多くなっているのが特徴である。

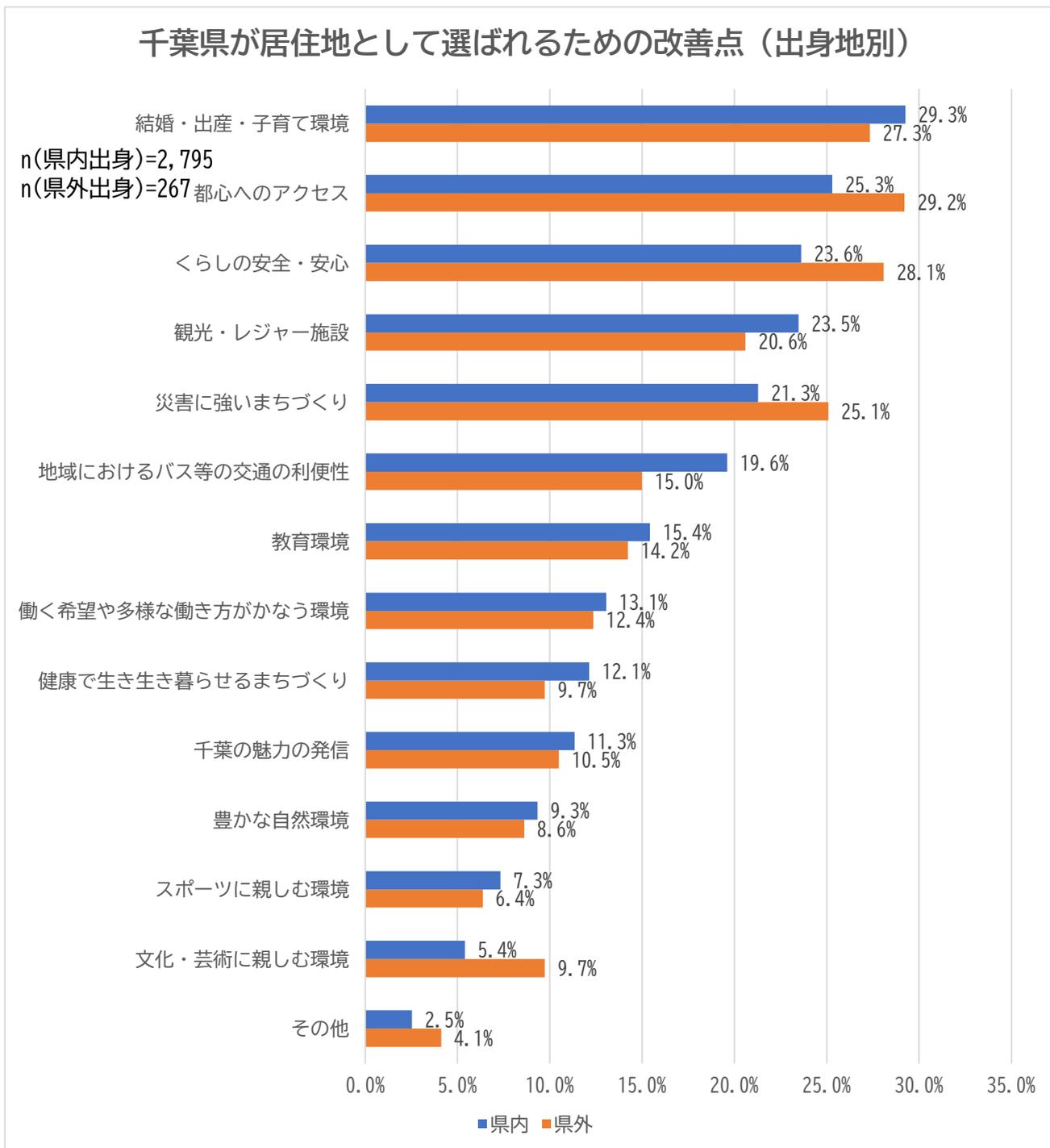


(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことは、昨年度2番目に多かった「結婚・出産・子育て環境」が最も回答の割合が多い。次いで、「都心へのアクセス」が多くなっている。



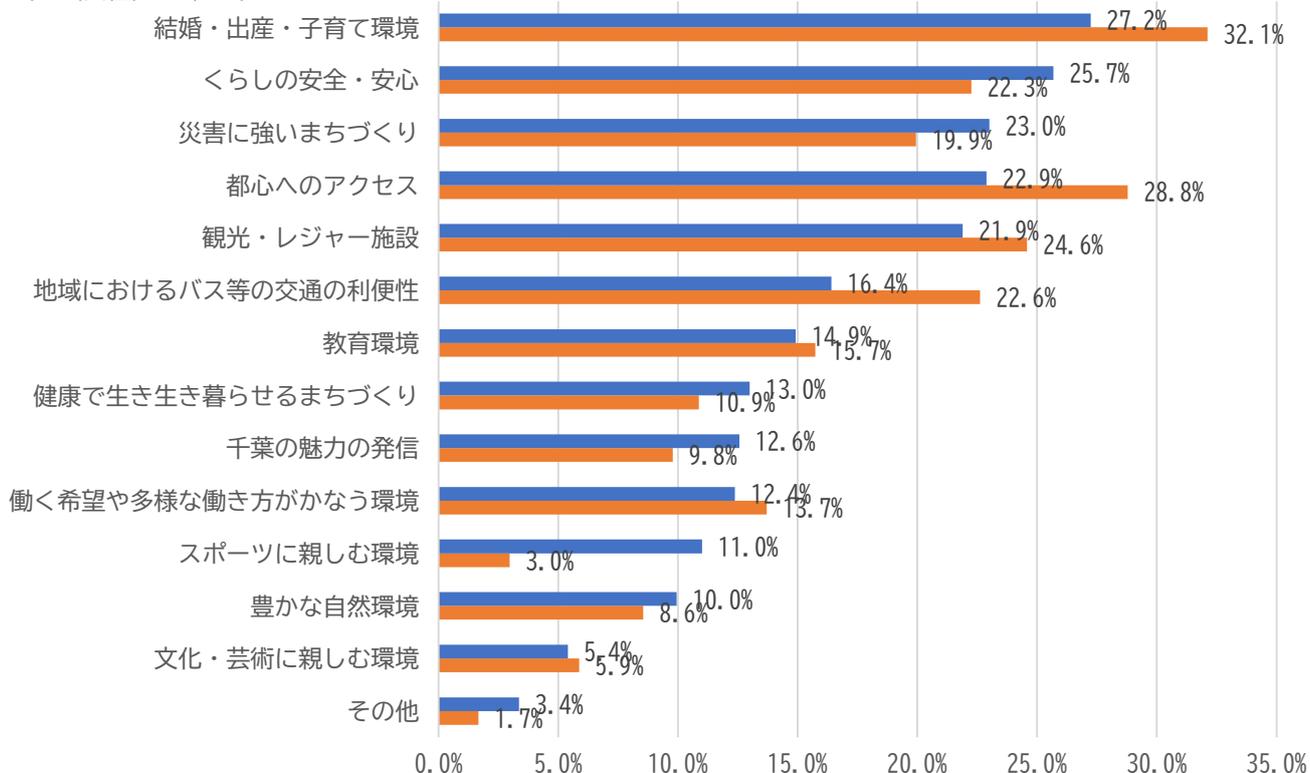
出身地別に見ると、県内出身者と県外出身者に共通して「結婚・出産・子育て環境」や「都心へのアクセス」を選んでいる割合が多い。県外出身者の回答傾向を見ると、県内出身者と比べて「くらしの安全・安心」、「災害に強いまちづくり」を選んでいる割合が多い。



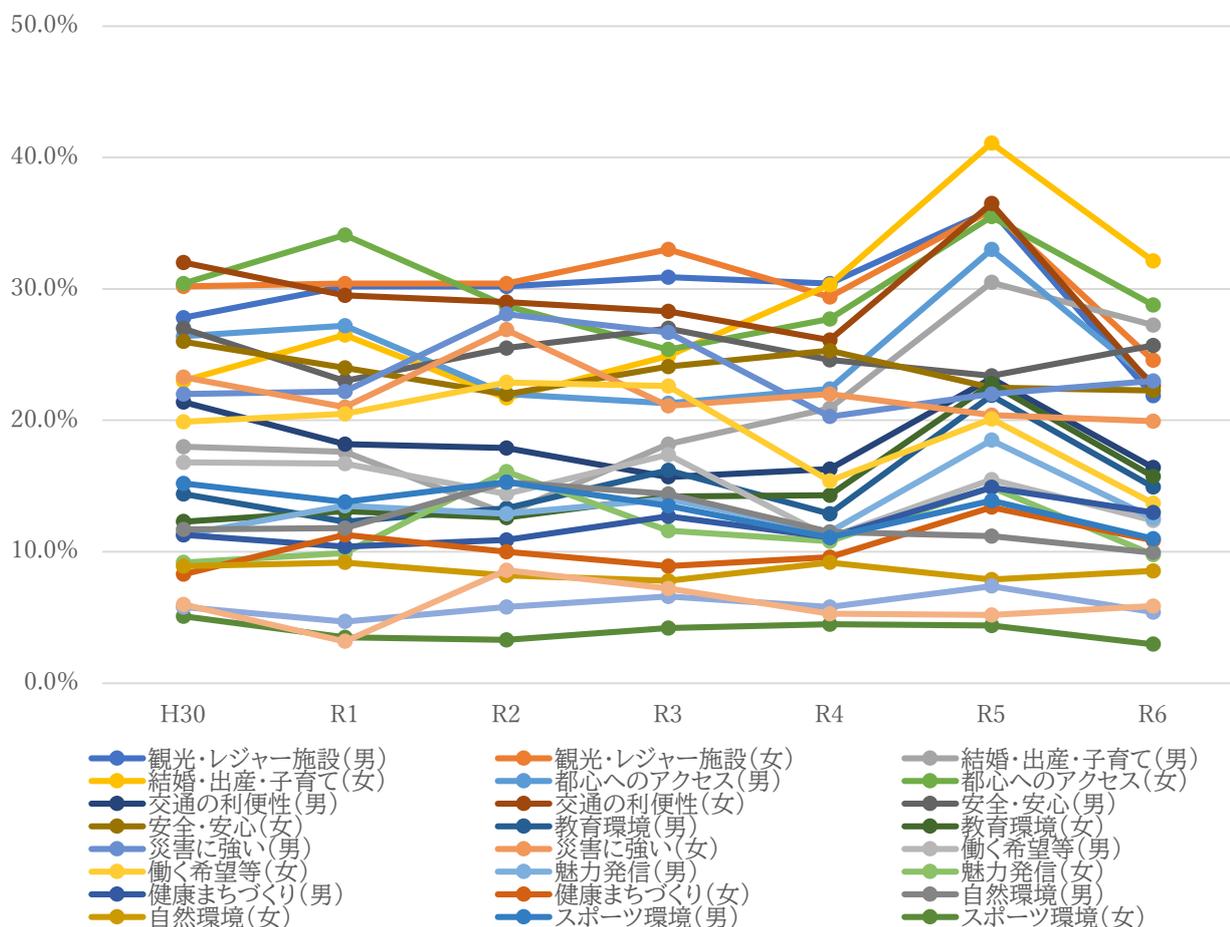
男女別で見ると、女性では「結婚・出産・子育て環境」や「地域におけるバス等の交通の利便性」の割合が大きくなっている。経年変化で見ると、「結婚・出産・子育て環境」を選択する女性の割合が大きくなっていることが分かる。

(n(男性)=1,608) 千葉県が居住地として選ばれるための改善点(男女別)

(n(女性)=1,379)

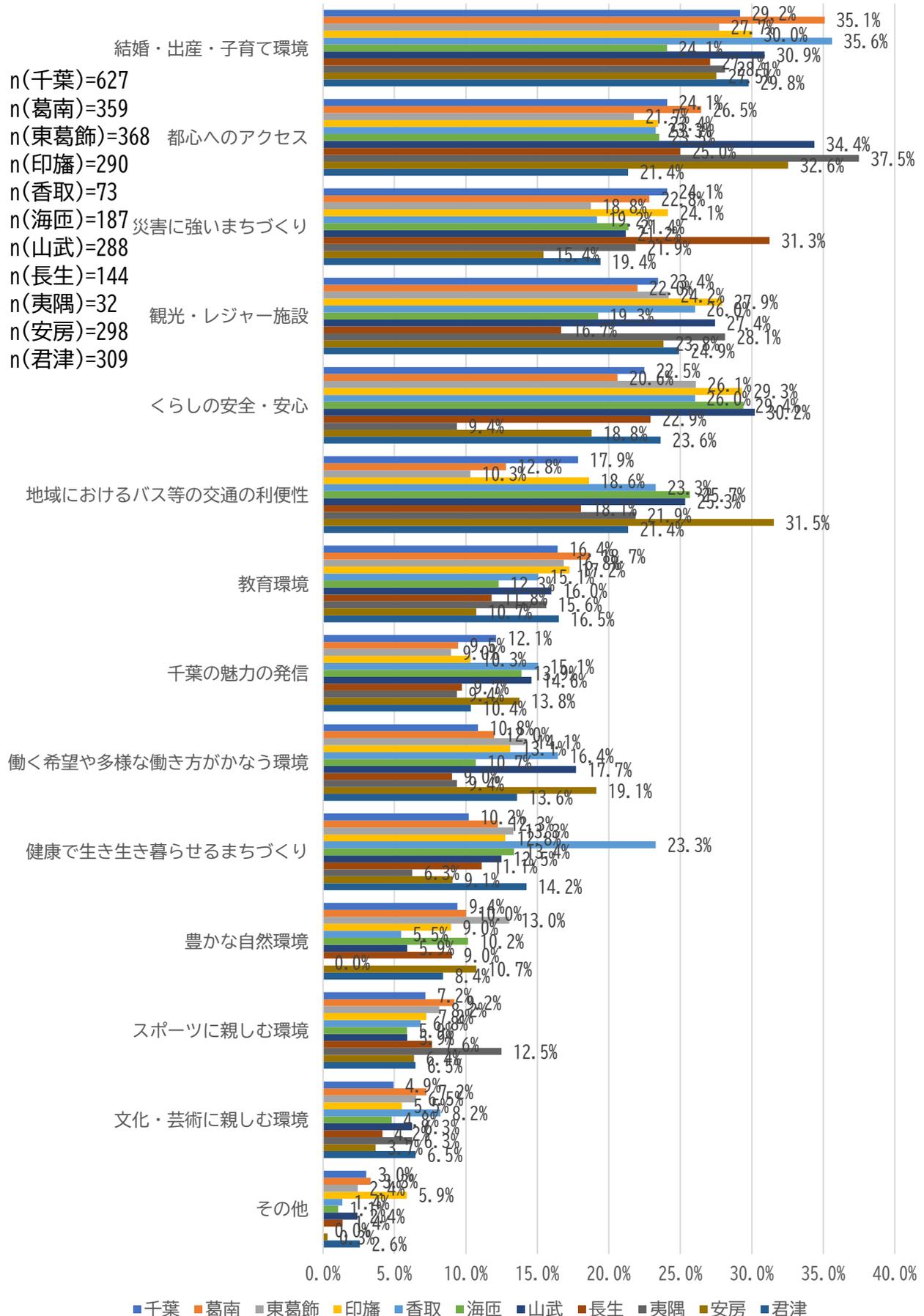


千葉県が居住地として選ばれるための改善点(男女別・経年変化)



地域別に見ると、東京に近い地域では「教育環境」などの割合が大きくなっている一方、東京から遠い地域では、「地域におけるバス等の交通の利便性」などの割合が大きくなっている。

千葉県が居住地として選ばれるための改善点（居住地別）

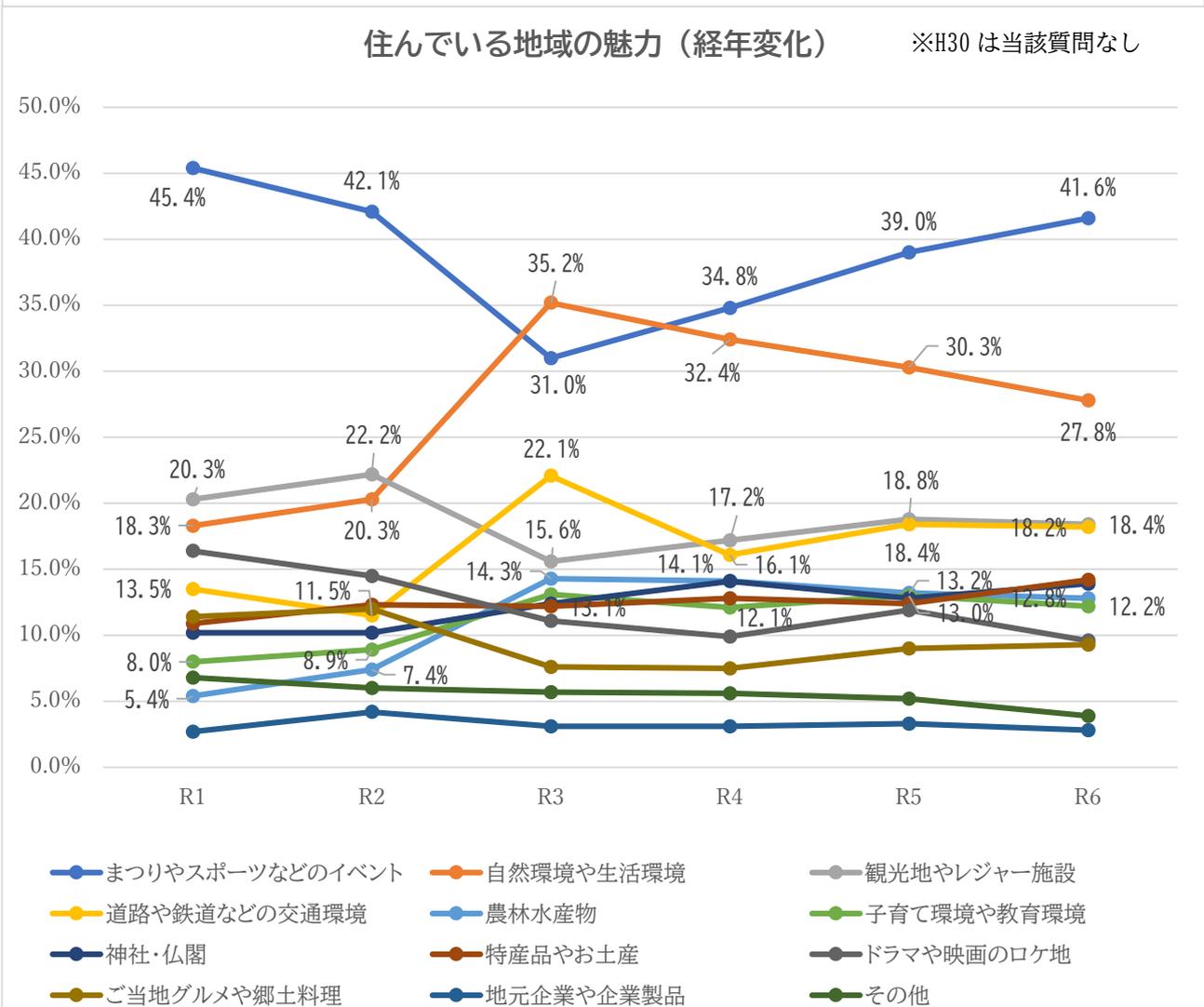
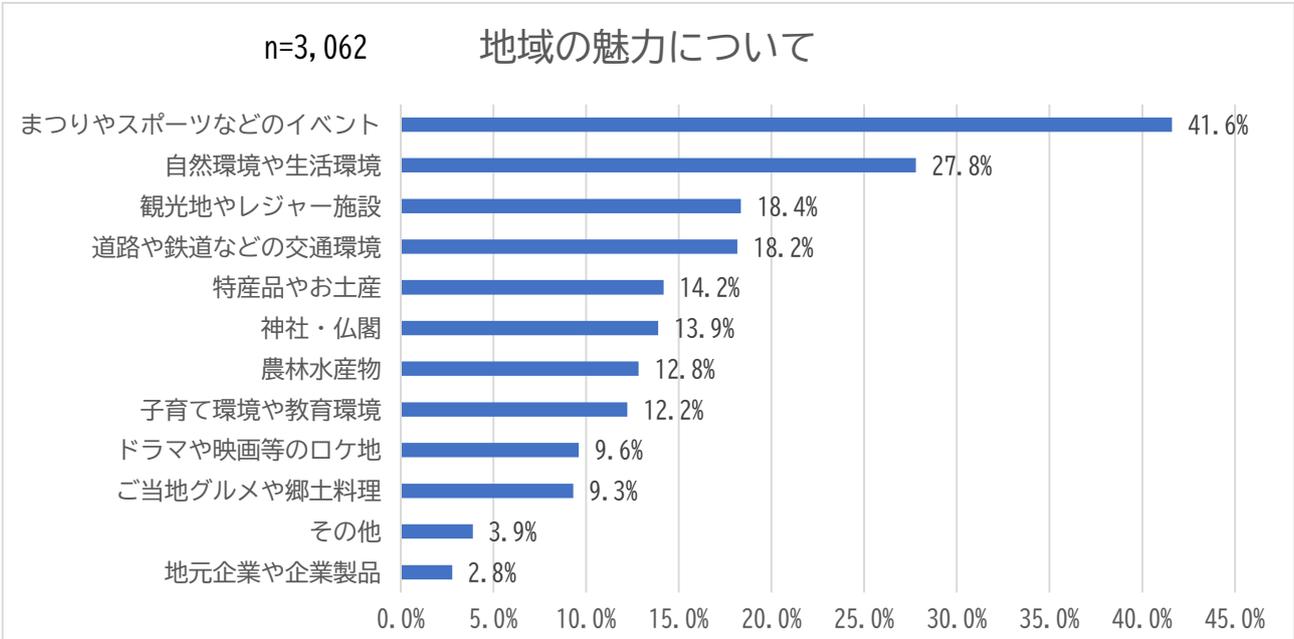


4. 地域の魅力について

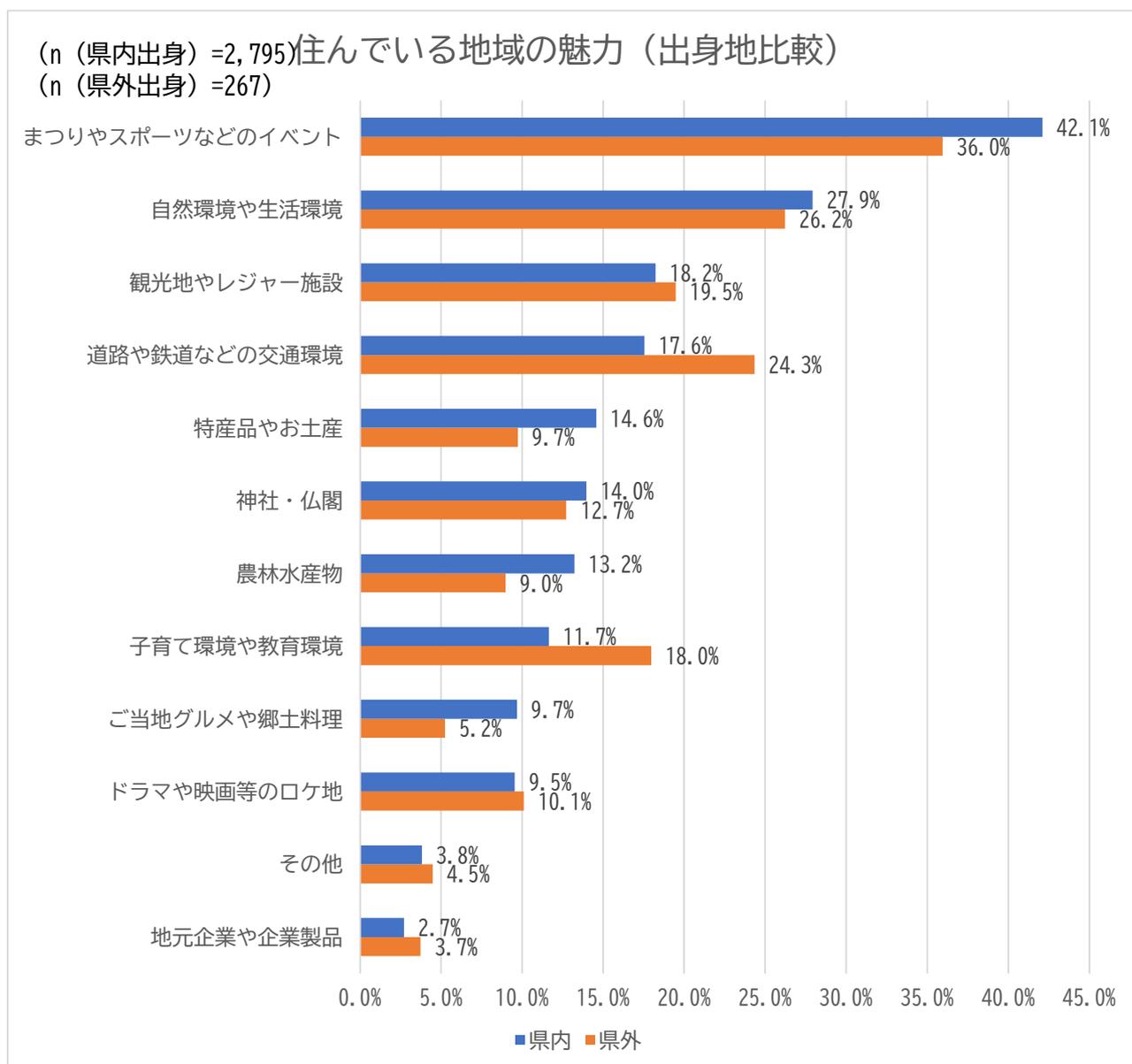
(1) 住んでいる地域の魅力

住んでいる地域の魅力については、「まつりやスポーツなどのイベント」が3年連続で1位となり、回答の割合も増え続けている。

一方、「自然環境や生活環境」は令和3年に大きく上昇したあと徐々に減少している。



出身地別に見ると、県内出身者は「まつりやスポーツなどのイベント」の割合が大きい一方、県外出身者は「道路や鉄道などの交通環境」の割合が大きくなっている。



地域別に見ると、東京に近い地域は「道路や鉄道などの交通環境」などの割合が大きく、東京から遠い地域では、「自然環境や生活環境」や「ご当地グルメや郷土料理」などの割合が大きくなっている。

n (千葉) =627 n (葛南) =359 n (東葛飾) 3680 n (印旛) =290 n (香取) =73 n (海匝) =187
n (山武) =288 n (長生) =144 n (夷隅) =32 n (安房) =298 n (君津) =309

住んでいる地域の魅力（居住地域別）

